Canon

POWER
PROJECTOR

WUX6000

使用説明書

AISYS
Aspectual Illumination System

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PJLink™

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

JPN

本書の読みかた

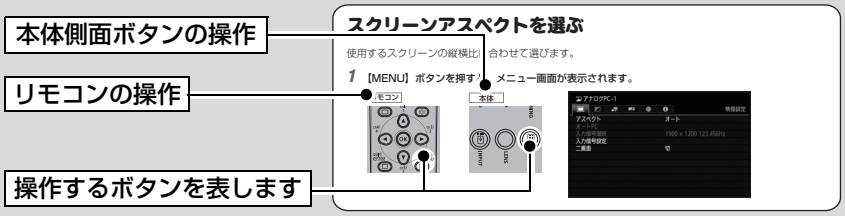
キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。
パワープロジェクター WUX6000（以下、本機）は、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能プロジェクターです。

本書について

本書はパワープロジェクター **WUX6000** の使用説明書です。**操作編**には、本機の使いかたが説明されています。**設置とメンテナンス編**には、本機の設置方法およびネットワーク接続方法とメンテナンスの方法が説明されています。本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については専門の技術者または販売店で行って頂くことをお勧めします。

ボタン操作を表す記号

本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。なお、リモコンではすべての機能が操作できます。
本書では、ボタン操作を次のように表記しています。



説明の内容を表す記号

本文中マークがついた欄は、次のような内容となっています。

操作上の注意事項や制限事項が記載されています。

操作上知っておいていただきたいことや参考になることが記載されています。

著作権についてのご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista 、Windows 7、Windows 8 、Aeroは、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac, Mac OS, およびMacintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- AMXは、AMX Corporationの商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected™は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

おもな特長

LCOS パネルによる高解像投写

高解像度のLCOS（反射型液晶）パネルを搭載し、WUXGA（1920 × 1200 ドット）での投写が可能です。

レンズシフト機能を搭載

映像位置を上下左右に電動で調整（P34) できるレンズシフト機能を搭載しており、設置の自由度が高まります。

ズーム、フォーカスの電動調整

ズーム、フォーカスの調整を電動で行えるので効率的な設置ができます。

5 種類のレンズユニットを用意

投写距離や目的に応じて最適なレンズユニットを選択できます。

2 画面表示

本機に接続された２系統の映像入力を１つのプロジェクターで並べて投写することができます。(P54)

USB ファイルビューア

USBメモリに保存されたJPEG画像をプロジェクターで投写することができます。(P52)

エッジブレンディング

複数のプロジェクターを並べて一つの画面にして投写するとき、映像の重なり部分の境界を目立たなくします。(P131)

テストパターンの表示

映像入力なしで本機単体で各種のテストパターンの投写ができます。(P130)

ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ)

ネットワークを介して複数のコンピューターの映像を複数のプロジェクターで投写することができます。
ネットワーク・マルチ・プロジェクション（NMPJ）について詳しくは別冊の使用説明書をご覧ください。

知りたいこと早引きガイド

本機をもっと便利に使いこなしたいときや、プレゼンテーションでスマートに見せたいときは、こちらから機能を探してください。

接続する

コンピューターを接続する (P111～P113)
AV機器を接続する (P114～P116)

投写する

電源を入れる (P28)
入力信号を選ぶ (P29、P30)
2系統の映像を同時に投写する (P54)

画面を調整する

画面サイズやピントを調整する (P33、P34)
台形ひずみを調整する (P42)
縦横比を調整する (P36～P41)
コンピューター画面のちらつきや位置ずれを調整する (P63、P64)

色味や画質を調整する

黒板に投写する (P126)
映像に合わせてイメージモードから選ぶ (P69)
細かく色を調整する (P73)
ノイズを除去する (P74、P75)

プレゼンテーションを演出する

映像を一時的に消す (P50)
映像を静止させる (P50)
音量を調整する (P50)
音声を一時的に消す (P51)
映像を拡大する (P51)
USBメモリの画像を投写する (P52、P53)

リモコンのチャンネルを変更する (P85)

設定をリセットする

パスワードを強制解除する (P88)
ネットワーク設定を初期化する (P145)
メニューで設定した内容を購入時の状態に戻す (P93)

その他の機能

パワーマネージメントを使う (P82)
電源コードの接続で電源を入れる (P83)
操作時の電子音を消す (P84)
ボタン操作を禁止する (P85)
ガイドメッセージを表示させない (P127)
パスワードを設定する (P87)
ランプの光量を落とす (P78)
テストパターンを表示する (P130)
音声入力端子を選択する (P89)
複数のプロジェクターの投写映像を組み合わせる (P131～P137)
ネットワーク経由で投写する（別冊NMPJの使用説明書をご覧ください）

目次

本書の読みかた 2
おもな特長 3
知りたいこと早引きガイド 4
安全にお使いいただくために 8
安全上の注意を表す記号 8
使用上のご注意 9
設置および取り扱い上のご注意 10
ランプについての安全上のご注意 11
リモコンの電池に関するご注意 13
正しくお使いいただくために 15
第三者のソフトウェアについて .. 16

はじめに 17
付属品の確認 18
リモコンの準備 19
各部のなまえ 21
本体 21
リモコン 22
本体操作部 24
接続端子 26

操作編

投写する 27
ステップ 1　電源を入れる 28
ステップ 2　入力信号を選択する .. 29
入力信号の種類 29
入力信号を選択する 30
ステップ 3　画面を調整する 31
コンピューターの表示解像度を設定する 31
オート PC で調整する 32
画面のピント / 画面サイズ / 画面の位置を調整する 33
ステップ 4　スクリーンに合わせて縦横比 (アスペクト) を選択する 36
スクリーンアスペクトを選ぶ 36
16:9 D イメージシフト時に映像を移動する 38
4:3 D イメージシフト時に映像を移動する 39
移動をリセットする 40
アスペクトを選択する 40
アスペクトの種類 40
アスペクトの選択のしかた 41
ステップ 5　画面のゆがみを調整する 42
台形ひずみを調整する 42
ステップ 6　画質 (イメージモード) を選択する ... 45
イメージモードの種類 45
ステップ 7　エコ設定を行う 46
ステップ 8　本機の電源を切る .. 47

プレゼンテーションで使える便利な機能 49
プレゼンテーション中に役立つ機能 50
映像を一時的に消す 50
映像を静止させる 50
音量を調整する 50
音声を一時的に消す 51
映像の一部を拡大する 51
USB メモリの画像を投写する ... 52
2 画面を並べて表示する 54

メニューによる機能設定 57
メニューの使いかた 58
メニューの構成 58
メニューの基本操作 59
表示状態を設定する (映像設定) .. 61
アスペクトを選択する 61
オート PC で設定する 62
入力信号を選択する (アナログ PC 入力) 62
入力信号を調整する (総ドット数) 63
入力信号を調整する (トラッキング) .. 63
入力信号を調整する (水平 / 垂直位置) 64
入力信号を調整する (水平 / 垂直表示ドット数) 64
HDMI 入力レベルを調整する 65

HDMI カラーフォーマットを設定する....65
HDMI オーバースキャンを設定する....66
プログレッシブ処理を設定する....66
スライドショー間隔を設定する....67
2 画面表示を設定する....67
画質を調整する (イメージ調整)..68
2 画面表示時のイメージ優先を設定する....68
イメージモードを設定する....69
ユーザーメモリを作成 / 保存する....70
明るさを調整する....71
コントラストを調整する....71
シャープネスを調整する....72
ガンマ補正を行う....72
色を調整する....73
環境光に合わせて調整する (アンビエントライト)....74
ノイズを低減する (ランダムノイズリダクション)....74
ノイズを低減する (MPEG ノイズリダクション)....75
ノイズを低減する (モスキートノイズリダクション)....75
ダイナミックガンマを調整する....76
記憶色を補正する....76
きめ細かい色調整を行う (6 軸色調整)...77
ガンマの詳細な調整を行う....77
ランプ制御を設定する....78
ランプモードを設定する....78
イメージ調整をリセットする....79
動作を設定する (システム設定)..80
ユーザー画像を登録する....80
ユーザー画像位置を設定する....80
無信号時の画面....81
BLANK 時の画面....81
電源を入れたときの画面....82
パワーマネージメントモードを設定する....82
パワーマネージメント時間を設定する..83
ダイレクトパワーオンを設定する....83
電子音を設定する....84
キーリピートを設定する....84
キー操作をロックする....85
リモコンのチャンネルを設定する....85
MB リダクションを設定する....86
表示言語を選択する....87
パスワード機能を設定する....87
パスワードを登録する....88
リモコンの【Fn】ボタンを使用する....89
音声入力を選択する....89
ガンマリストアを実行する....90
HDMI 入力を設定する....90
ランプカウンターをリセットする....91
エアフィルターカウンターをリセットする....92
ファームウェアのバージョンを更新する....92
購入時の状態に戻す....93
情報を確認する (インフォメーション)....94

設置とメンテナンス編

設置する....95
設置の前に....96
持ち運び時／輸送時のご注意....96
設置のときのご注意....96
設置のしかた....99
プロジェクターを設置する....99
レンズユニットの取り付け・取り外し....101
画面サイズと投写距離の関係....106
レンズシフト機能について....108
接続のしかた....110
接続できる機器と接続端子....110
コンピューターを接続する....111
AV 機器を接続する....114
電源コードを接続する....116
電源を入れる....117
電源を入れる／切る....117
ノート型コンピューターの画面出力を切り換える....118
メニューによる設置設定....119
設置ロック機能を設定する....119
反転表示を設定する....119
スクリーンアスペクトを設定する....120

投写サイズを調整する 121
キーストーンを設定する 121
デジタルイメージシフトを設定する .. 122
マイクロデジタルイメージシフトを設定する 122
レジストレーションを調整する 123
ファンモードを設定する 123
直立投写を設定する 124
レンズポジションを記憶 / 復元する .. 125
スクリーンの色を補正する 126
メニューの表示位置を設定する 126
ガイド画面の表示 / 非表示を設定する 127
入力状態の表示 / 非表示を設定する . 127
高温注意の表示 / 非表示を設定する . 128
メニューの表示時間を設定する 128
ランプ交換警告の表示 / 非表示を設定する 129
フィルター清掃警告の表示 / 非表示を設定する 129
2 画面 ID の表示 / 非表示を設定する 130
テストパターンを表示する 130
複数台のプロジェクターを並べて投写する (エッジブレンディング) 131

ネットワークに接続して使用する 139

ネットワーク接続の概要 140
接続方法について 140

プロジェクターでの設定 141
ネットワーク設定変更のロック / ロック解除を設定する 141
ネットワークパスワードを設定する .. 142
ネットワークパスワードを登録する .. 142
待機時の電力を設定する 143
ネットワーク機能を設定する 143
IP アドレス / ゲートウェイアドレス / MAC アドレスを表示する 144
DHCP を設定する 144
TCP / IP を設定する 145
ネットワーク設定を初期化する 145
PJLink を設定する 146
AMX Device Discovery を設定する 147
Crestron RoomView を設定する ... 147

コンピューターでの設定 148
IP アドレスを設定する 148
ネットワークを設定する 152
ウェブ画面による操作 167

メンテナンス 169

本体・エアフィルターを清掃する 170
エアフィルターの清掃 170

エアフィルターを交換する 171

ランプを交換する 172
交換用のランプについて 173
ランプ交換手順 173

付録

付録 175

困ったときには 176
LED インジケーターの見かた 176
困ったときのアドバイス 177

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係 182

表示できるテストパターンについて 185

対応信号 186

製品の仕様 188

索引 195

保証とアフターサービス 197

メニューの構成 198

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警 告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
⚠ 注 意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
感電注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
分解禁止 接触禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	**これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。**
禁 止	**この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。**
アース線を接続する 電源プラグをコンセントから抜け	**これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。**
注 意	**この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。**

電波障害自主規制について

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断装置を手の届くところに設置してください。
以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。

- **煙が出ている。**
- **変なにおいや音がする。**
- **水など液体が本機に入った。**
- **金属類や異物が本機に入った。**
- **本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。**

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

- **電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。**
- **電源コードを敷物などで覆わないでください。**
- **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたりしないでください。**
- **電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談してください。**
- **付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。**

- **電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。**
- **アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**

⚠警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

- **表示された電源電圧(AC100V) 以外の電圧で使用しないでください。**
- **電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。電源コードが破損します。**
- **電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。**

- **ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。**

- **電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。**
- **コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。**

- **電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。**

設置および取り扱い上のご注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

- **水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。**
- **本機の上に液体の入った容器を置かないでください。**

- **雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。**

- **本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。**
- **本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **レンズユニットを取り付け・交換するときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電やけがの原因になります。**

⚠警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

- **キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談してください。**
- **本機（消耗品を含む）・リモコンを改造しないでください。**
- **使用中は排気口をのぞかないでください。**

- **吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。**
- **排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。**
- **本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因となることがあります。**
- **レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

- **本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となることがあります。**
- **使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。**
- **本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。**
- **天吊り設置についての注意は、専用の天吊り金具（別売品）に同梱している「組立・設置説明書」を見てください。**

- **本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品等が落下し、けがや故障の原因になることがあります。**

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプ交換の指示「ランプを交換する」(P172) が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

⚠警告

ランプ交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。

- **ランプ交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、1 時間以上待ってから行なってください。**
- **ランプが破裂した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。**

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

- **電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**
- **本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。**
- **ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。**
- **万一、ランプから生じるガスや破片を吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。**

⚠ 警告

リモコンの電池に関するご注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

禁 止

- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

注 意

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。**
- **+ とーの向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

⚠注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。

- **長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。**

- **投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。**
- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。**
- **本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。**
- **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。**
- **投写中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。**
- **投写中、本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。**

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。

- **ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。

- **本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となることがあります。**
- **レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットの故障の原因となります。**
- **ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。**
- **本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送して下さい。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。**
  なお、レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。
- **本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となることがあります。**
- **移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。**

注意

設置または使用に関して以下の点に注意してください。

- **レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。**
- **低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときは、本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。**
- **高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。使用温度については「製品の仕様」を参照してください。**
- **熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。**
- **高地でご使用される場合や上向き投写、下向き投写でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設定を変更しないと、ランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。**
- **高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。**
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因となることがあります。**
- **冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもりランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。**
- **本機を誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となることがあります。立てたり左右に傾けて設置しないでください。**
- **本機の吸気口、排気口を壁などから離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。**
- **湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。**

注意

第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
詳細は、同梱セットアップCD-ROMのLICENSEフォルダの「ThirdPartySoftware.pdf」(第三者ソフトウェアライセンス)をご覧ください。
また、各モジュールのライセンス条件につきましては、同じフォルダに含まれていますので、ご覧ください。

■ GNU General Public License Version 2 に基づくソフトウェアプログラム

本メディアに含まれるソフトウェアプログラム (「本プログラム」) はフリーソフトウェアです。お客様は、GNU General Public License Version 2の定める条件の下で再配布および改変することができます。

それぞれのプログラムは有用であることを願って配布されますが、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含め、一切の保証がありません。下記の「保証の否認」と「サポート」をご覧ください。詳しくは、GNU General Public License Version 2の原文をご覧ください。

保証の否認

本プログラムは無償でライセンスされるものであり、準拠法の下で認められる限りにおいて何らの保証もありません。これと異なる書面による定めがなされる場合を除き、著作権者及びその他の当事者は、本プログラムをそのままの状態で、いかなる保証(明示的か黙示的かに関わらず、また、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含み、これらに限定されない)もすることなく提供するものとします。本プログラムの品質及び性能に関するリスクは、すべてお客様が負うものとします。本プログラムに瑕疵のあることが明らかになった場合でも、必要な保守点検、修補、又は修正に要する費用は、すべてお客様のご負担となります。

準拠法において義務が課されている場合又は書面による合意がある場合を除き、著作権者又は上記の定めに従い本プログラムを修正又は配布した当事者は、たとえ損害が発生するおそれのあることを事前に知らされていたとしても、お客様の被った損害について何らの責任も負いません。当該損害には、本プログラムを使用したことによるものと本プログラムを使用できなかったことによるもの (データの消失、誤ったデータの生成、損害を被ったのがお客様である場合と第三者である場合、及び本プログラムが他のプログラムと連携して適切に動作しない場合を含み、これらに限定されない) を問わず、一般的、特殊的、偶発的、必然的な損害のすべてを含みます。

サポート

キヤノン株式会社、キヤノンの関係会社、および販売会社は、本プログラムに関するいかなるサポートサービスもいたしません。本プログラムに関する、お客様もしくは他のいかなるお客様からのご質問やお問い合わせにもご回答いたしかねます。

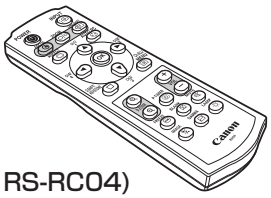
はじめに

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

付属品の確認

次の付属品が揃っていることを確認してください。

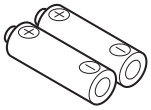
・リモコン



(品番：RS-RC04)

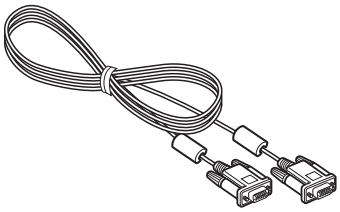
別売品のリモコン (RS-RC05) で操作することもできますが、機能しないボタンもあります。また、RS-RC05 はワイヤードリモコンとして使用できます。(P20)

・リモコン用乾電池



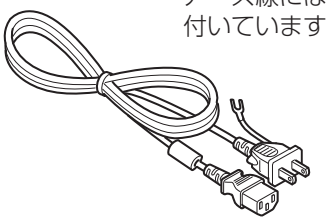
(単４形２本)

・コンピューターケーブル (1.8m)
(ミニ D-sub15 / ミニ D-sub15 ピン用)



・電源コード (1.8m)

アース線にはキャップが付いています。



・使用説明書 (冊子)

・使用説明書 (別冊)

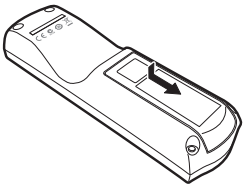
・使用説明書 (CD-ROM)

・保証書

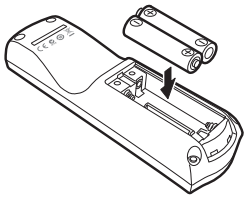
リモコンの準備

■ リモコンへの電池の入れかた

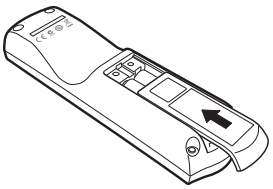
1 **電池カバーを開く。**
押しながらスライドさせて外します。



2 **電池を入れる。**
新しい単４乾電池２本を＋プラスと－マイナスの向きに注意して入れます。



3 **電池カバーを閉じる。**
スライドさせ、パチンと音が出るまでしっかり閉じます。



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因となります。

警告

禁止

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

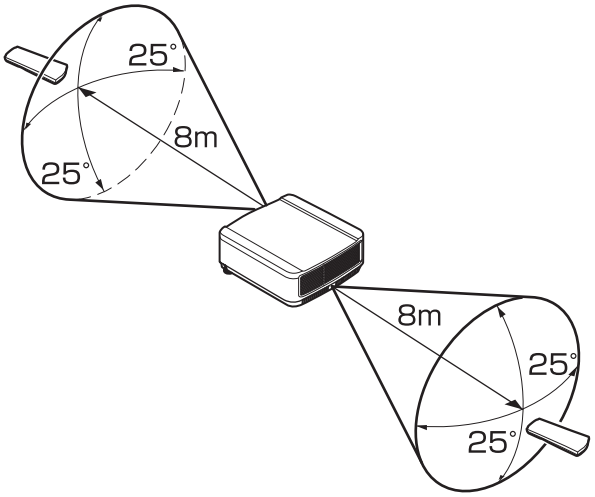
- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

注意

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２ 本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。**
- **＋ とーの向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

■ リモコンで操作できる範囲

リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

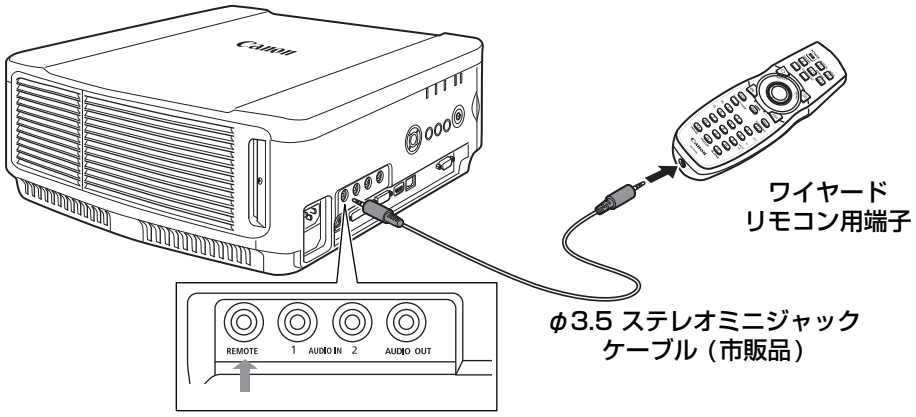


- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2 台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようにチャンネル設定を切り換えてください。(P85)

■ 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続して使う場合

リモコンを本体とケーブルで接続して使用したい場合は、別売品の RS-RC05 をご使用ください。

ケーブルは、市販品の φ3.5 ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。

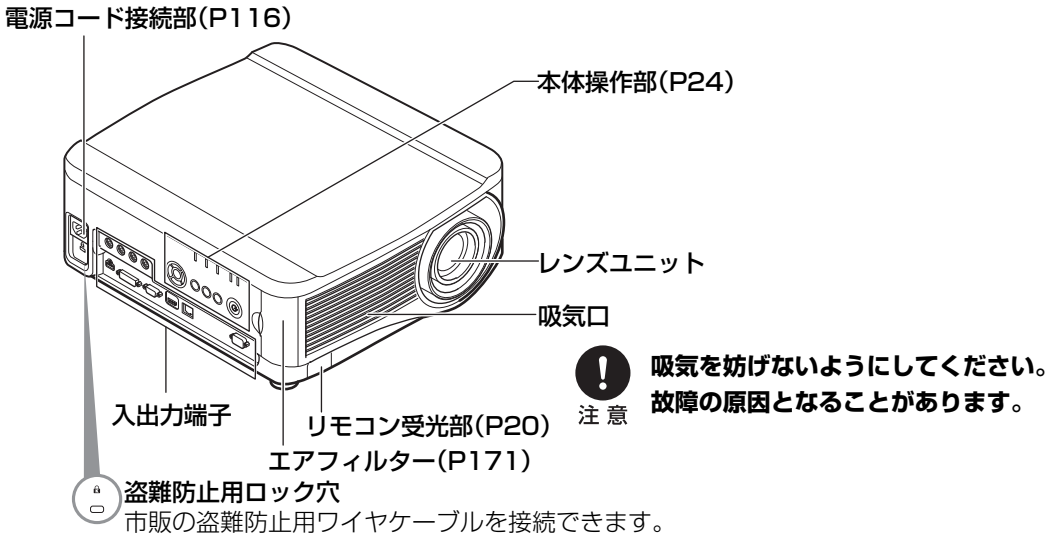


- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線での操作ができません。
- φ3.5 ステレオミニジャックケーブル (市販品) は、**長さ 30m 以下**のものを使用してください。

各部のなまえ

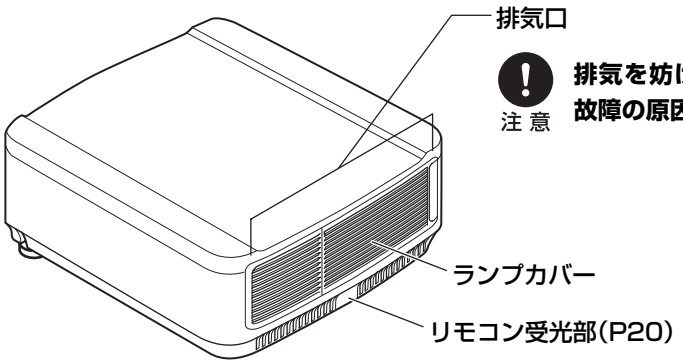
本体

■ 前面



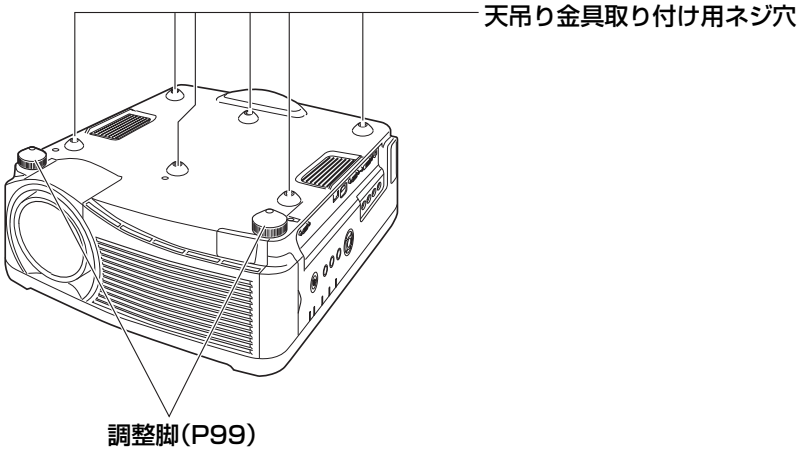
注 意 **吸気を妨げないようにしてください。故障の原因となることがあります。**

■ 背面



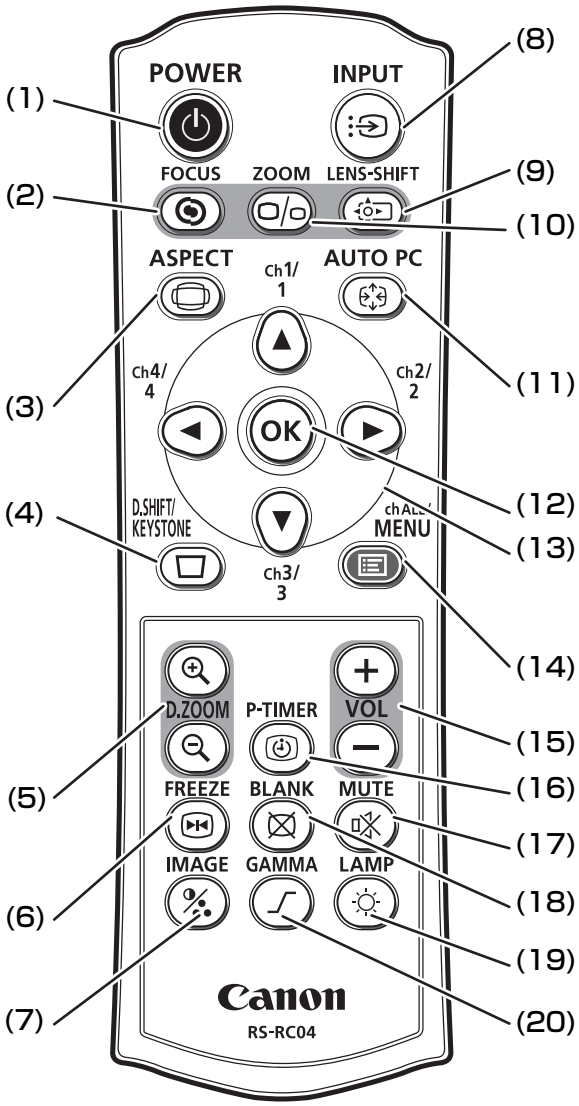
注 意 **排気を妨げないようにしてください。故障の原因となることがあります。**

■ 底面



リモコン

本機は、リモコンまたは本体操作部のボタンを使って操作します。
付属しているリモコンで本機のすべての操作ができます。



(1) POWER（パワー）ボタン (P28、P47)
電源を入 / 切します。

(2) FOCUS（フォーカス）ボタン (P33)
画面のピントを合わせます。
【▲】【▶】ボタン
　ピントの位置を遠くにします。
【▼】【◀】ボタン
　ピントの位置を近くにします。

(3) ASPECT（アスペクト）ボタン (P41)
映像の縦横比（アスペクト）を切り換えます。

(4) D.SHIFT/KEYSTONE（デジタルイメージシフト / キーストーン）ボタン (P42)
台形ひずみを調整します。
【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
　ひずみを調整します。

【D.SHIFT / KEYSTONE】を押すと台形ひずみを補正します。

- スクリーンアスペクトの設定が [16：9 D イメージシフト]、[4：3 D イメージシフト] 時は画面を上下または左右に移動します。(P38、P39)
- 画面の移動は【▲】【▼】または【◀】【▶】ボタンで行います。

(5) D. ZOOM（デジタルズーム）ボタン (P51)

映像をデジタルズームで拡大縮小します。

【+】ボタン　拡大 (最大12倍)

【−】ボタン　縮小 (最小1倍)

【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン

拡大場所を移動します。

(6) FREEZE（フリーズ）ボタン (P50)

映像を静止させます。

(7) IMAGE（イメージ）ボタン (P45)

イメージモード (画質) を切り換えます。

(8) INPUT（インプット）ボタン (P30)

投写する入力信号を選びます。

(9) LENS-SHIFT（レンズシフト）ボタン (P34)

レンズを上下左右に移動します。

【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン

画面を移動します。

(10) ZOOM（ズーム）ボタン (P33)

画面サイズを調整します。

【▲】【▶】ボタン

画面サイズを拡大します。

【▼】【◀】ボタン

画面サイズを縮小します。

(11) AUTO PC（オートピーシー）ボタン (P32)

アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて本機を最適な状態に調整します。

(12) OK（オーケー）ボタン (P59)

メニューなどで選んだ項目を確定します。

(13) 方向ボタン (P59)

メニューなどで上下左右の方向を指定します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。(P85)

(14) MENU（メニュー）ボタン (P58)

投写画面にメニューを表示します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。(P85)

(15) VOL（ボリューム）ボタン (P50)

音量を調整します。

【+】ボタン

音量を上げます。

【−】ボタン

音量を下げます。

(16) P-TIMER（ピータイマー）ボタン

本機では使用しません。

(17) MUTE（ミュート）ボタン (P51)

音声を一時的に消します。

(18) BLANK（ブランク）ボタン (P50)

映像の表示 / 非表示を切り換えます。

(19) LAMP（ランプ）ボタン (P78)

エコ設定画面を表示します。

エコ設定画面ではランプモード（フルパワー / エコ）の調整 (P78)、パワーマネージメントの設定 (P82)、ネットワーク待機設定 (P143) を行います。

(20) GAMMA（ガンマ）ボタン (P72)

ガンマを調整します。

【▶】ボタン

暗い部分を見やすく補正します。

【◀】ボタン

明るい部分を見やすく補正します。

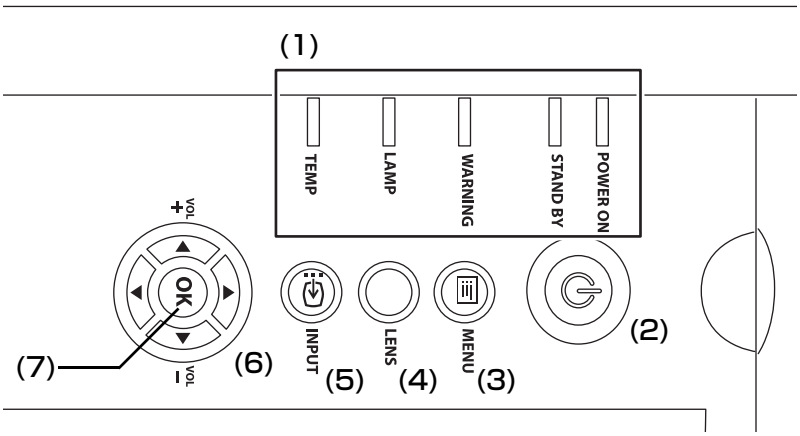
本体操作部

(1) LEDインジケーター（P25）

LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。

インジケーターの状態については「LED インジケーターの表示について」(P25) を参照してください。

POWER ON	緑	正常状態で、点灯または点滅します。
STAND BY	赤	スタンバイ中、終了時に点灯または点滅します。
WARNING	赤	エラー発生時に点灯または点滅します。
LAMP	橙	ランプの交換時期が近づいたときに点滅します。ランプカバー異常時は、さらに、[WARNING] インジケーターが点滅します。ランプの異常時には [WARNING] インジケーターとともに点灯します。
TEMP	赤	内部が高温状態になったときに点滅します。さらに内部の温度が上昇した場合には、温度エラーとなり [WARNING] インジケーターとともに点灯します。



(2) POWERボタン（P28、P47）

（パワー）

電源をON / OFFします。

(3) MENUボタン（P58）

（メニュー）

投写画面にメニューを表示します。

(4) LENSボタン

（レンズ）

押すごとに、フォーカス（ピント）調整（P33）、ズーム（画面サイズ）調整（P33）、レンズシフト（画面位置）調整（P34）の画面に切り換わります。調整は【▲】【▼】または【◀】【▶】で行います。

(5) INPUTボタン（P30）

（インプット）

投写する入力信号を選びます。

(6) 方向 / VOLボタン（P59）

（ボリューム）

音量を調整します。

【▲】【VOL +】ボタン 音量を上げます。

【▼】【VOL −】ボタン 音量を下げます。

メニューなどでは上下左右の方向を指定します。

(7) OKボタン（P59）

（オーケー）

メニューなどで選んだ項目を確定します。

■ LED インジケーターの表示について

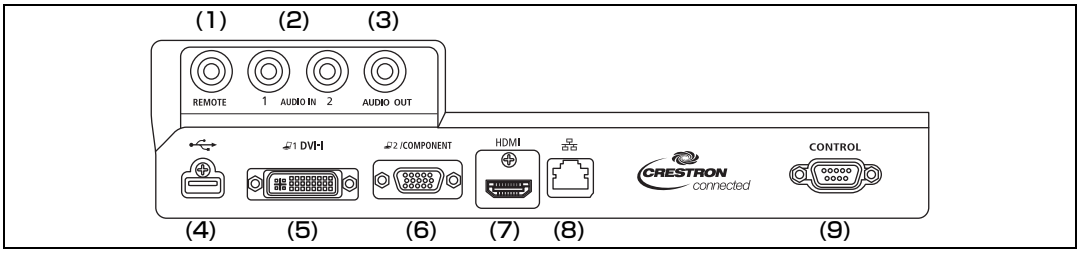
本機の動作状態を各LED インジケーターの点滅または点灯で示します。

□: 消灯　■: 点灯　■: 点滅

LED インジケーター					動作状態
POWER ON（緑）	STAND BY（赤）	WARNING（赤）	LAMP（橙）	TEMP（赤）	
□	□	□	□	□	電源が接続されていません
□	■	□	□	□	スタンバイ状態です
■	□	□	□	□	電源が入っています（投写しています）
■	□	□	□	□	スタンバイ状態から電源オンに移行中です
□	■	□	□	□	電源オンからスタンバイ、またはパワーマネージメントモードに移行中で、クーリングダウンしています
■	■	□	□	□	パワーマネージメントモードでランプを消灯しています
□	■	□	■	□	ランプの交換時期が近づいています（スタンバイ時）
■	□	□	■	□	ランプの交換時期が近づいています（投写時）
■	□	□	□	■	内部の温度が高くなっています
□	□	■	■	□	ランプのエラーが発生しています
□	□	■	□	■	内部の温度が高いので電源を切りました
□	□	■	■	□	ランプカバーが開いています
□	□	■	□	□	その他のエラーが発生しています

WARNINGが点灯または点滅しているときは176ページの「LEDインジケーターの見かた」を参照してください。

接続端子



(1) ワイヤードリモコン用端子 (REMOTE) (P20)
別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続するときに使用する端子です。

(2) 音声入力端子 (AUDIO IN) (P111、P112、P115)
HDMI以外の2系統の映像入力に対応する音声信号の入力端子です。
選択した映像信号の音声が内蔵スピーカーから出力されます。

(3) 音声出力端子 (AUDIO OUT) (P113、P115)
外部スピーカーなどに音声出力するための出力端子です。投写中の映像信号の音声信号が出力されます。

(4) USB端子 (P52)
USB メモリを接続する端子です。USB メモリの画像の表示やファームウェアのバージョンアップに使用します。

(5) アナログPC-1 / DVI-I入力端子 (1 DVI-I) (P111、P112)
コンピューターの外部モニター出力と接続します。
アナログPC信号 (アナログPC-1) とデジタル信号 (デジタルPC) の入力端子です。

(6) アナログPC-2 / コンポーネント入力端子 (2/COMPONENT) (P111、P115)
アナログPC 信号 (アナログPC-2) の入力端子です。
コンポーネントケーブルを使用して、コンポーネント映像(コンポーネント) を入力することもできます。

(7) HDMI入力端子 (HDMI) (P113)
デジタルコンテンツの映像信号 (HDMI) の入力端子です。
映像と音声を一つのケーブルで入力できます。

(8) LAN接続端子 (P140)
LANケーブル (シールドタイプ) を接続します。
本機をネットワークに接続できます。

(9) サービス用端子 (CONTROL)
通常は使用しません。

投写する

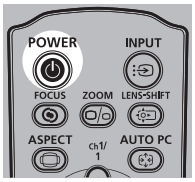
目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

ステップ 1　電源を入れる

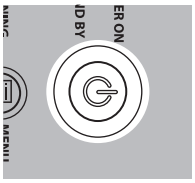
1　コンピューターまたは AV 機器との接続を確認します。(P111 ～ P114)
電源コードの接続については「電源コードを接続する」(P116) を参照してください。

2　【POWER】ボタンを押します。
［POWER ON］インジケーター (緑) が点滅し、点灯に変わります。

リモコン



本体



カウントダウン表示 (約 20 秒間) が行われた後、投写をはじめます。なお、カウントダウン表示は【OK】ボタンを押すと消えます。

- 電源を入れた後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。
- ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。(P117)
  なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P87)

3　コンピューターまたは AV 機器の電源を入れます。

起動時の動作を変更するには

起動時の動作を、次のように変更できます。

- 【POWER】ボタンを使わずに、電源コードを接続するだけで電源を入れることができます。(P83)
- カウントダウン中の表示を変えられます。(P82)
- カウントダウン表示を消すことができます。(P82)

一定時間使用しない場合は

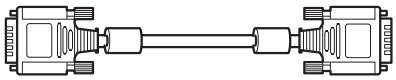
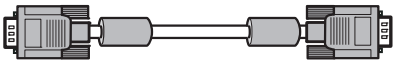
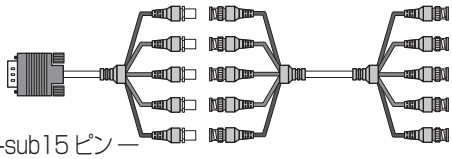
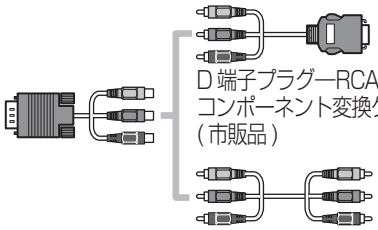
本機は一定時間 (出荷時設定では 15 分間) 無信号状態、かつ無操作状態が継続すると、パワーマネージメント機能により自動的に電源が切れます。(P82)

ステップ2　入力信号を選択する

デジタル信号のコンピューターやAV機器で投写するとき、複数のコンピューター、AV機器などを接続して投写を切り換えるときは、[INPUT]メニューで入力信号を選びます。
前回と同じ信号を投写するときは、この操作は不要です。

入力信号の種類

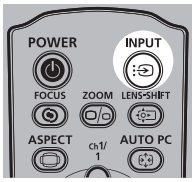
本機で対応している入力信号と入力端子、接続ケーブルの関係は次の通りです。

入力信号	入力端子	接続ケーブルの種類
HDMI	HDMI	HDMI ケーブル (市販品)
デジタル PC	1 DVI-I	DVI ケーブル (市販品) 
アナログ PC-1	1 DVI-I	DVI-D-sub15 ケーブル (市販品)
アナログ PC-2	2/COMPONENT	コンピューターケーブル (付属品) 
	2/COMPONENT	BNC ケーブル (市販品)  ミニ D-sub15 ピン ― BNC 端子変換ケーブル (市販品) BNC ケーブル (市販品)
コンポーネント	2/COMPONENT	コンポーネントケーブル (市販品)  D 端子プラグ―RCA プラグ コンポーネント変換ケーブル (市販品) RCA プラグ―RCA プラグ コンポーネントケーブル (市販品)
LAN	LAN	LAN ケーブル (シールドタイプ) (市販品)
USB	USB	USB メモリなどを直接接続します。(P52)

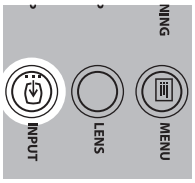
入力信号を選択する

1 **【INPUT】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。**

リモコン



本体



現在投写中の信号に○ (緑) が点き、オレンジ色の枠で表示されます。
また、投写可能な状態の信号は白で表示され、入力のない信号はグレーで表示されます。ただし［デジタル PC］と [アナログ PC-1] は、投写可能な状態でもグレーで表示されることがあります。

2 **【INPUT】ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。**

【▲】【▼】ボタンでも入力信号が切り換わります。

3 **【OK】ボタンを押して、入力信号を決定します。**

- 入力信号として [USB] を選択した場合、USB メモリ内の画像を投写することができます。詳しくは「USB メモリの画像を投写する」(P52) を参照してください。
- 2 画面表示の場合、操作権のない画面の入力信号が○ (白) で表示されます。

コンピューターの表示解像度を設定する

本機の最大解像度に合わせて、コンピューター側の表示解像度を最も近い解像度に設定してください。(P186)

最大解像度
1920×1200 ドット

■ Windows 8 の場合

1 マウスポインターを画面の右上、または右下の外に出し、メニュー画面を表示します。

2 [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

3 [コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を選びます。

4 [解像度] 欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。

5 [OK] ボタンをクリックします。

■ Windows 7 の場合

1 スタートメニューから [コントロールパネル] を選び、[コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を選びます。

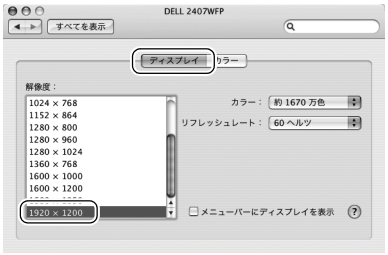
2 [解像度] 欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

■ Windows Vista の場合

1. スタートメニューから［コントロールパネル］を選び、［コントロールパネルホーム］の［デスクトップのカスタマイズ］から［画面の解像度の調整］を表示します。
2. ［解像度］から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. 【OK】ボタンをクリックします。

■ Mac OS X の場合



1. アップルメニューを開き、［システム環境設定］を選びます。
2. システム環境設定ウィンドウの［ディスプレイ］アイコンをクリックし、ディスプレイの画面を表示します。
3. ［ディスプレイ］タブを選び、［解像度］の一覧から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
4. ［システム環境設定］のウィンドウを閉じます。

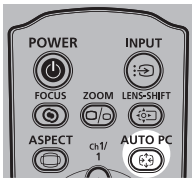
オート PC で調整する

入力信号が［アナログ PC-1］［アナログ PC-2］の場合、映像の表示位置が上下左右にずれていたり、画面がちらつくようなときに、【AUTO PC】ボタンを押すと、本機が最適な状態に調整されます。
調整結果は記憶されますので、同じコンピューターに接続して使用する場合は、入力信号を選ぶだけで前回調整された状態で投写できます。

■ オート PC を行う

【AUTO PC】ボタンを押すと、本機の調整が行われます。

リモコン



オート PC での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。
- ［入力信号選択］からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P62)
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、［入力信号設定］から、［総ドット数］、［トラッキング］、［水平 / 垂直位置］、［水平 / 垂直表示ドット数］を調整してください。(P63、P64)
- 本機が対応している信号形式については、186 ページの表を参照してください。

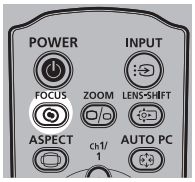
画面のピント / 画面サイズ / 画面の位置を調整する

画面のピントを合わせる

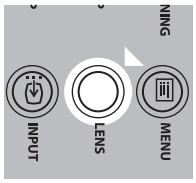
リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンでピント合わせができます。レンズユニットごとの投写距離は、106ページの「画面サイズと投写距離の関係」を参照してください。

1 **リモコンの【FOCUS】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを押すと、フォーカス調整画面が表示されます。**

リモコン

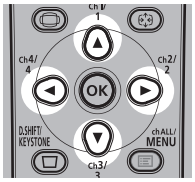


本体　1 回押す

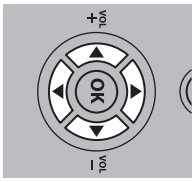


2 **方向ボタンでピントを合わせます。**

リモコン



本体



リモコンおよび本体の【▲】【▶】【▼】【◀】ボタンでピント位置の調整をします。
リモコンおよび本体の【▲】【▼】ボタンを長押しするとその方向へフォーカスが動き続けます。

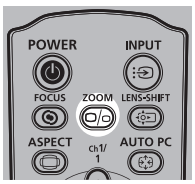
3 **ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。**

画面サイズを調整する

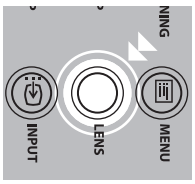
リモコンの【ZOOM】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで投写画面のサイズを調整することができます。調整しきれない場合は、本機の設置位置を変えてください。（P99）

1 **リモコンの【ZOOM】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを２回押すと、ズーム調整画面が表示されます。**

リモコン

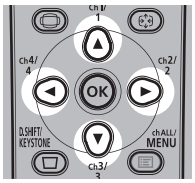


本体　2 回押す

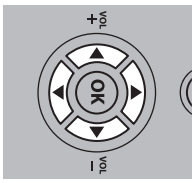


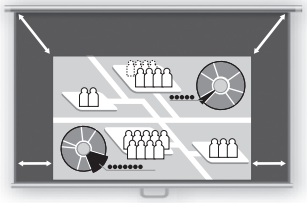
2 方向ボタンで画面サイズを調整します。

リモコン



本体





スクリーン

リモコンおよび本体の【▲】【▶】ボタンで画面サイズを拡大します。
リモコンおよび本体の【▼】【◀】ボタンで画面サイズを縮小します。
リモコンおよび本体の【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを長押しするとその方向へ画面サイズが動き続けます。

3 画面サイズが決定したら【OK】ボタン、または【ZOOM】ボタンを押します。

固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）を装着している場合、光学ズーム調整の代わりに、電子ズーム調整を行います。

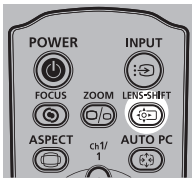
画面の位置を調整する

リモコンの【LENS-SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面の位置を上下左右に調整できます。これは、「レンズシフト」といい、レンズの位置を上下左右に移動させることで、投写画面を最適な位置に変更できる機能です。（P108）

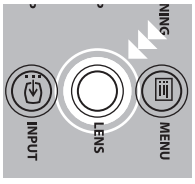
- レンズシフト量（画面サイズに対する移動量のパーセンテージ）の範囲は、使用するレンズユニットによって異なります。（P108）
- 固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）では四隅に、それ以外のレンズは左上と右上に、レンズシフトが移動できない領域があります。（P109）

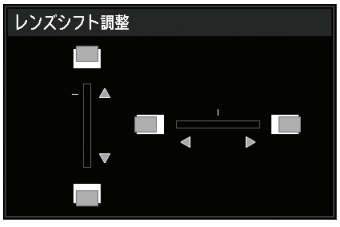
1 リモコンの【LENS-SHIFT】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを３回押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。

リモコン

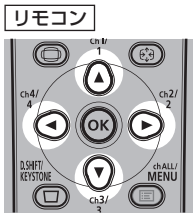


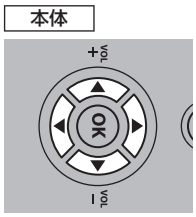
本体　３回押す*

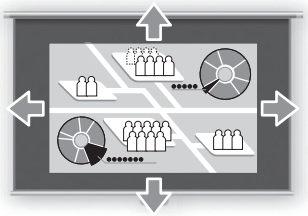




2 **方向ボタンで調整します。**



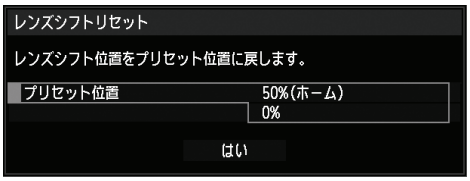



スクリーン

リモコン及び本体の【▲】【▼】ボタンを押すと画面の位置が上下に移動します。
リモコン及び本体の【◀】【▶】ボタンを押すと画面の位置が左右に移動します。
それぞれのボタンを長押しするとその方向へ画面が動き続けます。

3 **位置が決まったら【OK】ボタンを押します。**

■ 位置をリセットする



レンズシフトで移動したレンズの位置は、電源を切っても戻りません。元に戻すには、リセットの操作を行ってください。
まず、画面位置の調整中にリモコンの【LENS-SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンを長押しして、［レンズシフトリセット］画面を表示させます。
使用しているレンズに応じた選択肢が表示されるので、方向ボタンでいずれか選んで【OK】ボタンを押します。

レンズユニットの種類	選択できる項目
標準ズームレンズ RS-IL01ST	50%（ホームポジション）：上 50%、左右 0% 0%　：上下左右とも 0%
長焦点ズームレンズ RS-IL02LZ	
超長焦点ズームレンズ RS-IL04UL	
短焦点ズームレンズ RS-IL05WZ	
固定短焦点レンズ RS-IL03WF	0%（ホームポジション）　：上下左右とも 0%

ステップ4 スクリーンに合わせて縦横比(アスペクト)を選択する

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

[スクリーンアスペクト] お使いのスクリーンの縦横比と同じものを選んでください。
[アスペクト] 基本的に［オート］を選んでください。

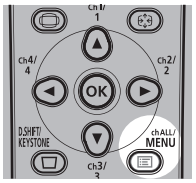
ただし、コンピューターなどの入力機器の解像度によっては設定を変更したほうが良い場合もあります。希望通りの縦横比で投写されないときは、182ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

スクリーンアスペクトを選ぶ

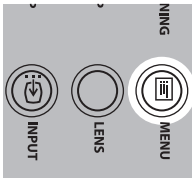
使用するスクリーンの縦横比に合わせて選びます。

1 **【MENU】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。**

リモコン

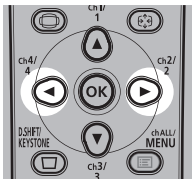


本体

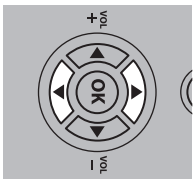


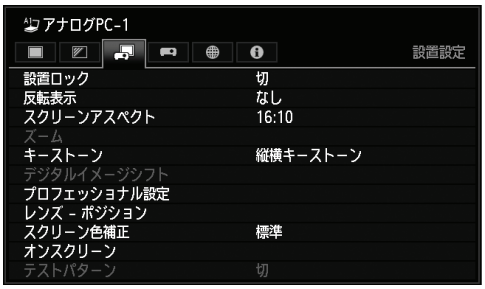
2 **【◀】【▶】ボタンで［設置設定］タブを選びます。**

リモコン



本体

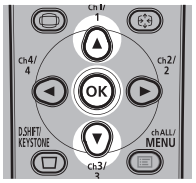




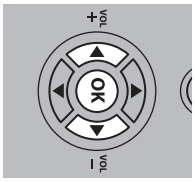
固定短焦点レンズを装着した場合、投写画面がスクリーンに入りきらない時に、映像を電子的に小さく表示することができます。
固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）装着時のみメニューに「ズーム」が表示されます。

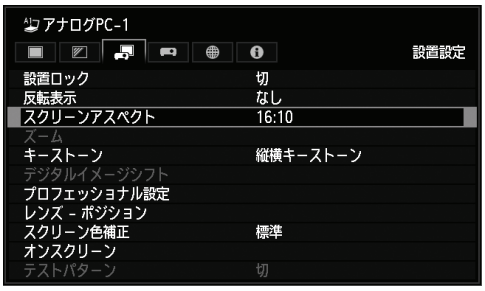
3 【▲】【▼】ボタンで［スクリーンアスペクト］を選び、【OK】ボタンを押します。

リモコン



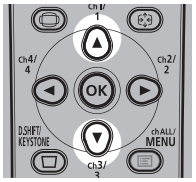
本体



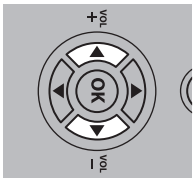


4 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。

リモコン



本体



16：10

スクリーンの縦横比が 16：10 のときに選びます。壁に投写するときも、このスクリーンアスペクトを選んでください。
このモードは台形ひずみの補正ができます。(P42)

16:10のスクリーン

16：9

スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができます。 (P42)

16:9のスクリーン

4：3

スクリーンの縦横比が4：3 のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができます。(P42)

4:3のスクリーン

16：9 Dイメージシフト

スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。
映像の移動方法は38ページの「16:9 Dイメージシフト時に映像を移動する」を参照してください。

4：3 Dイメージシフト

スクリーンの縦横比が4：3のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。
映像の移動方法は 39 ページの「4:3 D イメージシフト時に映像を移動する」を参照してください。

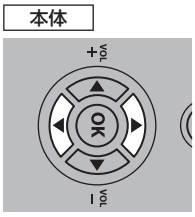
5 **【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。**

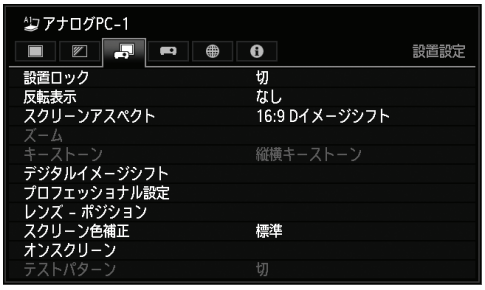
16:9 D イメージシフト時に映像を移動する

映像をデジタル処理により移動します。この機能をデジタルイメージシフトといいます。

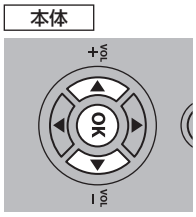
1 **スクリーンアスペクトが［16:9 D イメージシフト］のときに【MENU】ボタンを押すか、リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押します。**
リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押した場合は、手順 4 に進んでください。

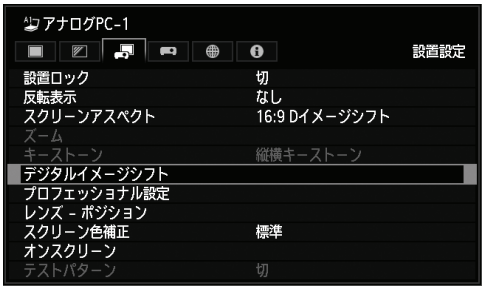
2 **【◂】【▸】ボタンで［設置設定］タブを選びます。**



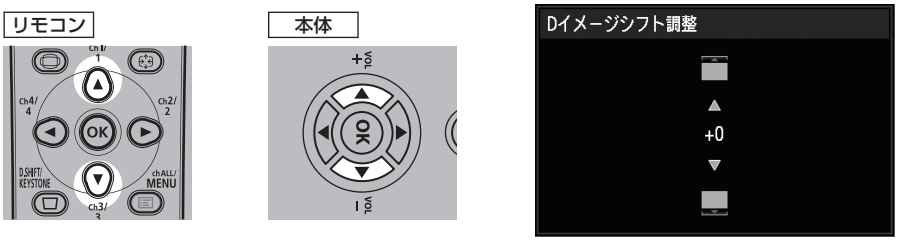


3 **【▲】【▼】ボタンで［デジタルイメージシフト］を選び、【OK】ボタンを押します。**





4 【▼】【▲】ボタンで映像の上下位置を調整します。



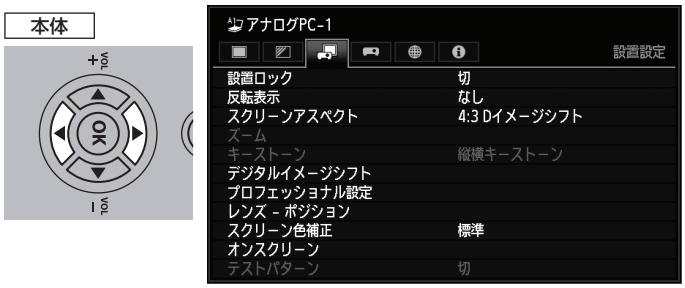
【▲】ボタン：上に移動　　スクリーン　　【▼】ボタン：下に移動

5 スクリーンに合わせたら、【OK】ボタンを押します。

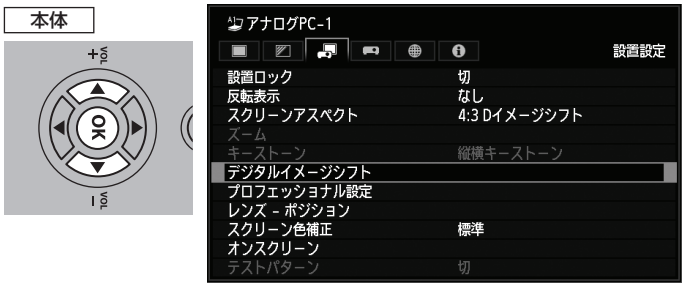
4:3 D イメージシフト時に映像を移動する

1 スクリーンアスペクトが［4:3 Dイメージシフト］のときに【MENU】ボタンを押すか、リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押します。
リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押した場合は、手順４に進んでください。

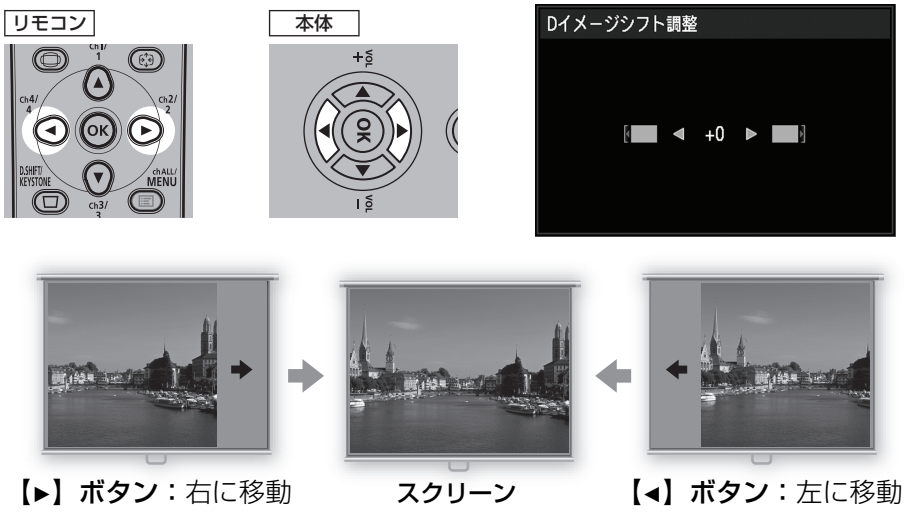
2 【◀】【▶】ボタンで［設置設定］タブを選びます。



3 【▲】【▼】ボタンで［デジタルイメージシフト］を選び、【OK】ボタンを押します。



4 【◀】【▶】ボタンで映像の左右位置を調整します。



5 スクリーンに合わせたら、【OK】ボタンを押します。

移動をリセットする

次の手順で、移動をリセットできます。[Dイメージシフト調整] 画面を表示し、【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押して［D イメージシフトリセット］画面を表示させます。次に【◀】ボタンで［はい］を選び、【OK】ボタンを押します。

アスペクトを選択する

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて［アスペクト］を選びます。アスペクトについて詳しくは、182ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

アスペクトの種類

オート

入力信号の縦横比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。

16:10

入力信号の縦横比を 16：10にして投写します。
縦横比 16:10の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。

16：9

入力信号の縦横比を 16：9 にして投写します。縦横比 16：9 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。

4：3

入力信号の縦横比を 4：3 にして投写します。縦横比 4：3 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。

ズーム

スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときなどに選んでください。

入力信号や解像度により選択できない場合があります。

リアル

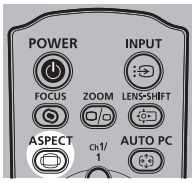
入力信号の解像度のまま投写します。最大解像度以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときに選んでください。

入力信号や解像度により選択できない場合があります。

アスペクトの選択のしかた

リモコンの【ASPECT】ボタンを押して選びます。【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。アスペクトについて詳しくは、182 ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

リモコン



例)

メニューの［アスペクト］からも選べます。(P61)

入力信号によっては、表示されないアスペクトの種類があります。

台形ひずみを調整する

【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンで台形ひずみの補正ができます。
台形ひずみの補正は、リモコンを使っておこないます。
台形ひずみの調整方法には、縦横キーストーン補正と４点補正の２種類があります。
縦横キーストーン補正では、上下、左右方向の長さを変更し、４点補正ではそれぞれの角ごとに位置を調整します。
２種類のキーストーンの切り換え方法は、「キーストーンを 設定する」(P121) をご覧ください。【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押したときに、設定したキーストーンの補正方法で調整することができます。

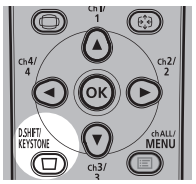
- 補正の状態は記憶されます。設置場所が同じであれば調整し直す必要はありません。
- 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見えかたが異なることがあります。また、画面の縦横比が変わることがあります。
- スクリーンアスペクトが［4:3 D イメージシフト］か［16:9 D イメージシフト］の場合は、デジタルイメージシフト機能が呼び出されます。(P38、P39)

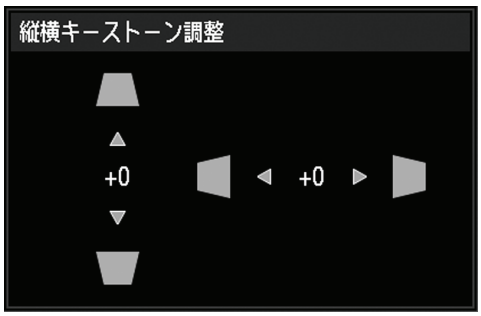
■ 縦横キーストーン補正を行う

縦横キーストーンの補正中は、設置設定メニューの［ズーム］(P121) は使えません。

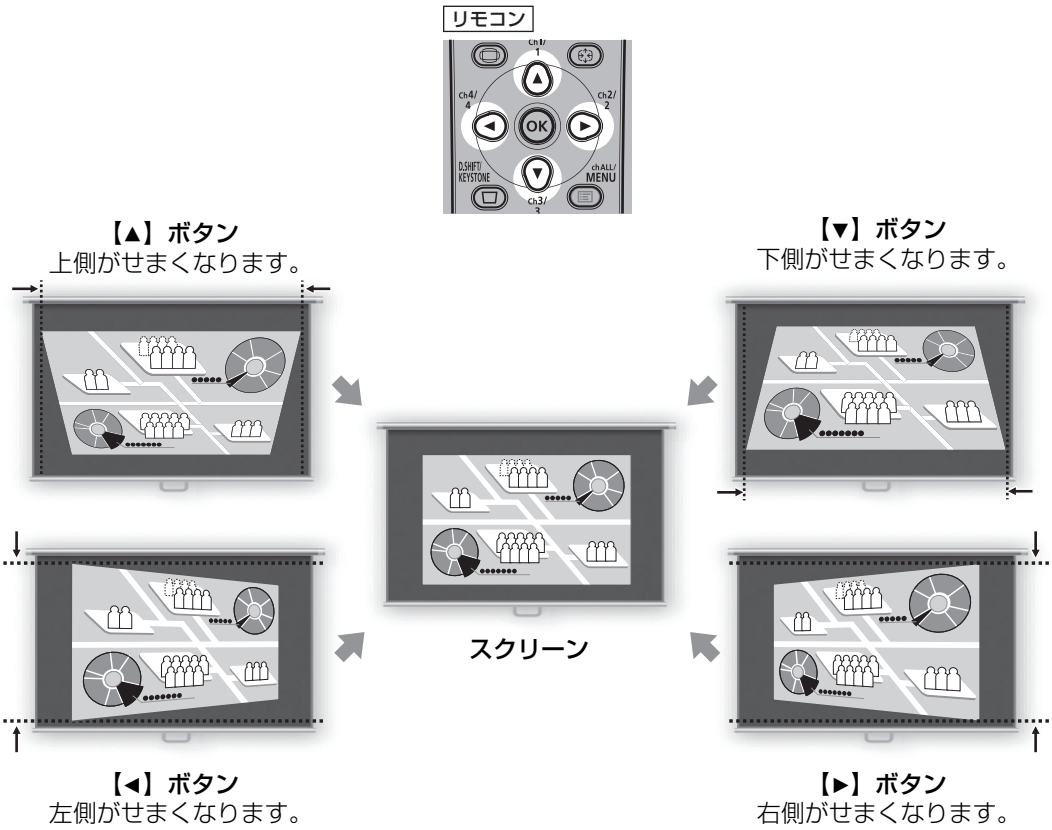
1　リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押すと、縦横キーストーン調整画面が表示されます。

リモコン





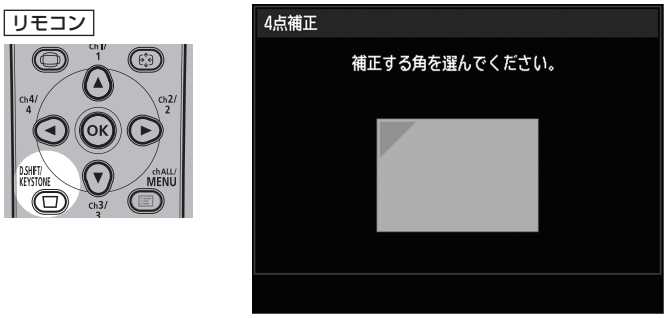
2 方向ボタンで調整します。



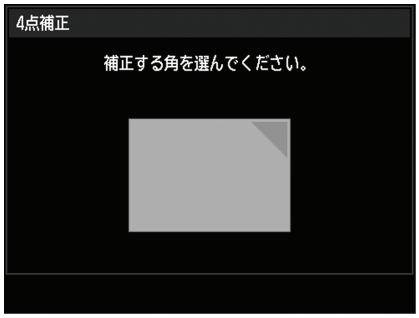
3 補正が終わったら、【OK】ボタンを押します。

■ 4点補正を行う

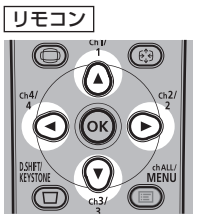
1 リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押すと、4点補正画面が表示されます。



2 方向ボタンで、補正する角を選択し、【OK】ボタンを押します。



3 方向ボタンで調整します。

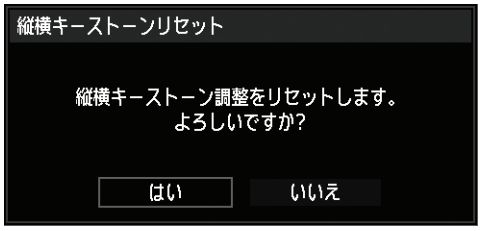


4 補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

4点補正をした後に設置設定メニューの［ズーム］(P121) で調整した場合、4点補正の設定は解除されます。

■ 補正をリセットする

次の手順で、補正をリセットできます。
まず、リモコンの【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを 2 回押して［キーストーンリセット］画面を表示させます。キーストーンで選んでいる台形ひずみの補正をリセットすることができます。
次に【◀】ボタンで［はい］を選び、【OK】ボタンを押します。



ステップ6　画質 (イメージモード) を選択する

投写する映像の内容に合わせてイメージモード (画質) を選べます。各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整とランプモードの設定ができます。(P69)

イメージモードの種類

選択されている入力信号、および [HDMI 入力]（P90）の設定（[オート] / [PC]）により、選べるイメージモードが一部変わります。

イメージモード	対応する入力信号		説明　（1）部屋の明るさ　（2）画像 / 映像　（3）特長
	・デジタル PC ・アナログ PC-1、2 ・HDMI（[HDMI 入力] が [PC]） ・LAN ・USB	・コンポーネント ・HDMI（[HDMI 入力] が [オート]）	
スタンダード	○	○	（1）明るい （2）コンピューター画面や映像ソフト（動画） （3）白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	○	—	（1）明るい （2）文字を中心とした画像 （3）画面が明るい
ダイナミック	—	○	（1）明るい （2）映像ソフト（動画） （3）画面が明るい
ビビッド・フォト	○	—	（1）やや暗い （2）デジタルカメラ画像 （3）色を鮮やかに表現
フォト / sRGB	○	○	（1）やや暗い （2）sRGB 対応のデジタルカメラ画像 （3）sRGB 規格対応
ビデオ	—	○	（1）やや暗い （2）ビデオカメラ映像 （3）テレビに近い色表現
シネマ	—	○	（1）暗い （2）映画コンテンツ （3）映画に対応
ユーザー 1 ～ 5	○	○	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを5種類までメモリに登録することができます（P70）。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

○：対応　　—：非対応

■ イメージモードの選びかた

リモコンの【IMAGE】ボタンを押して選びます。
【IMAGE】ボタンを押すたびに、イメージモードの種類が切り換わります 。(表示されるイメージモードの種類は、選択されている入力信号により異なります)

リモコン

メニューの［イメージモード］からも選べます。(P69)

- ユーザー 1 ～ 5 は、イメージ調整メニューのユーザーメモリ作成でお好みの画面設定を保存したときに表示されます。(P70)

ステップ 7　エコ設定を行う

省電力に関する機能を設定します。
設定できるのは、以下の４項目です。詳細は、各機能の解説ページを参照してください。

- **ランプモード（P78）**
  イメージモードでのランプとファンの消費電力を切り換えます。

- **パワーマネージメントモード（P82）**
  映像入力信号がなくなり、しかもリモコンや本体操作部の操作がない場合、所定時間が経過した後にランプや電源をオフにできます。

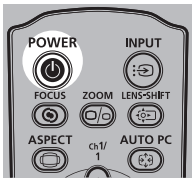
- **パワーマネージメント時間（P83）**
  一定時間、入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的にランプや電源がオフになる機能です。

- **ネットワーク待機設定（P143）**
  スタンバイ時にネットワーク機能を作動させるかどうかの設定です。

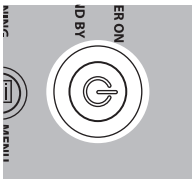
ステップ 8　本機の電源を切る

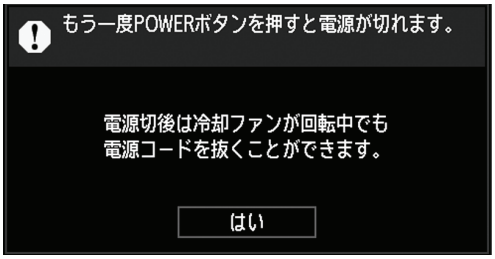
1 【POWER】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。

リモコン



本体





2 **画面の表示中に、もう一度【POWER】ボタンを押すと電源が切れます。**
電源を切った後、本機の冷却が終了した状態を「スタンバイ状態」といいます。

電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまで待ってください。

- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。
- 連続使用は、ランプおよび内部光学部品の寿命を縮める原因になります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プレゼンテーションで使える便利な機能

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

プレゼンテーション中に役立つ機能

映像を一時的に消す

こんなときに便利

- **プレゼンテーションを終えたとき**
- **出席者の注意をスクリーンからそらすとき**

リモコン

【BLANK】ボタンを押すと映像が消えます。
もう一度【BLANK】ボタンを押すと元の映像が表示されます。

- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。(P81)
- 映像が消えている間もランプは点灯しています。

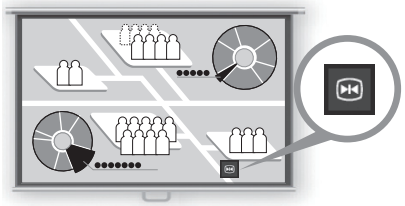
映像を静止させる

こんなときに便利

- **コンピューターを隠れて操作するとき**
- **変化する映像を途中で止めて見せたいとき**

リモコン

【FREEZE】ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【FREEZE】ボタンを押すと元の映像に戻ります。

- 入力信号がなくなると解除されます。

音量を調整する

こんなときに便利

- **本機または外部スピーカーの音量を調整したいとき**

リモコン

【VOL】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。

- 本体の【▲】【▼】ボタンでも音量が調整できます。
- 音が出ないときは、コンピューター側の音量調整やミュートなどの設定を確認してください。
- 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音量も調整できます。

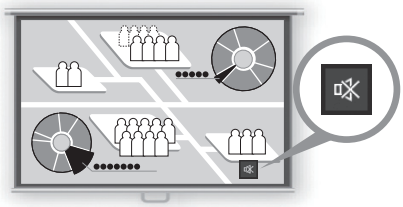
音声を一時的に消す

こんなときに便利

- **一時的に不要な音声を消したいとき**
- **急いで音声を消したいとき**

リモコン

【MUTE】ボタンを押すと音声が消え、下のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【MUTE】ボタンを押すと元の音量に戻ります。

- 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音声も消えます。

映像の一部を拡大する

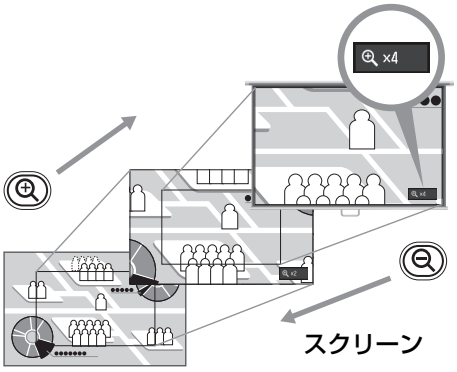
こんなときに便利

- **細かいグラフなどを大きく見せたいとき（最大12倍）**
- **説明箇所を強調したいとき**

リモコン

【D.ZOOM】ボタンの＋を押すと映像の一部が拡大され、－を押すと映像が縮小されます。

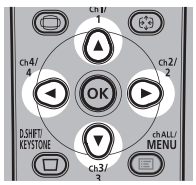
- 画面に拡大率が表示されます。



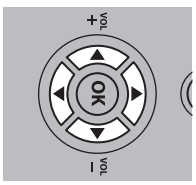
スクリーン

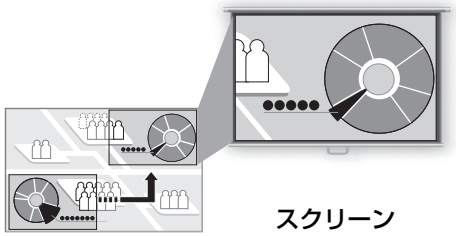
拡大する場所は【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動できます。

リモコン



本体





スクリーン

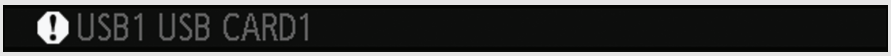
【OK】ボタンを押すと元の大きさに戻ります。

【D.ZOOM】ボタンは設置設定メニューの［ズーム］（P121）と別の機能です。

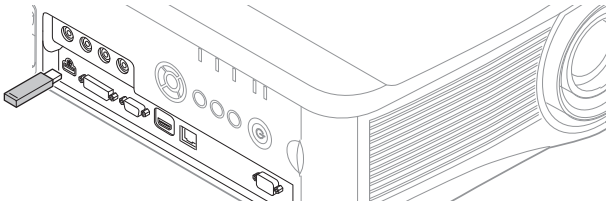
USB メモリの画像を投写する

USB 端子に接続した USB メモリ内の画像を投写することができます。画像を選択して表示することも、自動的に順次表示していくこともできます。表示できる JPEG 画像のサイズは**最大 10912×8640 ドット**です。

- セキュリティ機能付きの USB フラッシュメモリは、本機で認識できず、ドライブ選択できない場合があります。
- ファイルシステムへのマウントに失敗した場合、ドライブ名がグレー表示となり、以下のアイコンが表示されます。その場合その USB ドライブは使用できません。



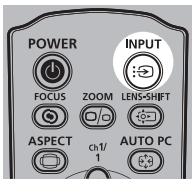
1 USB メモリを USB 端子に接続します。



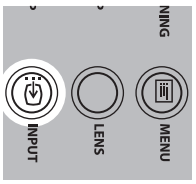
USB メモリは、本機の USB 端子に直接接続してください。ハブを介して接続した場合は、USB メモリを認識しません。

2 【INPUT】ボタンを押します。

リモコン

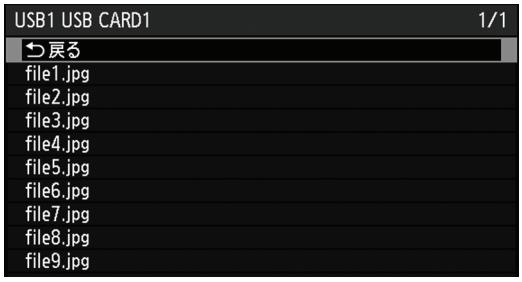


本体



3 【INPUT】ボタンを何度か押し、［USB］を選びます。

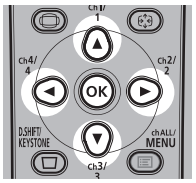
USB メモリ内の JPEG ファイルの一覧が表示されます。



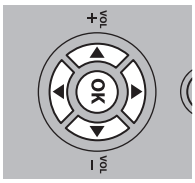
- USB メモリ内に複数のドライブが設定されている場合は、ドライブ選択画面が表示されるので、方向ボタンでドライブを選択し、【OK】ボタンを押してください。そのドライブ内のファイル一覧が表示されます。
- 入力信号を［USB］にした場合、LAN 入力との 2 画面表示は無効になります。

4 **方向ボタンでファイルを選び、【OK】ボタンを押すと、ファイルが投写されます。**

リモコン



本体



【▲】【▼】ボタンでファイルを選びます。
【◀】【▶】ボタンでページを切り換えます。(複数ページの場合)
フォルダを選択して【OK】ボタンを押すと、上位のフォルダ、下位のフォルダを表示することができます。

USB メモリ内の JPEG ファイルの投写時は、MB リダクションの設定はできません。(P86)

5 **必要に応じて表示を切り換えます。**
【▲】ボタンで、前の画像に切り換わります。
【▼】ボタンで、次の画像に切り換わります。
【◀】ボタンで、画像が左 90° 回転します。
【▶】ボタンで、画像が右 90° 回転します。

6 **表示を終了するには、USB メモリを抜き取ります。**

USB メモリ内の画像を自動的に順次表示していくスライドショー機能もあります。(P67)

2 画面を並べて表示する

2系統の映像入力を並べて投写することができます。これを**「2画面表示」**といいます。2画面表示にすると、それまで表示していた画面が左側に表示され、新しく右側に別の画面が表示されます。【INPUT】ボタンにより、各画面の映像入力を変更することができます。ただし、左画面と右画面に同一の入力信号（端子）を指定できません。

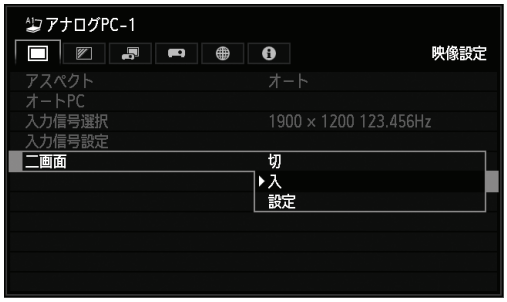
- LAN 入力と USB 入力を組み合わせて 2 画面表示にすることはできません。
- 2 画面表示中は、設置設定メニューの［ズーム］(P121) は使えません 。

1 **本機に2系統の映像を入力します。**

2 **【MENU】ボタンを押し、【◀】【▶】ボタンで［映像設定］タブを選びます。**

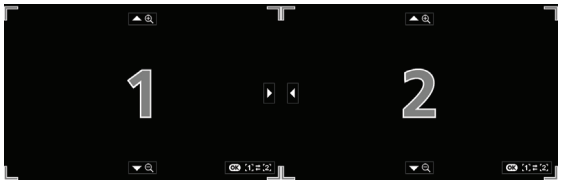
3 **【▲】【▼】ボタンで［二画面］を選び、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】【▼】ボタンで［入］を選び、【OK】ボタンを押します。**



- 一方の画面の中央に数字が表示されます。左画面のときは 1 が、右画面のときは 2 が表示されます。数字の表示されているほうに「画面の操作権」があり、その画面の映像の音声が出力されます。また、［イメージ優先］を切り替える場合も操作権のある画面です。(P68)
- シャープネス (P72)、ダイナミックガンマ (P76)、ノイズリダクション（P74、P75）、ランプ制御（P78）、MB リダクション (P86) の調整はできません。
- ［反転表示］(P119)、［スクリーンアスペクト］(P120)、［キーストーン］(P121)、［ズーム］（P121）、［ユーザー画面登録］(P80) など一部の機能が使用できません。
- 一画面で表示しているときと比べ、イメージモードの色味が異なります。

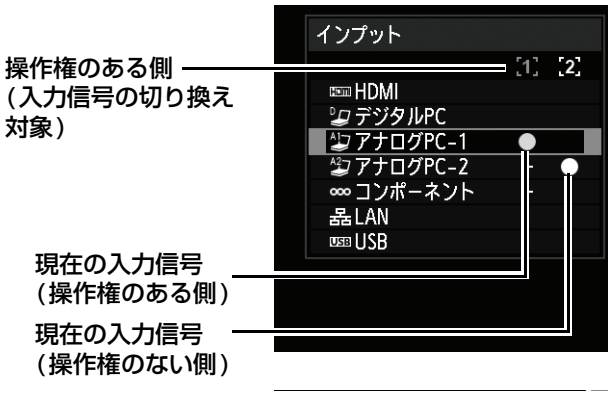
5 **画面中央に ▷ または ◁ が出ているときに、リモコンの【◀】【▶】で操作権を移動することができます。**



（上図は、2 画面表示のイメージです。）

6 **【INPUT】ボタンを押し、操作権のある画面の入力信号をリモコンの【▲】【▼】で選択します。**

［インプット］メニューが表示されます。現在の操作権は、メニューの右上にオレンジ色で表示されている 1 または 2 で確認できます。また、操作権がある側の入力信号は○（緑）で、操作権がない側の入力信号は○ (白) で示されます。
入力信号の選択について詳しくは「入力信号を選択する」(P30) をご覧ください。



2 画面表示を終了するには、［映像設定］タブから、［二画面］＞［切］の順に選びます。

- ［LAN］または［USB］を入力信号に選んだ場合は、左画面と右画面の横幅比率が 50 : 50 で表示されます。（P67）
- 2 画面表示中にプロジェクターがいったんスタンバイ状態やランプオフ状態になると、次に起動した場合、1 画面の表示（操作権のある側）に戻ります。

メニューによる機能設定

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

メニューの使いかた

メニュー (MENU) で本機の動作をきめ細かく設定できます。

メニューの構成

メニュー画面は、次の６つのタブに分かれています。

［設置設定］タブ
本機を設置するときの設定です。

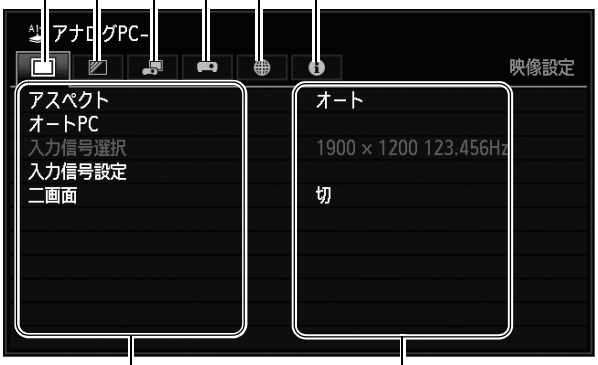
［イメージ調整］タブ
画質や色をお好みに合わせて調整します。

［映像設定］タブ
入力映像の信号形式や投写方法を設定します。

［システム設定］タブ
本機の動作に関する設定です。

［ネットワーク設定］タブ
本機をネットワーク経由でコンピューターから利用する場合の設定です。
ネットワーク設定については「ネットワークに接続して使用する」(P139) を参照してください。

［インフォメーション］タブ
投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



項目が表示される入力信号の種類

入力信号の種類によって、表示される項目が異なります。
各項目の説明では、その項目が表示される入力信号の種類を次のように表記しています。

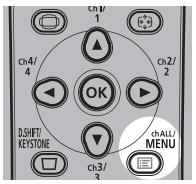
○ 項目が表示される入力信号
— 項目が表示されない入力信号

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

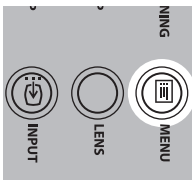
メニューの基本操作

1 【MENU】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

リモコン

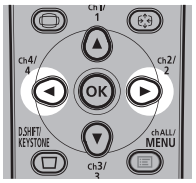


本体

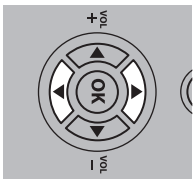


2 【◀】【▶】ボタンでタブを選びます。

リモコン



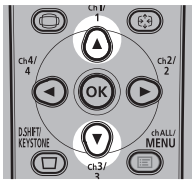
本体



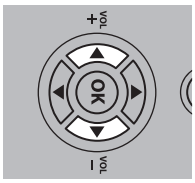
- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】【▼】ボタンで一番上に移動させます。

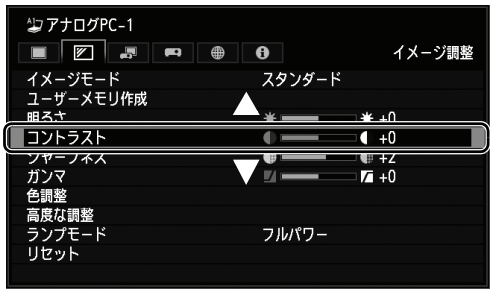
3 【▲】【▼】ボタンで項目を選びます。

リモコン



本体





4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

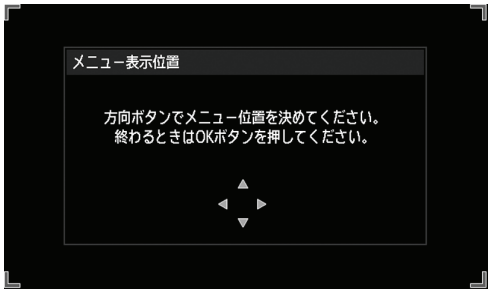
リストから選ぶ　例：アスペクト (P61)

1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】ボタンまたは【▶】ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら【OK】または【▶】ボタンを押します。

【◀】【▶】ボタンで調整する　例：コントラスト (P71)

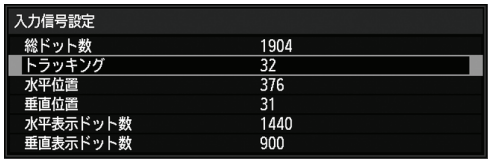
1. コントラストを選びます。
2. 【◀】【▶】ボタンで調整量を変えます。

別画面を表示させて選ぶ (1)　例：メニュー表示位置 (P126)



1. メニュー表示位置を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 画面のメッセージに従って操作します。

別画面を表示させて選ぶ (2)　例：トラッキング (P63)



1. 入力信号設定を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. トラッキングを選びます。
4. 【▲】【▼】ボタンで内容を選び、【◀】【▶】ボタンで数値を選びます。
5. 決まったら【OK】ボタンを押します。

5 【MENU】ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

アスペクトを選択する

MENU >[映像設定]>**[アスペクト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の縦横比に合わせてアスペクトを設定します。(P40)

- LAN、USB の場合は、自動的に［オート］が選択されます。
- スクリーンアスペクトや入力信号の種類により、表示される内容が異なります。
- リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

オート	入力信号の縦横比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
16:10	入力信号の縦横比を 16：10 にして投写します。
	• 入力信号や解像度により選択できない場合があります。
16：9	入力信号の縦横比を 16：9 にして投写します。縦横比 16：9 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
4：3	入力信号の縦横比を 4：3 にして投写します。縦横比 4：3 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
ズーム	スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大縮小して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。
	• 入力信号や解像度により選択できない場合があります。
リアル	入力信号の解像度のまま投写します。
	• 入力信号や解像度により選択できない場合があります。

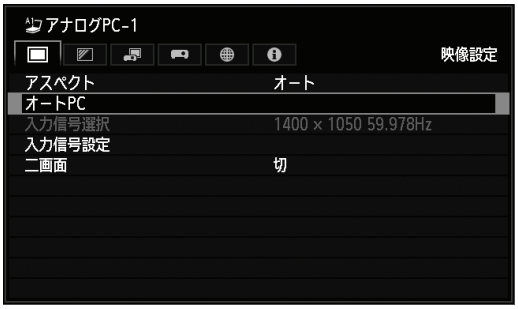
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

オート PC で設定する

MENU >[映像設定]>**[オート PC]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

表示位置のずれや画面のちらつきを自動的に調整します。調整結果は記憶されます。



【OK】ボタンを押して確定します。

オート PC での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。

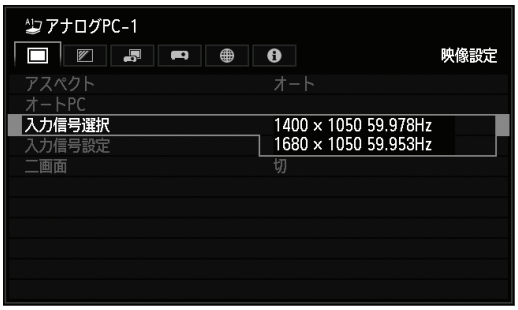
- [入力信号選択] からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P62)
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、[入力信号設定] から、[総ドット数]、[トラッキング]、[水平 / 垂直位置]、[水平 / 垂直表示ドット数] を調整してください。(P63、P64)
- 本機が対応している信号形式については、186 ページの表を参照してください。

入力信号を選択する (アナログ PC 入力)

MENU >[映像設定]>**[入力信号選択]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

コンピューターの映像がオート PC 機能 (P32) で正しく投写されないときに、解像度を選びます。



コンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

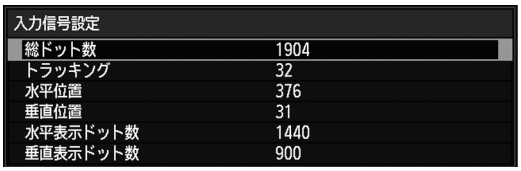
- 本機が対応している信号形式については、186 ページの表を参照してください。

入力信号を調整する (総ドット数)

MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[総ドット数]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

水平期間の総ドット数を調整します。
画面に縞模様が現れるときなどに調整します。



【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。
調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

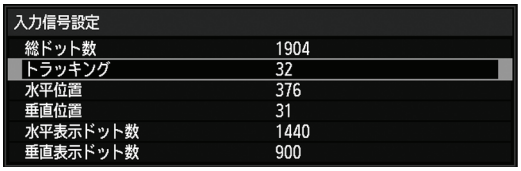
- オート PC (P32) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号を調整する (トラッキング)

MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[トラッキング]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。
画面がくずれたり、ちらつくときに調整します。



【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。
調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

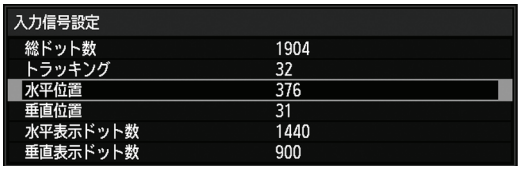
- オート PC (P32) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

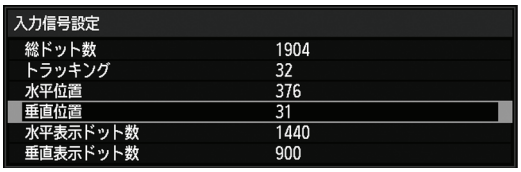
入力信号を調整する
(水平 / 垂直位置)

MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[水平位置] /[垂直位置]**

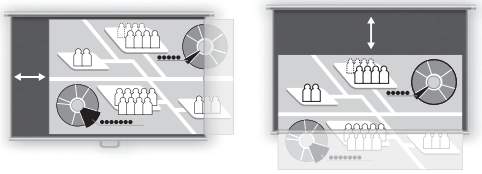
— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画面が左右、または上下にずれて表示されるときに、水平、垂直位置を調整します。





【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が左、または上に移動します。



スクリーン　スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

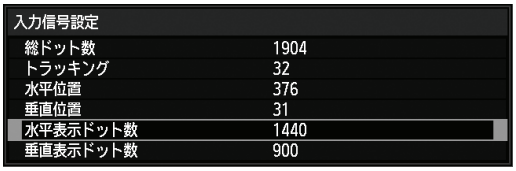
- オート PC (P32) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

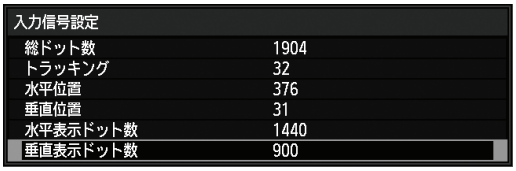
入力信号を調整する
(水平 / 垂直表示ドット数)

MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>
[水平表示ドット数]/ [垂直表示ドット数]

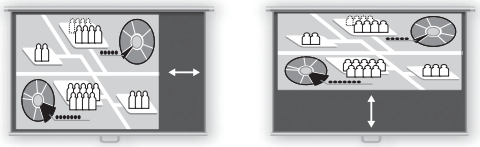
— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画面が左右上下に広いまたは狭いときに、水平 / 垂直方向のドット数を調整します。





【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。



スクリーン　スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- オート PC (P32) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

HDMI 入力レベルを調整する

MENU >[映像設定]>**[HDMI 入力レベル]**

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選びます。

オート	入力信号に応じて入力レベルを自動的に切り替えます。
標準	入力レベルを 16 ～ 235 の制限付きで入力します。
拡張	入力レベルを 0 ～ 255 のフル入力します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【オート】** です。
- AV 機器からの信号形式が RGB のときのみ選べます。
- ［オート］では信号レベルを自動的に選びます。(AV 機器によっては対応していないことがあります)
- AV 機器の HDMI 出力が［標準］［拡張］に切り換えられるときは、［拡張］に設定することをおすすめします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の［HDMI 入力レベル］は［オート］または［拡張］を選んでください。
  詳しくは、接続する AV 機器の取扱説明書を参照してください。

HDMI カラーフォーマットを設定する

MENU >[映像設定]>**[HDMIカラーフォーマット]**

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。

オート	入力された HDMI 信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的に RGB 信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【オート】** です。

HDMI オーバースキャンを設定する

MENU >[映像設定]>**[HDMIオーバースキャン]**

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

HDMI 信号の映像ソフトを投写するときに、映像周辺が乱れている場合、映像の周辺をカットして投写するときに選びます。

切	入力信号全体 (100%) を投写します。映像がスクリーンより小さめに投写されるときがあります。
入	映像周辺部の乱れを除去して投写します。(映像の中央 95% 部分を投写) 入力信号の解像度によっては映像周辺が一部切り取られることがあります。この場合は［切］にしてください。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

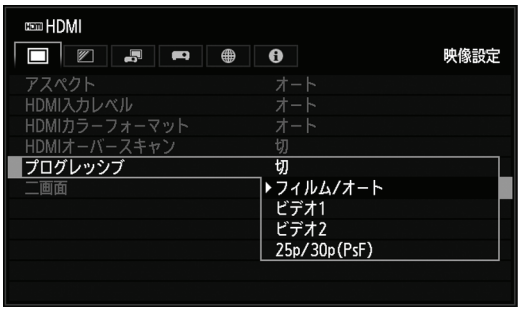
- 工場出荷時は **【切】** です。

プログレッシブ処理を設定する

MENU >[映像設定]>**[プログレッシブ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

フィルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定できます。



切	プログレッシブ処理を行いません。
フィルム / オート	静止画や一般的な動画に適しています。フィルム映像やビデオ映像に対しプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 1	高画質で動きの遅いビデオ映像に適しています。高精細なビデオ映像に最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 2	動きの速いビデオ映像に適しています。動きの速いビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処理を行います。
25p/ 30p(PsF)	1080PsF/25 (25 フレーム / 秒) および 1080PsF/30 (30 フレーム / 秒) の映像に対しプログレッシブ処理を行います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【フィルム / オート】** です。
- 動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは［切］にしてください。
- 2 画面時は、プログレッシブ設定はできません

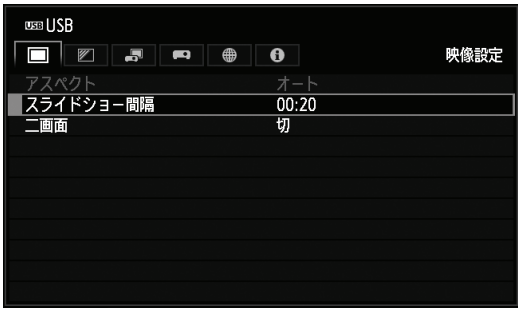
スライドショー間隔を設定する

MENU >[映像設定]>**[スライドショー間隔]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	○ USB

USB メモリの画像を自動的に順次表示させることができます。

【◀】【▶】ボタンで画像の切り換え間隔 (分 : 秒) を設定します。



【MENU】ボタンを押します。

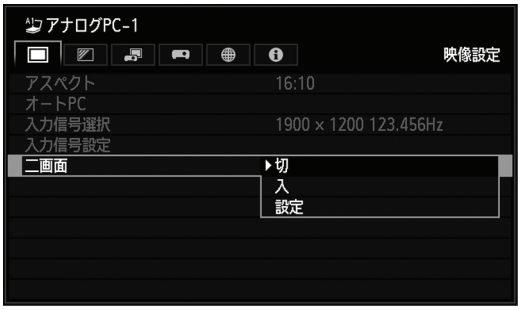
- 工場出荷時は **[--:--]** です (画像は自動的に切り換わりません) 。
- 設定値は、最小 1 秒～最大 60 分で選択できます。
- スライドショーを開始した後、入力信号を [USB] 以外に変更した場合は、スライドショーを停止します。再度、[USB] に入力信号を戻した場合は、停止した画像からスライドショーを再開します。
- スライドショー中の D.ZOOM 機能は、表示している画像にのみ有効です。

2 画面表示を設定する

MENU >[映像設定]>**[二画面]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

2 系統の映像を並べて投写することができます。(P54)



切		2 画面表示を終了します。
入		2 画面表示にします。
設定		

二画面	切	2 画面表示を終了します。
	入	2 画面表示にします。
操作権	左画面	左画面を操作します。左画面に「1」が表示されます。
	右画面	右画面を操作します。右画面に「2」が表示されます。
左右入れ替え		左画面と右画面の映像を入れ替えます。
レイアウト	モード 3-7	左画面と右画面を横幅比率 30：70 で表示します。
	モード 5-5	左画面と右画面を横幅比率 50：50 で表示します。
	モード 7-3	左画面と右画面を横幅比率 70：30 で表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。操作権のある画面には、数字の 1 または 2 が表示されます。

- 工場出荷時は **[切]** です。
- 画面中央に ▷ または ◁ が出ているときに、リモコンの【◀】【▶】で操作権を移動します。
- 2 画面切り替え時は、インプット画面内に左右二つの信号名と、入力状態を表示します。

LAN 入力と USB 入力を組み合わせて 2 画面表示にすることはできません。

2 画面表示時のイメージ優先を設定する

MENU >[イメージ調整]>**[イメージ優先]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

2画面表示のとき、一部の画像処理は両方の画面に適用されます。どちらの画面の画像処理条件を適用させるかを選びます。

プライマリ	操作権のある画面を［プライマリ］にします。2 画面それぞれの画面に対し個別にイメージ調整メニューが設定できない項目は、［プライマリ］の設定が［セカンダリ］にも反映されます。
セカンダリ	［セカンダリ］⇒［プライマリ］の変更だけで、選択できません。逆にする場合は操作権をもう一方の画面に移し、［プライマリ］にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

個別で設定できる項目

明るさ (P71) 、コントラスト (P71) 、ガンマ (P72) 、色調整 (P73)、ガンマ詳細設定 (P77)

［プライマリ］の設定が［セカンダリ］にも反映される項目

イメージモード (P69) 、ガンマ詳細調整以外の高度な調整 (P74 ～ P78) 、ランプモード (P78)

イメージモードを設定する

MENU >[イメージ調整]>**[イメージモード]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

投写する映像に適した画質 (P45) を選びます。リモコンの【IMAGE】ボタンでも選べます。(P45)

スタンダード	
部屋の明るさ：	明るい
画像 / 映像：	コンピューター画面や映像ソフト（動画）
特長：	白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	
部屋の明るさ：	明るい
画像 / 映像：	文字を中心とした画像
特長：	画面が明るい
ダイナミック	
部屋の明るさ：	明るい
画像 / 映像：	映像ソフト (動画)
特長：	画面が明るい
ビビッド・フォト	
部屋の明るさ：	やや暗い
画像 / 映像：	デジタルカメラ画像
特長：	色を鮮やかに表現
フォト / sRGB	
部屋の明るさ：	やや暗い
画像 / 映像：	sRGB 対応のデジタルカメラ画像
特長：	sRGB 規格対応
ビデオ	
部屋の明るさ：	やや暗い
画像 / 映像：	ビデオカメラ映像
特長：	テレビに近い色表現
シネマ	
部屋の明るさ：	暗い
画像 / 映像：	映画コンテンツ
特長：	映画に対応
ユーザー 1 ～ 5	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 5 種類までメモリ (ユーザーメモリ) に保存することができます。(P70) 保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **[スタンダード]** です。
- 各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
  [明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[ランプモード]
- 調整内容は、入力信号とイメージモードの組み合わせごとに記憶されます。

ユーザーメモリを作成 / 保存する

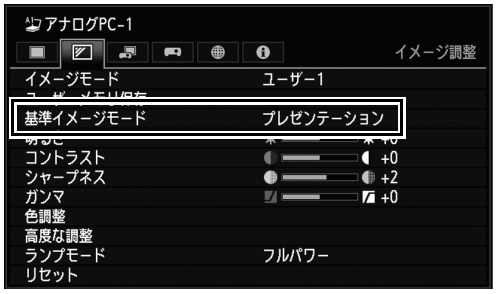
MENU >[イメージ調整]>**[ユーザーメモリ作成]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

画質の設定を 5 種類まで保存しておくことができます。保存した画質は、イメージモードで選ぶことができます。

ユーザー 1 ～ 5 から【▲】【▼】ボタンで任意の保存先を選びます。(保存済みのメモリにはチェックマークが表示されています)
保存先が決まったら【OK】ボタンを押して確定し、[戻る] を選択します。

- 保存される設定値は、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整、ランプモードです。
- 表示されるユーザーメモリの数は5個ですが、接続機器がコンピューター (アナログ PC、デジタル PC、HDMI ([HDMI 入力] (P90) が [PC] のとき) の場合と AV 機器 (コンポーネント、HDMI ([HDMI 入力] (P90) が [オート] のとき)) の場合とで別々に設定値を保存します。そのため、10 種類の設定値を保存できます。
- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も一緒に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが「基準イメージモード」としてメニューに表示されます。



明るさを調整する

MENU >[イメージ調整]>**[明るさ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の明るさが調整できます。

【▶】	映像が明るくなります。
【◀】	映像が暗くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

コントラストを調整する

MENU >[イメージ調整]>**[コントラスト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像のコントラストが調整できます。
明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像や、目にやさしい映像に調整できます。

【▶】	コントラストを上げます。映像が暗い部分と明るい部分の差がはっきりします。
【◀】	コントラストを下げます。映像が淡くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

シャープネスを調整する

MENU >[イメージ調整]>**[シャープネス]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の鮮明度を調整できます。

【▶】	映像が鮮明になります。
【◀】	映像がぼやけます。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

ガンマ補正を行う

MENU >[イメージ調整]>**[ガンマ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分が補正できます。
リモコンの【GAMMA】ボタンで補正することもできます。

【▶】	暗くて見えにくい部分が見えるように補正されます。
【◀】	明るくて見えにくい部分が見えるように補正されます。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ガンマ詳細調整 (P77) により、より詳細な調整を行うことができます。

色を調整する

MENU >[イメージ調整]>**[色調整]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の色の濃さ、色合いなどを赤、緑、青の各色ごとに調整できます。また色温度を調整することができます。

色の濃さ	色の濃さを調整します。 【▶】 色が濃くなります。 【◀】 色が淡くなります。
色合い	紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整します。 【▶】 紫がかった映像が補正されます。 【◀】 緑がかった映像が補正されます。
色温度	白の色味を調整します。 【▶】 青味がかった色になります。(寒色系) 【◀】 赤味がかった色になります。(暖色系)
赤 / 緑 / 青 ゲイン	赤、緑、青の色味のゲインを調整します。 【▶】 ゲインが大きくなります。 【◀】 ゲインが小さくなります。
赤 / 緑 / 青 オフセット	赤、緑、青のオフセットを調整します。 【▶】 オフセットが大きくなります。 【◀】 オフセットが小さくなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

環境光に合わせて調整する (アンビエントライト)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[アンビエントライト]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

スクリーン上に届く環境光による影響を低減させ投写します。[アンビエントライト]は、イメージモード(P69)がフォト/sRGBのときに選ぶことができます。

切		調整せずに投写します。
調整		
種類	電球	環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合。
	蛍光灯	環境光が昼白色蛍光灯の場合。
レベル	弱	環境光が通常の場合。
	強	環境光が明るい場合。

アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
強	会議室、教室

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

ノイズを低減する (ランダムノイズリダクション)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[ランダムノイズリダクション]

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

映像のランダムノイズを低減できます。

切	ランダムノイズリダクションを行いません。
弱 **中** **強**	ランダムノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- ノイズリダクションを行うと、解像感の低下が生じることがあります。
- 動きの速い映像の場合は **【弱】** を、動きの遅い映像の場合は **【強】** を選んでください。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。
- LAN/USB 入力時は、この項目は表示されません。

ノイズを低減する (MPEG ノイズリダクション)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]> **[MPEG ノイズリダクション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

映像の MPEG ノイズを低減できます。

切	MPEG ノイズリダクションを行いません。
弱 **中** **強**	MPEG ノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- ノイズリダクションを行うと、解像感の低下が生じることがあります。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。
- LAN/USB 入力時は、この項目は表示されません。

ノイズを低減する (モスキートノイズリダクション)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]> **[モスキートノイズリダクション]**

— HDMI	— コンポーネント	○ LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	○ USB

映像のモスキートノイズを低減できます。

切	モスキートノイズリダクションを行いません。
弱 **中** **強**	モスキートノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- ノイズリダクションを行うと、解像感の低下が生じることがあります。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。
- HDMI、デジタル PC、アナログ PC-1、アナログ PC-2、コンポーネントの信号入力時は、この項目は表示されません。

ダイナミックガンマを調整する

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[ダイナミックガンマ]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。

切	ダイナミックガンマを使用しません。
弱 **中** **強**	ダイナミックガンマを 3 段階で指定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

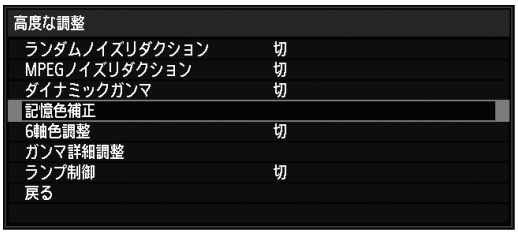
- 工場出荷時は以下の通りです。
  - HDMI ([HDMI 入力] (P90) が [PC] のとき) 、デジタル PC、アナログ PC、USB、LAN の場合は **【切】** です。
  - HDMI ([HDMI 入力] (P90) が [オート] のとき) 、コンポーネントの場合は **【弱】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

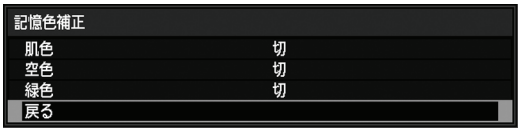
記憶色を補正する

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[記憶色補正]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

肌色、空色、緑色を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。





肌色 **空色** **緑色**	[切]、[弱]、[中]、[強] から補正の強度を指定します。[切] の場合は補正を行いません。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

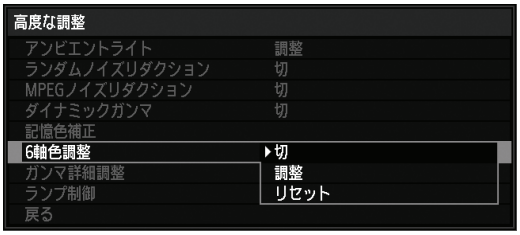
- 工場出荷時は以下の通りです。
  - HDMI ([HDMI 入力] (P90) が [PC] のとき) 、デジタル PC、アナログ PC、USB、LAN の場合は、イメージモードが「ビビッド・フォト」を除いて **【切】** です。イメージモードが「ビビッド・フォト」の場合は、**【中】** です。
  - HDMI ([HDMI 入力] (P90) が [オート] のとき) 、コンポーネントの場合は、イメージモードによらず **【弱】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

きめ細かい色調整を行う (6 軸色調整)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[6 軸色調整]

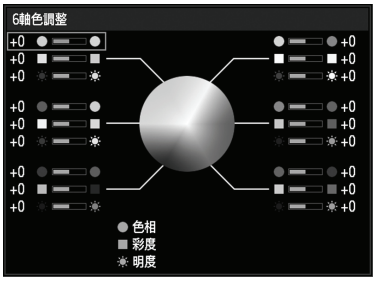
○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の色味を RGB (赤、緑、青) および CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) できめ細かく調整します。



切 6 軸色調整を行いません。
[調整] を選ぶと、以前の設定内容に戻ります。

調整 6 軸色調整を行います。



【▲】【▼】ボタンで [○色相 (色合い)]、[□彩度 (色の濃さ)]、[✳明度 (色の明るさ)] を選び、**【◀】【▶】**ボタンで調整します。
色調整が終わったら、**【OK】**ボタンを押します。

リセット 調整を 0 に戻します。

調整が終わったら**【OK】**ボタンを押して確定し、**【MENU】**ボタンを押します。

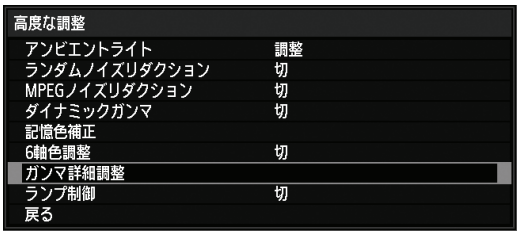
- 工場出荷時は **【切】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。

ガンマの詳細な調整を行う

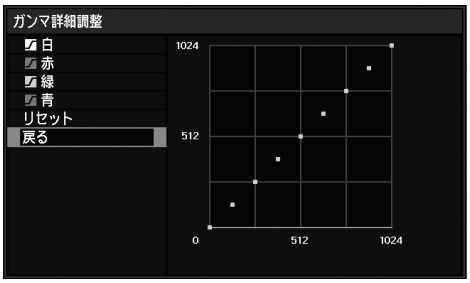
MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[ガンマ詳細調整]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

白、赤、緑、青の4つのガンマ曲線を調整できます。赤、緑、青は個別に調整できます。白を調整すると、他の 3 色に調整量が反映されます。
どちらで調整を行なっても、最後の調整値が上書きされます。



[ガンマ詳細調整] で**【OK】**ボタンを押すと、下の [ガンマ詳細調整] 画面が表示されます。



【▲】【▼】ボタンで色を選び、**【OK】**ボタンを押します。次に**【◀】【▶】**ボタンでガンマ曲線上の点を選び、**【▲】【▼】**ボタンで点の位置を調整します。調整が終わったら**【OK】**ボタンを押して確定し、**【MENU】**ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ガンマ補正については、72 ページを参照してください。
- 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。入力信号、または内蔵テストパターンで調整してください。

ランプ制御を設定する

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>**[ランプ制御]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

全黒映像を入力するとランプが自動的に減光します。

切	ランプ制御を行いません。
入	ランプ制御を行います。全黒映像を入力するとランプが減光します。入力信号を全黒画像から変更すると、通常の明るさになります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- 連続減光時間 (全黒映像入力時間) が 60 分を越えると、プロジェクターは自動的にスタンバイへ移行します。スタンバイへ移行する 10 分前から、カウントダウン表示を開始します。
- ブランク、無信号入力、ガンマリストア実行中での黒表示の場合は、ランプ輝度は低減しません。ランプ制御には全黒画像の入力信号が必要です。
- 以下を設定しているときはランプ制御ができません。
  - 2 画面表示
  - テストパターンの投写
  - 「ランプモード」を［エコ］
  - 直立投写（上向き、下向き）
  - 「ファンモード」を［高地］
- 電源を入れた後、20 分間はランプ制御を行いません。

ランプモードを設定する

MENU >[イメージ調整]>**[ランプモード]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

ランプの光量を落とすことで、消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにすることができます。

フルパワー	最大の明るさで投写します。
エコ	ランプの光量を落とし、消費電力量を減らします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【フルパワー】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

【フルパワー】モード設定のご注意

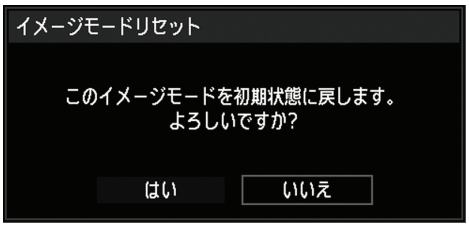
- 使用中に周辺の温度が約 35 ℃を超えた場合、自動的に［フルパワー］から［エコ］に切り替わります。周辺の温度が約 32 ℃以下に下がった場合、自動的に［エコ］から［フルパワー］に切り替わります。ただし、［エコ］に切り替わった場合でも、メニュー上は［フルパワー］と表示されます。
- 周辺の測定温度は、若干のバラツキがあります。

イメージ調整をリセットする

MENU >[イメージ調整]>**[リセット]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

現在のイメージ調整の設定をリセットし、購入時の状態に戻します。[イメージモード]でユーザー1 ～ 5 を選択しているときにリセットすると、[ユーザー1～5]に保存されている状態に戻ります。



はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。

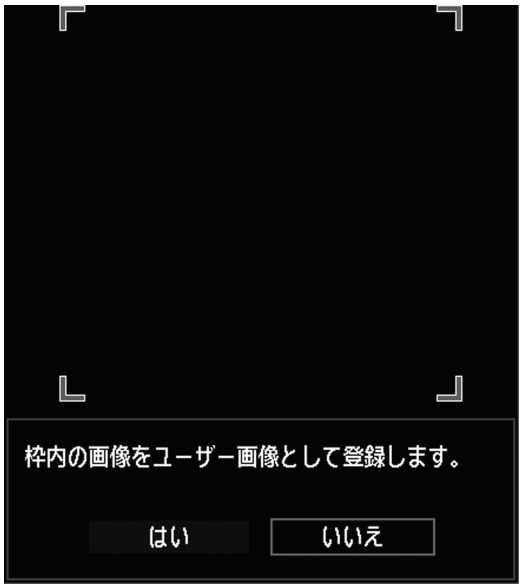
- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。

ユーザー画像を登録する

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[ユーザー画像登録]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

現在表示している画面をユーザー画像として登録します。登録したユーザー画像は、無信号時の画面、BLANK 時の画面、起動時の画面として使用することができます。



はい	登録する画像を画面に表示します。赤い枠に読み込む範囲を合わせ、【OK】ボタンを押します。枠の中の画像が登録されます。
いいえ	ユーザー画像の登録を中止します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- ユーザー画像として登録できるのは、スクリーンアスペクトが 16:10 の場合のみです。

ユーザー画像位置を設定する

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[ユーザー画像位置]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

登録したユーザー画像の表示位置を設定します。

左上	ユーザー画像の表示位置が指定した箇所になります。
右上	
中央	
左下	
右下	

- 工場出荷時は **【中央】** です。
- ユーザー画面を登録したときに設定することができます。

無信号時の画面

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>
[無信号時画面]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

入力信号がないときに、画面を黒、青、または登録したユーザー画面にします。

黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【青】** です。

BLANK 時の画面

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>
[BLANK 時画面]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

リモコンの【BLANK】ボタンを押して画像を一時的に消したときに、画面を黒、青、または登録したユーザー画面にします。

黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【黒】** です。

電源を入れたときの画面

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>
[起動時画面]

○ HDMI ○ コンポーネント ○ LAN
○ デジタル PC ○ アナログ PC ○ USB

電源を入れてから投写準備ができるまでの間の画面を選びます。

表示しない	電源を入れるとすぐに入力信号が投写されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキヤノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【Canon ロゴ】** です。

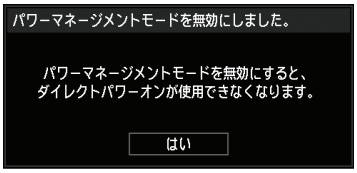
パワーマネージメントモードを設定する

MENU >[システム設定]>
[パワーマネージメントモード]

○ HDMI ○ コンポーネント ○ LAN
○ デジタル PC ○ アナログ PC ○ USB

映像入力信号がなくなり(無信号状態)、しかもリモコンや本体操作部の操作がない(無操作状態)場合、所定時間が経過した後に、ランプや電源をオフにできます。

無効	パワーマネージメントモードを使用しません。



ランプオフ	ランプのみを消灯します。
スタンバイ	電源を切り、スタンバイ状態にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【スタンバイ】** です。
- ランプオフから復帰するのは、映像信号（ランプオフ前と同じ入力信号）が復活した場合、またはリモコン／本体ボタンを操作した場合です。
- スタンバイから復帰するには、通常の電源を入れる操作が必要です。
- [無効] に設定した場合は、[ダイレクトパワーオン]（P83）は使用できません。

パワーマネージメント時間を設定する

MENU >[システム設定]>
[パワーマネージメント時間]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

[パワーマネージメントモード]で設定したランプオフやスタンバイの状態になるまでの時間を設定します。

5分～60分	入力信号がなくなって 30 秒が経過し、かつ操作がない状態が継続すると、選択した時間のカウントダウン表示を開始します。 入力信号がない状態でプロジェクターが操作されないままカウントダウンが終了すると、ランプオフまたは電源が切れてスタンバイとなります。(P82)

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【15 分】** です。
- ブランク中にカウントダウンを開始する条件になると、ブランクは解除されます。
- カウントダウンを開始すると、音声出力は停止します。

ダイレクトパワーオンを設定する

MENU >[システム設定]>**[ダイレクトパワーオン]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

【POWER】ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。

切	電源を入れるために POWER ボタンの操作が必要です。
入	電源コードの接続だけで電源が入ります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

- ダイレクトパワーオンを［入］にするときは、［パワーマネージメントモード］の設定を［無効］以外に設定してください。［無効］にするとダイレクトパワーオンは使用できません。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

電子音を設定する

MENU >[システム設定]>**[電子音]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

操作時の電子音の無効、有効を選べます。

切	電子音を鳴らしません。
入	電子音を鳴らします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。
- リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

キーリピートを設定する

MENU >[システム設定]>**[キーリピート]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

本体やリモコンのボタンを押したままにしたときに、連続して押した状態と同じ動作をさせること (キーリピート) ができます。

切	キーリピートを行いません。
入	キーリピートを行います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

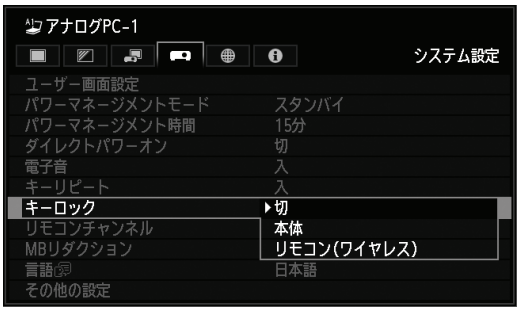
- 工場出荷時は **【入】** です。

キー操作をロックする

MENU >[システム設定]>**[キーロック]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

本体またはリモコンのいずれかでの本機の操作を禁止できます。



切	キーロックを使用しません。
本体	本体操作部が使用できなくなります。 リモコン側で操作してください。
リモコン (ワイヤレス)	赤外線でのリモコン操作ができなくなります (P20) 。 本体側で操作してください。 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルに接続して操作することはできます 。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

キーロックは、本体操作部を用いて [本体] 、リモコンを用いて [リモコン (ワイヤレス)] を選択することはできません

キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。

リモコンのチャンネルを設定する

MENU >[システム設定]>**[リモコンチャンネル]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

複数台 (最大４台) のプロジェクターを同時に使用するときに、使い分けのためリモコンのチャンネル設定を変更します。

本体側のチャンネルを選ぶ

Ch1 **Ch2** **Ch3** **Ch4**	このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選びます。
オール	全チャンネルのリモコンが使用できるようになります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は、プロジェクター、リモコンともに **【オール】** に設定されています。
- メニューでのチャンネル切り換え後に、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。
- 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブル接続して使用する場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

リモコン側のチャンネルは、次の操作で変更します。

Ch1	【OK】ボタンと【▲】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch2	【OK】ボタンと【▶】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch3	【OK】ボタンと【▼】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch4	【OK】ボタンと【◀】ボタンを同時に 3 秒間押します。
オール	【OK】ボタンと MENU ボタンを同時に 3 秒間押します。

MB リダクションを設定する

MENU >[システム設定]>**[MB リダクション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

MB (モーションブラー) とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MBリダクションにより、動画のブレを軽減することができます。

切	MB リダクションを実行しません。
入	MB リダクションを実行します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

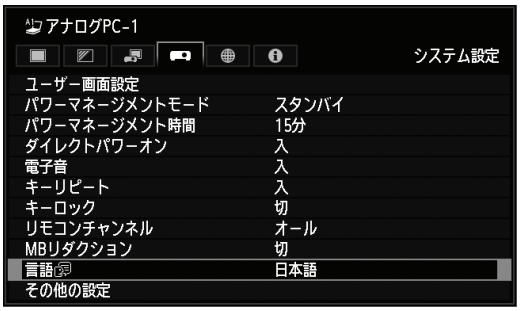
- 工場出荷時は **【切】** です。
- ［入］にしたときにノイズが気になる場合は、［切］に設定してください。
- メニューを表示しているときは、MB リダクションの効果を確認することはできません。
- CG 画像等の高精細な画像の動きに対し、特に効果があります。

表示言語を選択する

MENU >[システム設定]>**[言語]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

メニューに表示する言語を選べます。



【▲】【▼】【▶】【◀】ボタンで表示する言語を選び、【OK】ボタンを押します。

英語	English
ドイツ語	Deutsch
フランス語	Français
イタリア語	Italiano
スペイン語	Español
ポルトガル語	Português
スウェーデン語	Svenska
ロシア語	Русский
オランダ語	Nederlands
フィンランド語	Suomi
ノルウェー語	Norsk
トルコ語	Türkçe
ポーランド語	Polski
ハンガリー語	Magyar
チェコ語	Čeština
デンマーク語	Dansk
アラビア語	إنجليزي
中国語 (簡体)	中文简体
中国語 (繁体)	中文繁體
韓国語	한국어
日本語	日本語

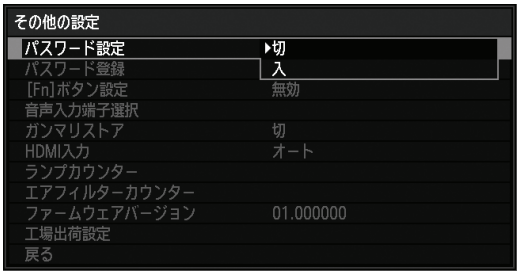
【MENU】ボタンを押します。

パスワード機能を設定する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>**[パスワード設定]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。



切	パスワードを入力しなくても投写できます。
入	パスワードを入力しないと投写できません。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **[切]** です。
- [パスワード登録] を行わないとパスワード設定を [入] にできません。

パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。
パスワードは４桁で入力します。
【▲】、【▶】、【▼】、【◀】ボタンの組み合わせで設定します。
パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを 3 回間違えると、電源が切れます。

- パスワードの入力画面のまま 3 分間放置した場合も電源が切れます。

パスワードを強制解除するには

• 本体側で解除する方法

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。

次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。(登録したパスワードもリセットされます)

• リモコン側で解除する方法

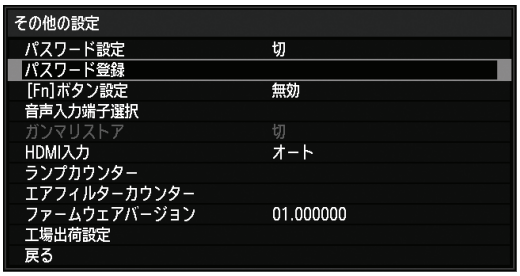
リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを３回押し、【POWER】ボタンを押してください。

パスワードを登録する

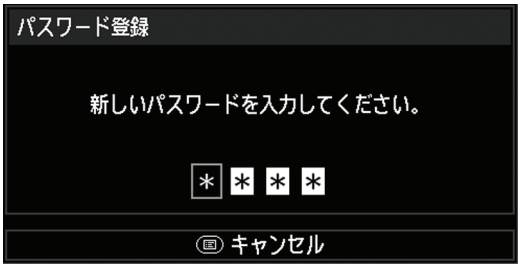
MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
【パスワード登録】

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写を始めるためのパスワードを登録します。



［パスワード登録］で【OK】ボタンを押すと下のパスワード登録画面が表示されます。



パスワードは４桁で入力します。
方向ボタン【▲】1、【▶】2、【▼】3、【◀】4 のボタンの組み合わせで設定します。
左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。

パスワードの登録を中止するときは【MENU】ボタンを押してください。

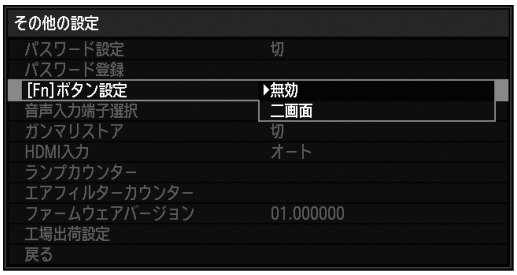
リモコンの【Fn】ボタンを使用する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[Fn ボタン設定]

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

リモコンの【Fn】ボタンに割り当てる機能を選択します。

本機に付属のリモコン RS-RC04 には【Fn】ボタンがありません。
この機能を使用する場合は、別売品の RS-RC05 をお求めください。



無効	リモコンの【Fn】ボタンに機能を設定しません。
二画面	リモコンの【Fn】ボタンに二画面表示の切り換え機能を設定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

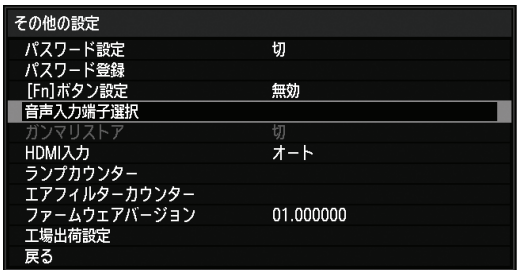
- 工場出荷時は **【無効】** です。

音声入力を選択する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[音声入力端子選択]

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

各入力信号ごとに、使用する音声入力端子を選択することができます。



切	音声出力を行いません。
オーディオ イン 1	AUDIO IN 端子 1 から入力される音声信号を出力します。
オーディオ イン 2	AUDIO IN 端子 2 から入力される音声信号を出力します。
HDMI	HDMI の音声信号を出力します。(HDMI の場合のみ)
LAN	LAN の音声信号を出力します。(LAN の場合のみ) NMPJ アプリケーションにより音声転送されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

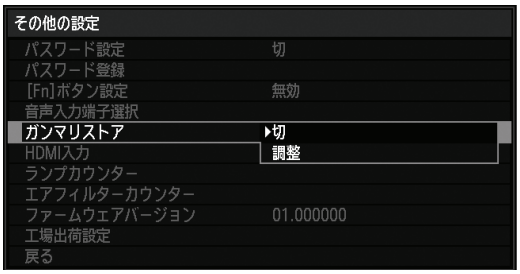
- 工場出荷時は以下のとおりです。
  [HDMI] HDMI
  [オーディオ イン 1]
  デジタル PC、アナログ PC-1、USB
  [オーディオ イン 2]
  アナログ PC-2、コンポーネント
  [LAN] LAN

ガンマリストアを実行する

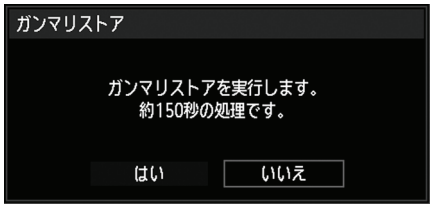
MENU >[システム設定]>[その他の設定]>**[ガンマリストア]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

長期使用によって、階調特性の変化や無彩色の色づきが気になった時に使用します。ガンマリストアはランプ点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。



切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。
調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。



はい	ガンマリストアを実行します。
いいえ	ガンマリストアを実行しません。

- ガンマリストアを実行すると、約 150 秒間、調整画面が投写されます。
- ガンマリストアを中断するには、【POWER】ボタンを押してください。

ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色づきを購入時の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。そのため色づきを完全には取り除けないことがあります。

HDMI 入力を設定する

MENU >[システム設定]>**[HDMI 入力]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

HDMI に接続する機器の種類を設定します。[HDMI 入力]の設定により、選べるイメージモードが一部変わります。(P45)

オート	AV 機器を接続する場合に選びます。画像処理やメニュー表示などがビデオ機器に合わせて調整されます。
PC	コンピューターを接続する場合に選びます。画像処理やメニュー表示などがコンピューターに合わせて調整されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【オート】** です。

ランプカウンターをリセットする

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>**[ランプカウンター]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

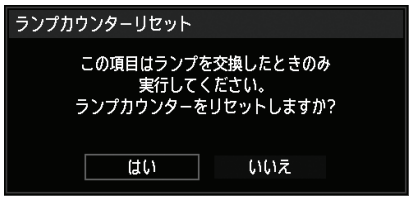
ランプの交換時期を知らせるカウンターをリセットします。

注意 **ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。ランプの交換時期を正しく知らせることができなくなります。**

ランプの交換方法については 172 ページを参照してください。

[ランプカウンター] で【OK】ボタンを押すと、ランプカウンターが表示されます。

[リセット]を選んで【OK】ボタンを押します。



確認画面で［はい］を選び、【OK】ボタンを押すとランプカウンターがリセットされます。【MENU】ボタンを押します。

■ ランプカウンターの表示について

ランプカウンターの表示は次の通りです。

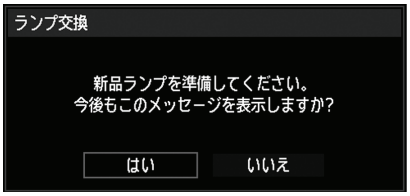
2,700時間未満

緑色のバーで表示します。

2,700時間以上3,000時間未満

緑色・黄色のバーで表示します。

2,700 時間以上 3,000 時間未満では、電源を入れたときに「新品ランプを準備してください」というメッセージ画面が表示されます。



3,000時間を超えたとき

緑色・黄色・赤色のバーで表示します。

電源を入れたときに「新品ランプに交換してください」というメッセージ画面が表示されます。

- ランプカウンターはランプの交換時期の目安を知らせる機能です。ここに表示している時間（H）は、使用時間と点灯中のランプの負荷状態から算出しています。
- ランプカウンターに表示される時間（H）は [直立投写]（P124）が [切] で、[ランプモード]（P78）が [フルパワー] のときのランプ使用時間として換算値を表示しています。

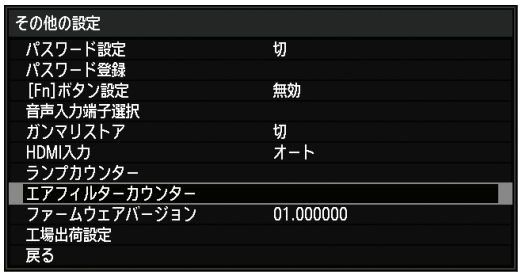
エアフィルターカウンターをリセットする

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[エアフィルターカウンター]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

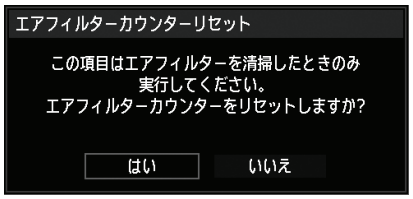
エアフィルターの掃除および交換時期を知らせるカウンターをリセットします。

⚠ フィルターの交換および掃除については 171 ページを参照してください。



[エアフィルターカウンター] で【OK】ボタンを押すと、エアフィルターカウンターが表示されます。

[リセット] を選んで【OK】ボタンを押します。



確認画面で [はい] を選び、【OK】ボタンを押すと、エアフィルターカウンターがリセットされます。
【MENU】ボタンを押します。

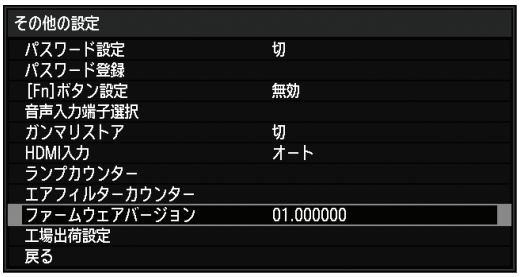
ファームウェアのバージョンを更新する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[ファームウェアバージョン]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

ファームウェア(本機の内蔵プログラム)を新しいバージョンに更新します。アップデートプログラムは弊社ウェブサイトからUSB メモリのルートディレクトリーに保存してください。

⚠ アップデートプログラムがダウンロードできない場合があります。詳しくはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。



[ファームウェアバージョン] で【OK】ボタンを押し、表示されるバージョンを確認してください。[はい] を押すと、バージョンアップの確認画面が表示されます。[はい] を押すと、バージョンアップが実行されます。

⚠ ここに記載されているバージョンは実際のものとは異なります。

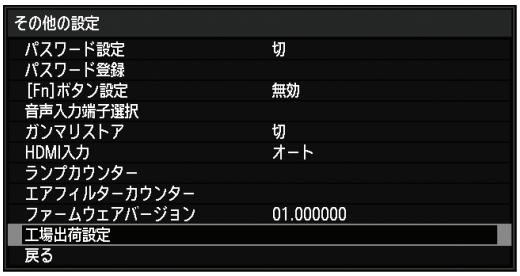
更新処理には数分かかります。ファームウェアの更新中は、赤いLEDが点滅します。LED 点滅中は電源を切らないでください。更新完了後は、自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

購入時の状態に戻す

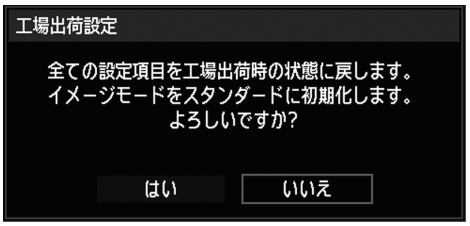
MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[工場出荷設定]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

メニューで設定した内容を購入時 (工場出荷時) の状態に戻します。



[工場出荷設定] で【OK】ボタンを押すと、下の確認画面が表示されます。



はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。

メニュー画面を消すには【MENU】ボタンを押します。

- 以下の内容は戻りません。
  - **[ランプカウンター]**
  - **[言語]**
  - **[リモコンチャンネル]**
  - **[入力信号設定]**
  - **[ネットワーク設定]**
  - **[エアフィルターカウンター]**
  - **[マイクロデジタルイメージシフト]**
  - **[レジストレーション]**
  - **[ファンモード]**
  - **[直立投写]**
  - **[ユーザーメモリ]**
- 工場出荷時の状態についてはP198～P202 を参照してください。
- ユーザーメモリの内容は、ユーザーメモリを保存したときの状態に戻ります。(P70)

情報を確認する (インフォメーション)

MENU >**[インフォメーション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。

表示される情報

項目	内容
モデル名	WUX6000
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。 「信号種別」「信号解像度」「周波数」 などの情報が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンです。
シリアルNo.	本機固有のシリアルナンバーです。
IPアドレス*	ネットワーク接続しているときのIPアドレスです。
メール送信元アドレス*	エラーメールの送信元メールアドレスです。(P158)
メール送信先アドレス*	エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、「未設定」または「設定済み」で表示します。(P158)
プロジェクター名*	ネットワーク上での本機の識別名です。
コメント*	本機の設置場所などのコメントが表示されます。(P161)
システム情報ID	システムの情報です。通常は表示されません。

*ネットワーク機能が［切］のとき、値は表示されません。
インフォメーション画面を消すには【MENU】ボタンを押します。

設置する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

操作編

投写する

プレゼンテーションで使える便利な機能

メニューによる機能設定

設置とメンテナンス編

設置する

ネットワークに接続して使用する

メンテナンス

付録

その他の情報

索引

持ち運び時／輸送時のご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。

注 意

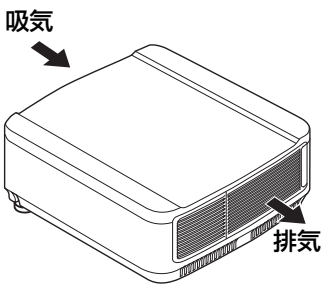
- **本機の接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となります。**
- **調整脚をおさめてください。**
- **レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。本機が破損する原因となります。**
- **ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。**
- **本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送して下さい。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。**
  なお、レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。

設置のときのご注意

8～15ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。

注 意

- **本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になります。**
- **本機を立てかけたり、立てて置かないでください。転倒により故障の原因となります。**
- **冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口、排気口をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。**



■こんな場所には設置しないでください

- **湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所**
  レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。
- **高圧電線や電力源の近く**
  正しく動作しないことがあります。
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上**
  内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。
- **高温、低温、高湿度になる場所**
  故障の原因になります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下のとおりです。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～ 40℃	85%まで	-30℃～60℃

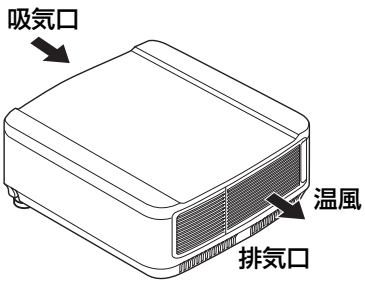
■レンズを素手で触らないでください

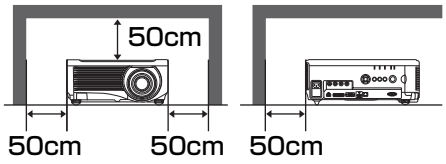
レンズを素手で触らないでください。画質が悪くなる原因になることがあります。

■壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください

注意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。(上方・側面50cm、後面50cm以上離して設置してください。)





■結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

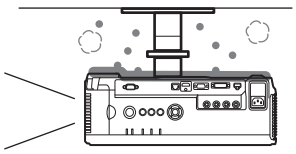
■海抜 2,300m 以上の高地で使用するときは設定を変更してください

海抜 2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設置設定メニューの［ファンモード］(P123) を参照してください。

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合

⚠注意

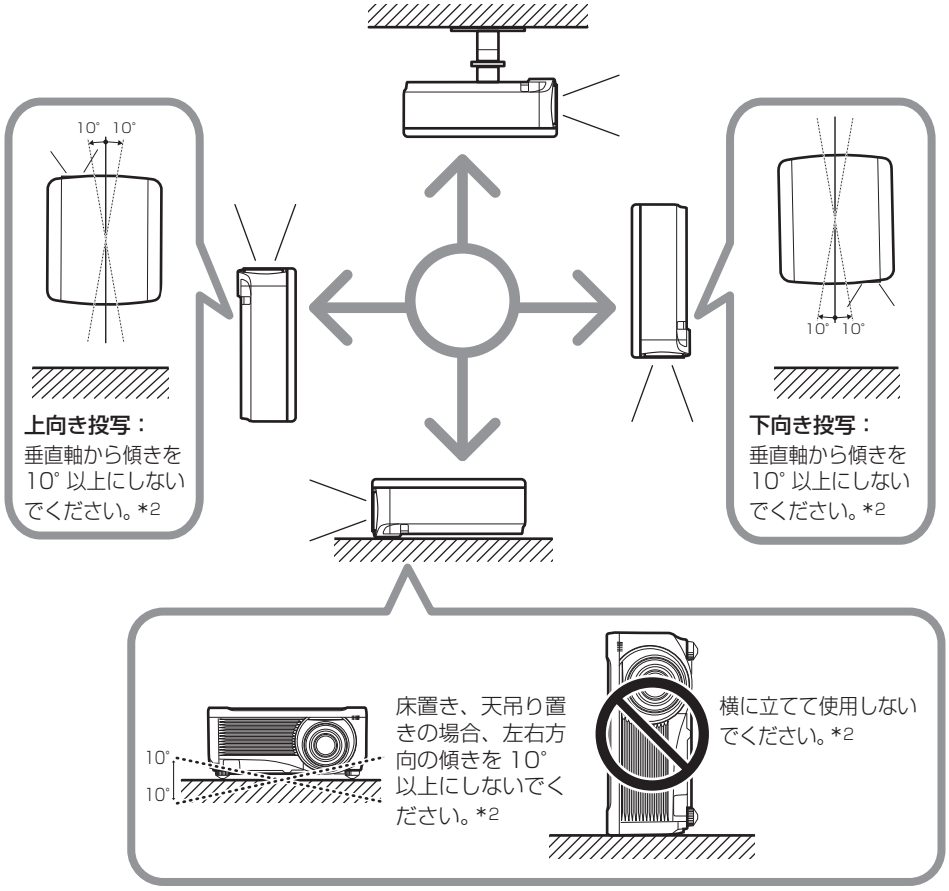
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで 取り除いてください。



■ 正しい方向に設置してください

注 意

- **本機は、下図に示す360˚ *1の方向に設置することができますが、上向き投写、または下向き投写で使用する場合、ランプの寿命が縮まる可能性があります。また、プロジェクターの［設置設定］を変更する必要があります。上向き投写、または下向き投写で使用する場合は、設置設定メニューの［直立投写］(P124) を参照してください。**
- **上向き投写、または下向き投写の設置はお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**



***1 本機は天吊り金具 (P100、P197) 以外の設置のためのオプションは用意されていません。**

***2 ランプ故障の原因となることがあります。**

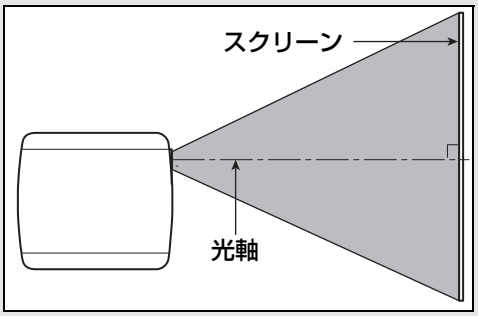
本機を上向き、下向きで投写する場合、メニューの［設置設定］>［プロフェッショナル設定］>［直立投写］でプロジェクターの投写方向を設定してください。(P124)

プロジェクターを設置する

■ スクリーンの正面に置く

本機をスクリーンの正面に置いてください。

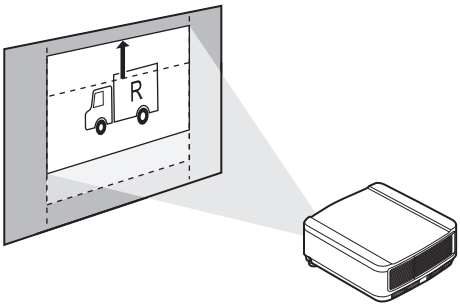
- 真っすぐに投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。



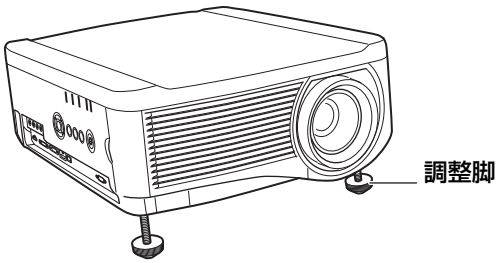
■ 床に置く

床置きのとき、スクリーンへの投写位置を調整するには、レンズシフト機能 (P34、P108) を使用して上下左右に調整することができます。また、調整脚を使って最大 6° まで上に向けることができます。

画面サイズと投写距離の関係については 106 ページを参照してください。



レンズシフト

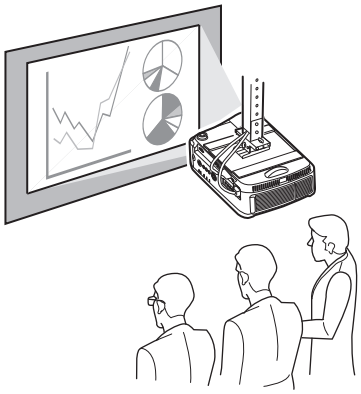


■ 傾けて置く

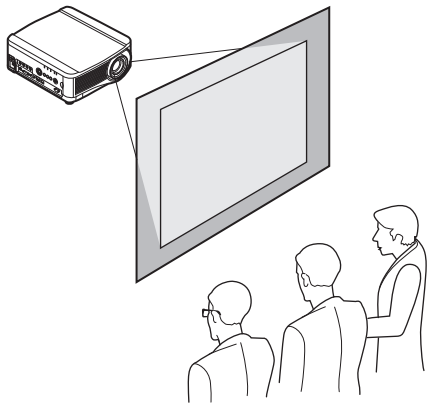
調整脚などを使い、傾けて設置すると投写画面が台形にひずみますが、キーストーン補正 (P121) や4点補正 (P121) の操作により補正できます。

■ 天吊り / リア投写について

本機は、天井から逆さに吊り下げ (天吊り) て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写 (リア投写) することもできます。



天吊り投写



リア投写

天吊りには、専用の天吊り金具を使用します。天吊り金具については、197ページの「別売品」を参照してください。詳しくは、天吊り金具に付属の組立・設置説明書を参照してください。

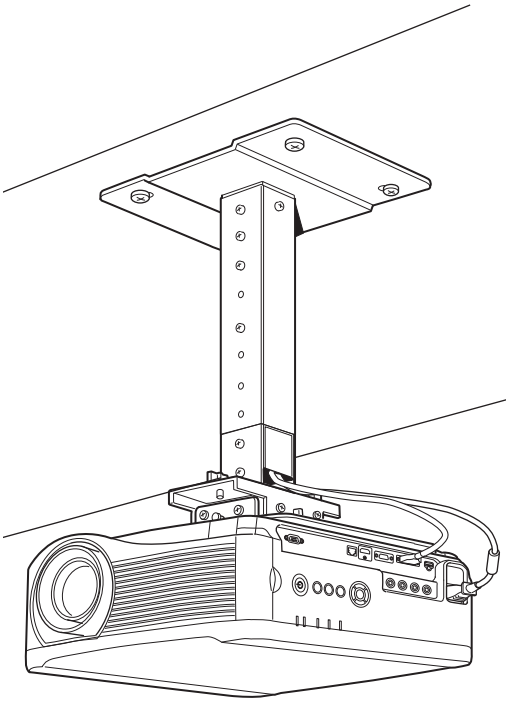
吊り下げ型の設置について

本機は天井から吊り下げてご利用いただくこともできます。
吊り下げには、オプションの天吊り金具（品番：RS-CL11）が必要です。更に、設置環境に合わせて、延長パイプ（品番：RS-CL08、または RS-CL09）が必要になる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

注意

- **必ず専用の天吊り金具を使用してください。**
- **お客様による天吊り金具の設置は絶対におやめください。**

本機を吊り下げてご使用になる際は、メニューの［反転表示］で映像を反転する必要があります。（P119）



レンズユニットの取り付け・取り外し

■ レンズユニットを取り付ける

⚠警告 **レンズユニットの取り付け・取り外しを行う場合必ず、電源プラグまたはコネクターを抜いてください。火災や感電・けがの原因になります。**

- **レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、1時間以上経過し、本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

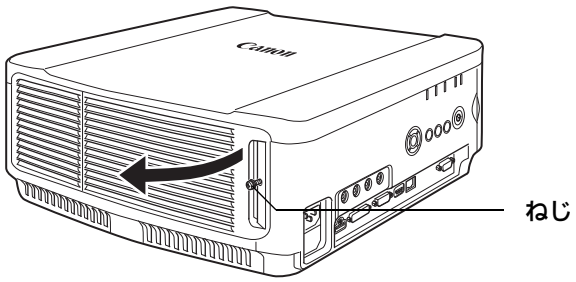
⚠注意

- **取り付け後、本機の投写の調整でレンズが動いているとき（レンズシフト動作中）は、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。**
- **本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品等が落下し、けがや故障の原因になることがあります。**

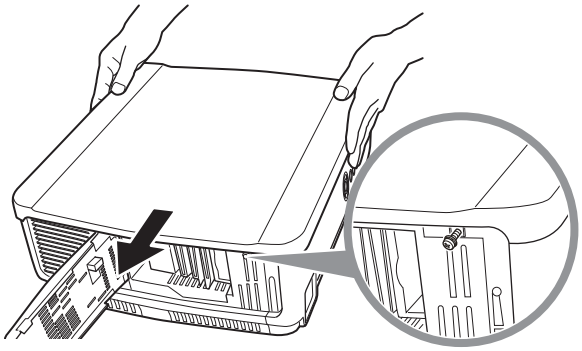
注意

- **レンズユニットの取り付け,取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**
- **レンズユニットの取り付け、取り外しのとき、レンズ表面を手でさわったり傷をつけたりしないようご注意ください。**
- **レンズユニットおよびレンズモーターに配線されたリード線などの部品に無理な力を加えないでください。故障の原因となることがあります。**
- **ほこりの多い場所でのレンズユニット交換は避けてください。本機内にゴミやほこりが入ると画質を損なう原因になります。**
- **適合するプロジェクターの詳細については、販売店にご相談ください。**

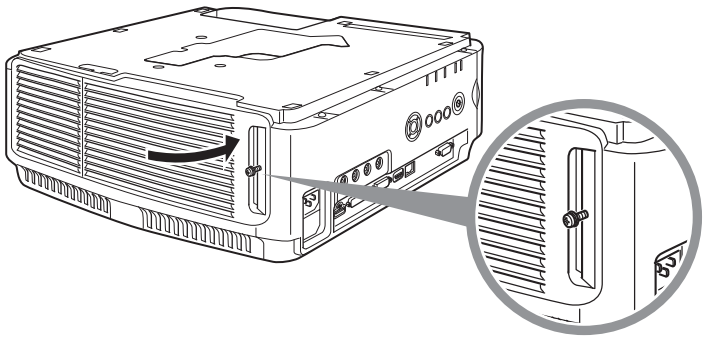
1 プラスドライバーでランプカバーのねじをゆるめ、ランプカバーを開きます。
ランプカバーのねじはランプカバーに取りついて、外れないようになっています。



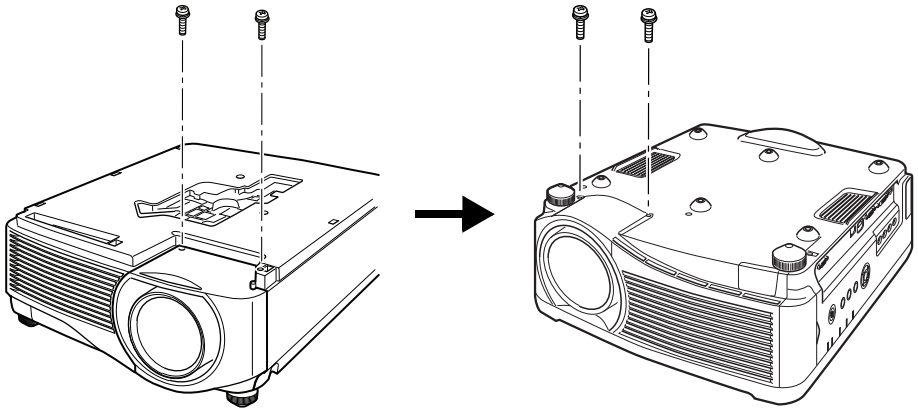
2 **化粧板のねじをゆるめ、化粧板を背面方向にスライドさせて取り外します。**
化粧板のねじは化粧板に取りついて、外れないようになっています。



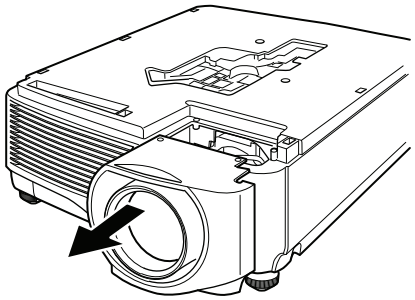
3 **破損を防ぐためランプカバーを閉じ、ねじを仮止めします。**



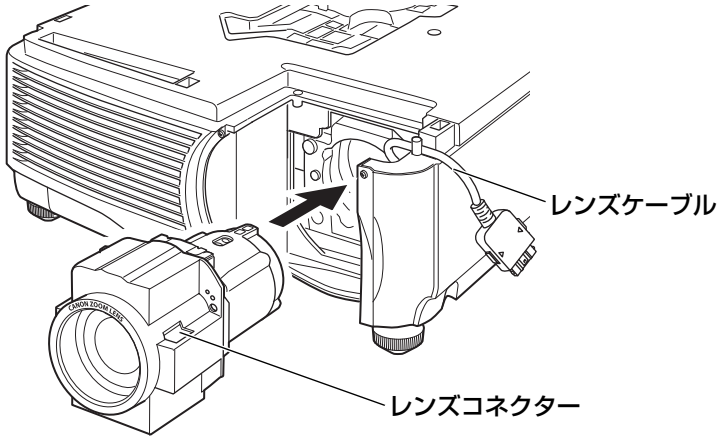
4 **スリーブのねじ（上面２本、底面２本）を取り外します。**
上面２か所のねじを外したら、平らな机の上などで本機を裏返しにし、底面２か所のねじを外します。



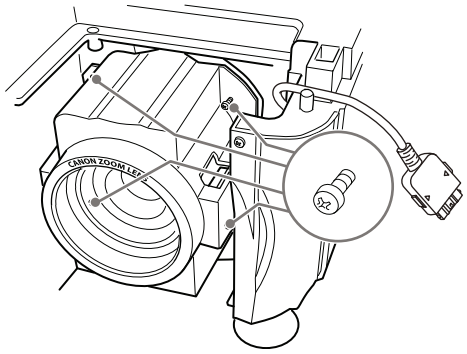
5 再び裏返して、スリーブを取り外します。



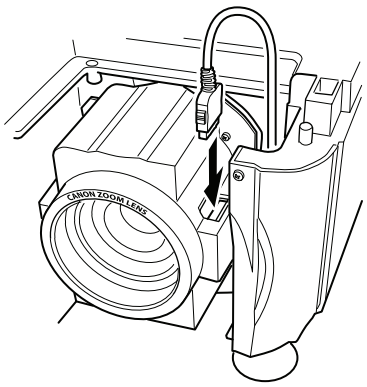
6 下の図のようにレンズユニットのレンズコネクターを前面から見て右側の位置で、前面から静かに挿入し、突き当たるまでゆっくり押し込みます。このとき、レンズケーブルを図のように取り出し、固定してください。



7 ねじ４本をしめ、レンズユニットを固定します。
レンズユニットのねじ４本はレンズユニットに取りついて、外れないようになっています。



8 本機のレンズケーブルをレンズコネクターに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

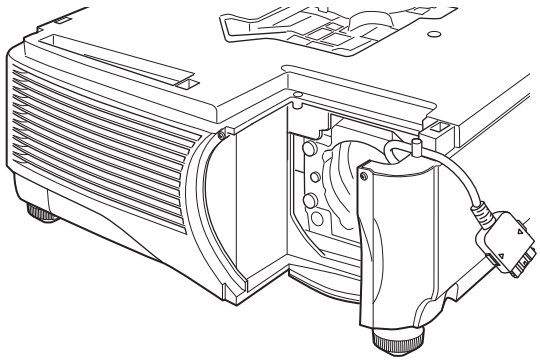


9 スリーブ、化粧板、ランプカバーを元に戻します。

⚠ レンズユニットの取り付け、または交換後、本機の電源を最初に入れたときにレンズシフトの初期化動作が行われます。初期化動作が起動するまでに 1 分程度かかります。ただし同じ型番のレンズユニットを交換した場合は初期化動作は行ないません。交換前の位置と同じになります。

⚠注意 **レンズシフトの初期化動作はモーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因となることがあります。**

注 意 **レンズユニットの取り付け・取り外しを行うときは、レンズケーブルを図のように固定してください。レンズユニットを押し込むときに、本体とはさみ込みレンズケーブルを破損する場合があります。**

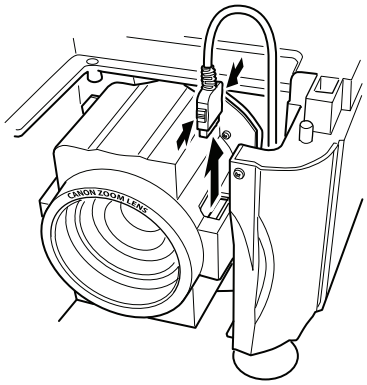


■ レンズユニットを取り外す

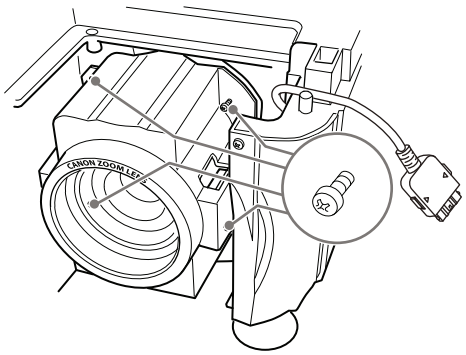
1 「レンズユニットを取り付ける」の手順１～５（P101～P103）を行い、スリーブを取り外します。

2 レンズケーブルをレンズコネクターから抜きます。

⚠ レンズケーブルを抜く（外す）ときは、レンズケーブルのコネクター部の両側にあるボタンを押しながら引き抜いてください。

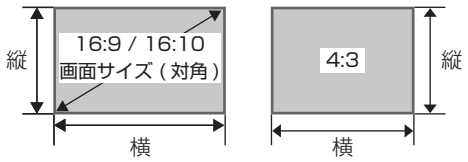


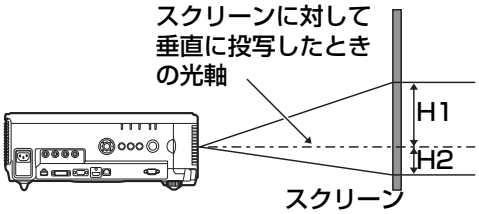
3 レンズケーブルを図のように固定し、ねじを４本ゆるめ、レンズユニットを取り外します。
レンズユニットのねじ４本はレンズユニットに取りついて、外れないようになっています。



画面サイズと投写距離の関係

投写画面のサイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）とズームで決まります。
次の表を参考に、本機のスクリーンからの距離を決めてください。





- H1、H2 は、レンズシフトがデフォルト値（下記）の場合の距離です。
- 標準ズームレンズ、長焦点ズームレンズ、超長焦点ズームレンズ、短焦点ズームレンズ：
  上下 +50%、左右 0%
  固定短焦点レンズ：上下左右 0%

WUX6000

レンズユニット	16：10時対角[型]	画面サイズ [cm]						投写距離 [m]		スクリーンに対して垂直に投写したときの光軸からの距離 [cm]	
		16：10		16：9		4：3		16：10			
		横	縦	横	縦	横	縦	ワイド端	テレ端	H1	H2
標準ズームレンズ RS-IL01ST	40	86	54	86	48	72	54	1.3	1.9	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	1.9	2.9	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	2.6	3.9	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	3.2	4.8	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	4.8	7.2	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	6.4	9.6	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	8.0	12.1	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	9.6	14.5	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	11.3	16.9	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	12.9	19.3	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	14.5	21.7	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	16.1	24.1	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	17.7	26.6	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	19.3	29.0	808	0
長焦点ズームレンズ RS-IL02LZ	40	86	54	86	48	72	54	1.9	3.2	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	2.8	4.8	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	3.8	6.4	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	4.7	8.0	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	7.1	12.1	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	9.5	16.1	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	11.9	20.2	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	14.2	24.2	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	16.6	28.3	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	19.0	32.3	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	20.9	35.6	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	23.8	40.4	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	26.1	44.5	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	28.5	48.5	808	0

レンズユニット	16：10時対角[型]	画面サイズ［cm］						投写距離 [m]		スクリーンに対して垂直に投写したときの光軸からの距離[cm]	
		16：10		16：9		4：3		16：10			
		横	縦	横	縦	横	縦	ワイド端	テレ端	H1	H2
固定短焦点レンズ RS-IL03WF	40	86	54	86	48	72	54	0.7		27	27
	60	129	81	129	73	108	81	1.0		41	41
	80	172	108	172	97	144	108	1.4		54	54
	100	215	135	215	121	179	135	1.7		68	68
	150	323	202	323	182	269	202	2.6		101	101
	200	431	269	431	242	359	269	3.4		135	135
	250	538	337	538	303	449	337	4.3		168	168
	300	646	404	646	363	538	404	5.2		202	202
超長焦点ズームレンズ RS-IL04UL	60	129	81	129	73	108	81	4.6	9.0	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	6.1	12.0	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	7.6	14.9	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	11.4	22.3	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	15.2	29.8	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	18.9	37.2	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	22.7	44.6	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	26.4	52.0	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	30.2	59.4	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	34.0	66.8	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	37.7	74.2	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	41.5	81.6	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	45.2	89.0	808	0
短焦点ズームレンズ RS-IL05WZ	40	86	54	89	50	81	61	0.9	1.3	54	0
	60	129	81	133	75	122	91	1.3	1.9	81	0
	80	172	108	177	100	163	122	1.7	2.6	108	0
	100	215	135	221	125	203	152	2.2	3.2	135	0
	150	323	202	332	187	305	229	3.2	4.9	202	0
	200	431	269	443	249	406	305	4.3	6.5	269	0
	250	538	337	553	311	508	381	5.4	8.1	337	0
	300	646	404	664	374	610	457	6.5	9.7	404	0
	350	754	471	775	436	711	533	7.5	11.4	471	0
	400	862	538	886	498	813	610	8.6	13.0	538	0
	450	969	606	996	560	914	686	9.7	14.6	606	0
	500	1077	673	1107	623	1016	762	10.8	16.3	673	0
	550	1185	740	1218	685	1118	838	11.8	17.9	740	0
	600	1292	808	1328	747	1219	914	12.9	19.5	808	0

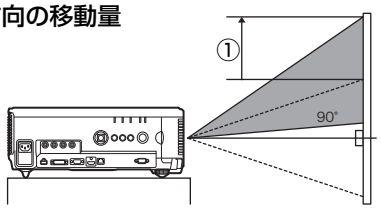
レンズシフト機能について

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、「画面の位置を調整する」（P34）を参照してください。

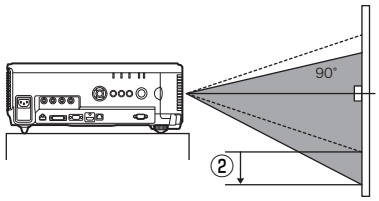
レンズシフト量は、画面高さ・幅に対する移動量をパーセンテージで表します。
各レンズにおけるレンズシフト量は、次の通りです。

レンズユニット	WUX6000
標準ズームレンズ（RS-IL01ST）	上（①）：＋55% 下（②）：－15% 左右（③）：±10%
長焦点ズームレンズ（RS-IL02LZ）	
超長焦点ズームレンズ（RS-IL04UL）	
短焦点ズームレンズ（RS-IL05WZ）	
固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）	上（①）：＋5% 下（②）：－5% 左右（③）：±2%

上下方向の移動量

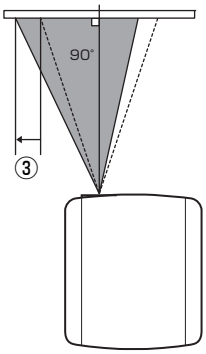


上側へ最大レンズシフトさせたとき

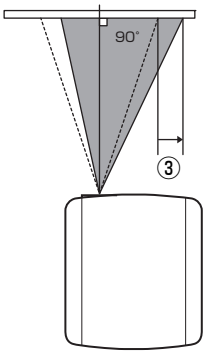


下側へ最大レンズシフトさせたとき

左右方向の移動量



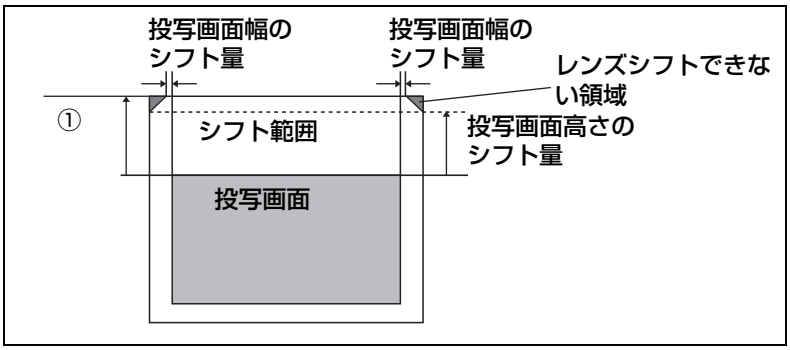
左側へ最大レンズシフトさせたとき



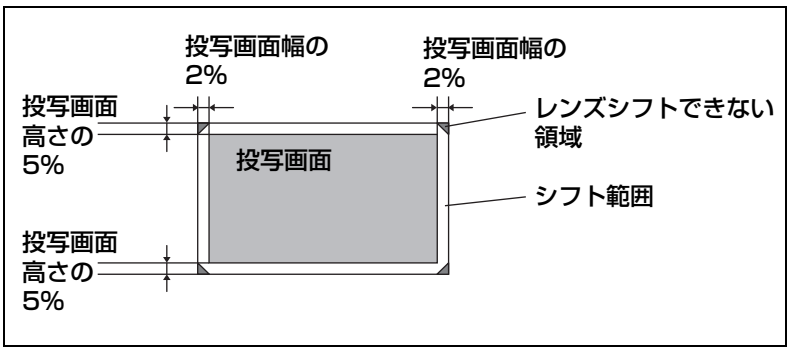
右側へ最大レンズシフトさせたとき

レンズシフトできない領域について

標準ズームレンズ、長焦点ズームレンズ、超長焦点ズームレンズ、短焦点ズームレンズの場合、上方向のシフト量が44%を超えると、左右方向にシフトできるシフト量が少なくなります。上方向に最大までシフトした状態（①）では、左右方向へのシフト量は± 2%となります。



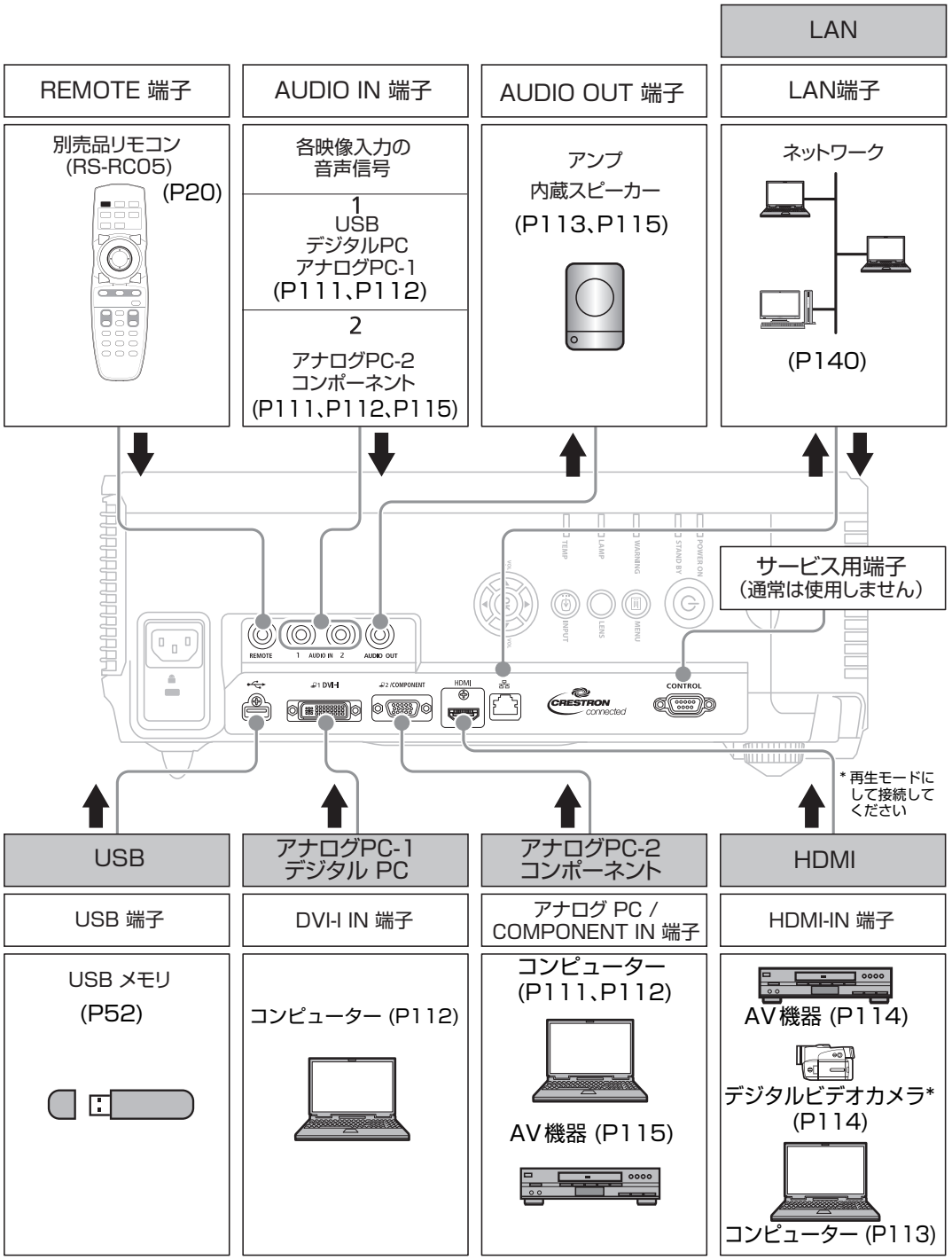
固定短焦点レンズの場合、上下方向にシフトするほど、左右方向へのシフト量は少なくなります。上方向または下方向に最大にシフトした状態では、左右方向へのシフトはできません。



接続できる機器と接続端子

HDMI	この名称で映像を選びます。
HDMI-IN 端子	機器を接続する端子の名称です。

↓ 信号やデータが流れる方向です。
(Pxxx) 解説ページです。



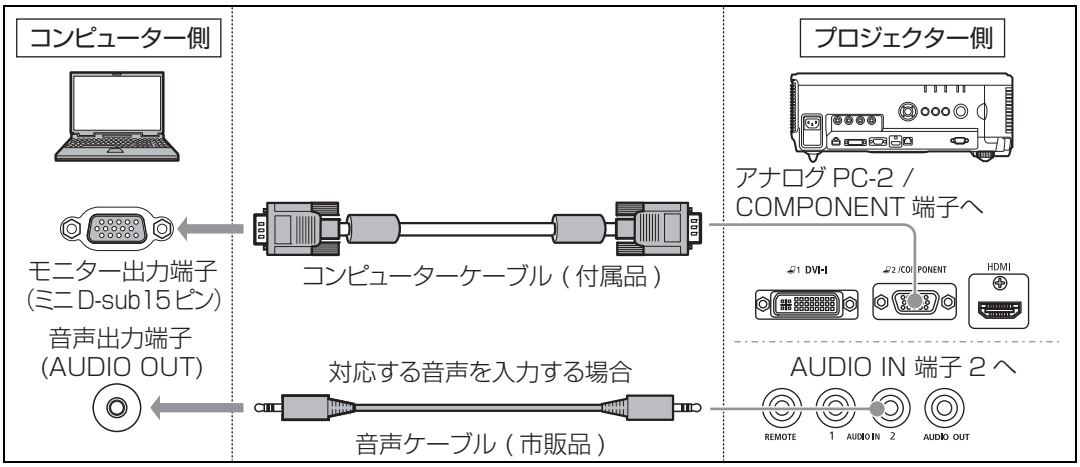
コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。
高画質で投写するときは、デジタル接続 (P112) をおすすめします。
HDMI 出力端子付きのコンピューターの場合は、HDMI ケーブルを使ったデジタル接続 (P113) も可能です。

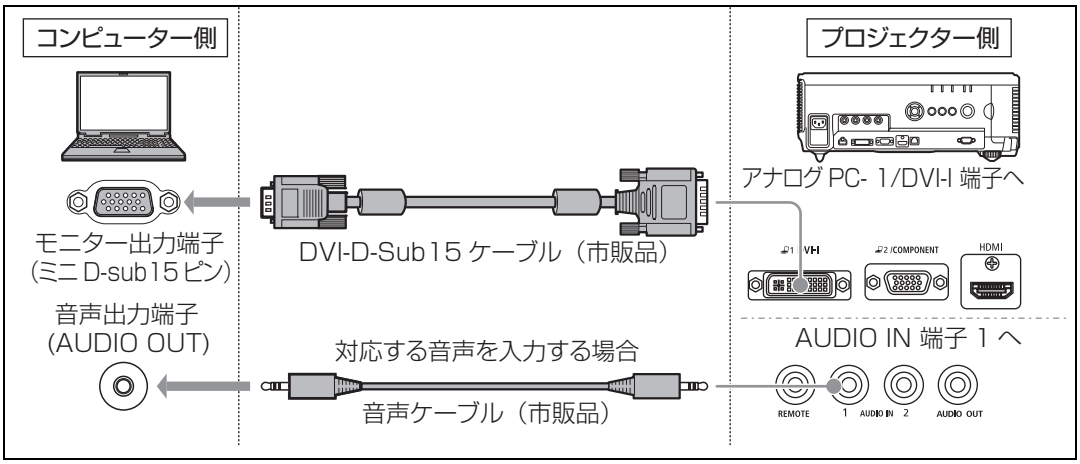
注 意 **プロジェクターとコンピューターの両方の電源を切ってから接続してください。**

■ RGB モニター出力端子と接続 (アナログ接続)

コンピューターケーブル接続 (入力信号の種類 [アナログ PC-2] P29)

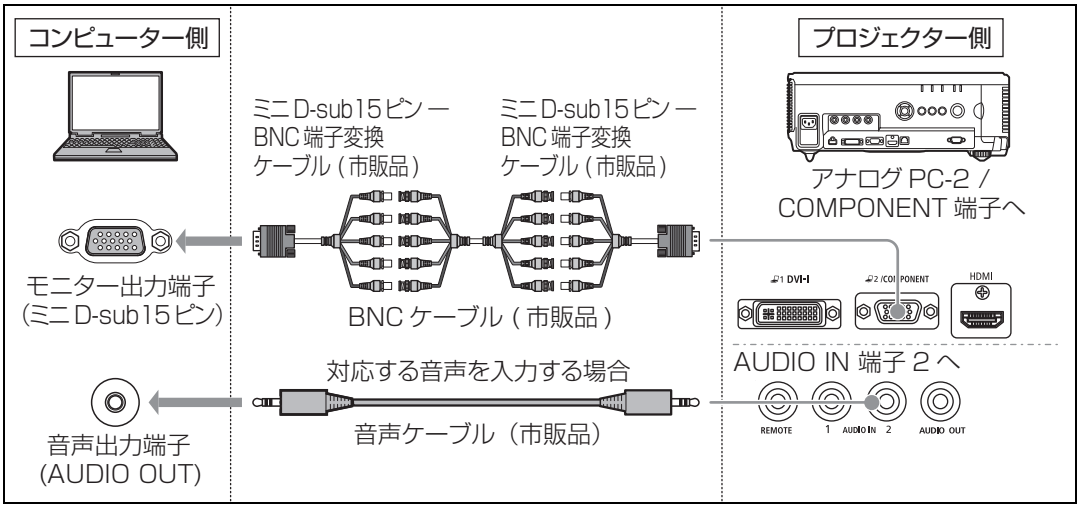


DVI-D-sub15 ケーブルで接続 (入力信号の種類 [アナログ PC-1] P29)



- 全てのピンが結線された (全結線) DVI-D-sub15 ケーブルを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P89) で切り換えることができます。

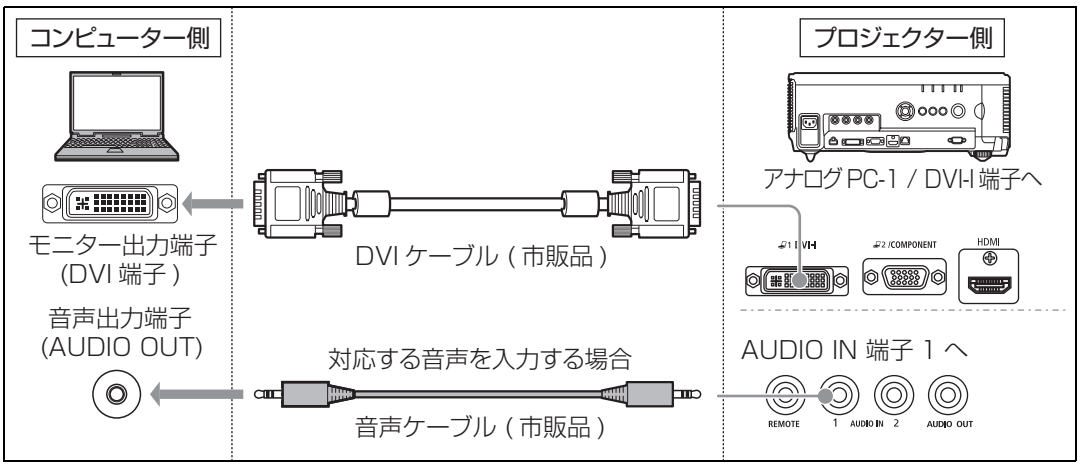
BNC ケーブルで接続（入力信号の種類 ［アナログ PC-2］P29）



- ドットクロックが 162MHz を越える信号は投写できません。
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P89) で切り換えることができます。

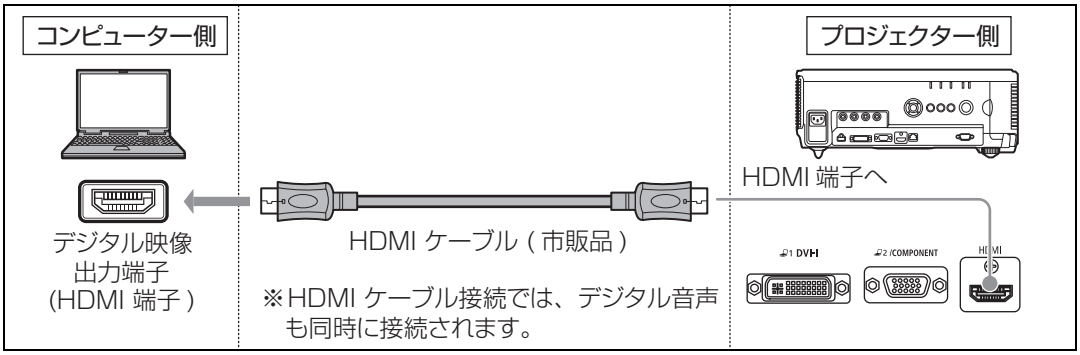
■ DVI モニター出力端子と接続 (デジタル接続)

DVI ケーブルで接続（入力信号の種類 ［デジタル PC］P29）



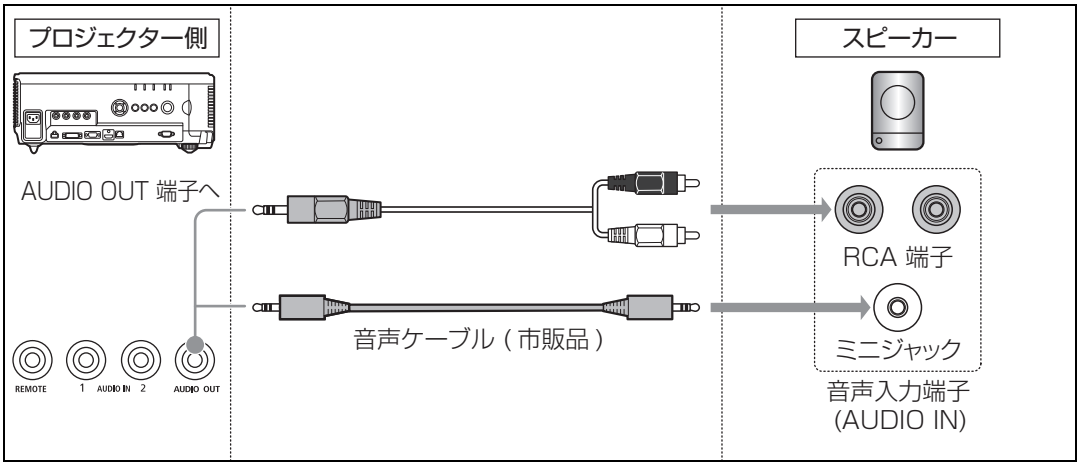
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P89) で切り換えることができます。

■ HDMI ケーブルで接続 (入力信号の種類 [HDMI] P29)



■ 音声を外部に出力する

投写中の映像の音声をアンプ内蔵スピーカーに出力できます。



- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

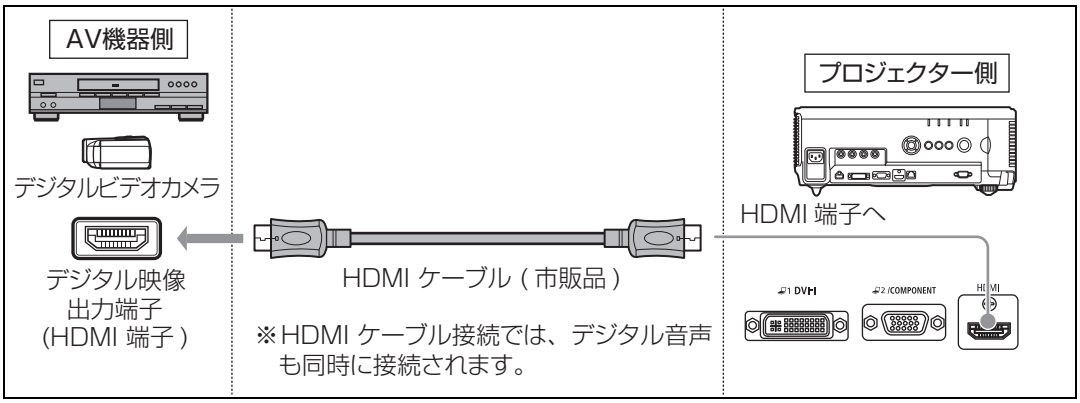
AV 機器を接続する

プロジェクターと、各種AV機器を接続します。
ここで説明する接続方法は一例です。詳しくは各 AV 機器の取扱説明書を参照してください。

注 意 **プロジェクターとAV機器の両方の電源を切ってから接続してください。**

■ デジタル映像出力端子と接続 （ デジタル接続 ）

HDMIケーブルで接続（入力信号の種類［HDMI］P29）

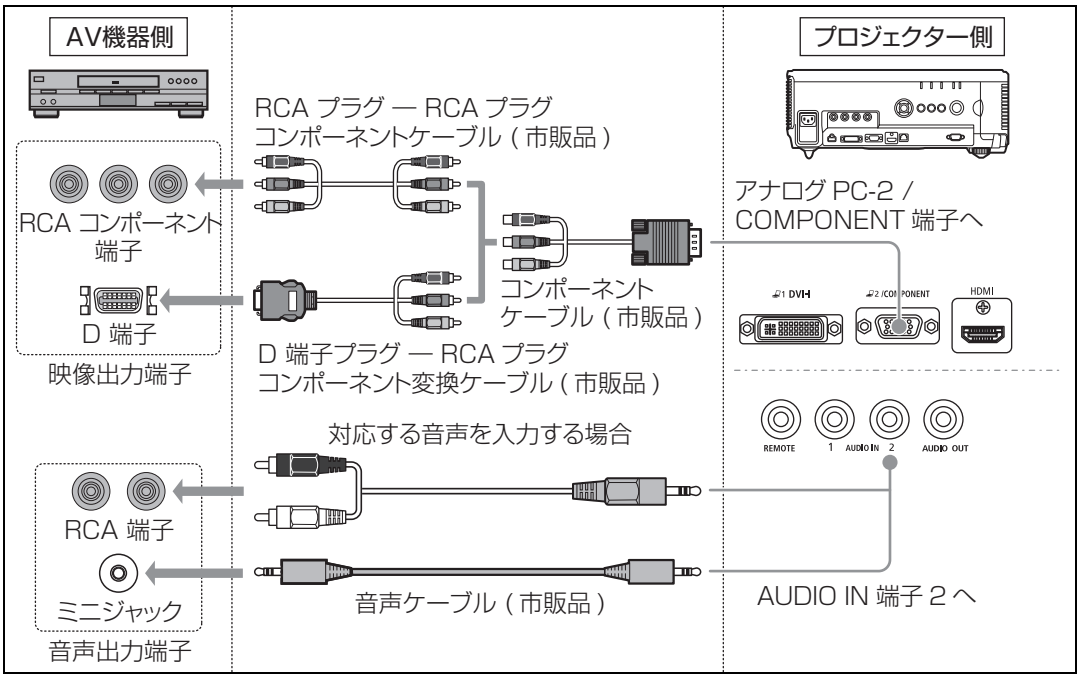


■ アナログ映像出力端子と接続 (アナログ接続)

コンポーネントケーブルで接続（入力信号の種類［コンポーネント］P29)

コンポーネントケーブルをプロジェクターの「COMPONENT 端子」に接続することで、AV 機器のコンポーネント映像信号を入力することができます。

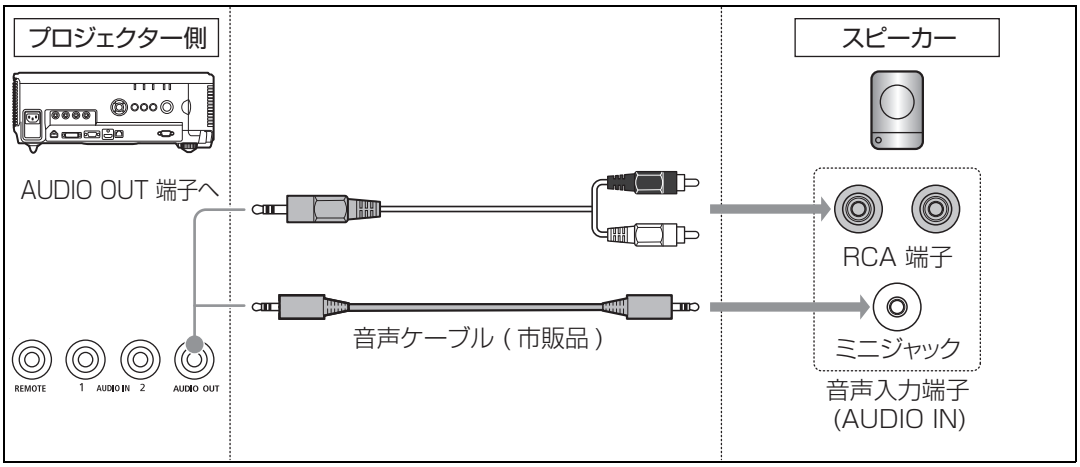
AV 機器側の端子形状に合ったコンポーネントケーブル (市販品) で中継接続してください。



- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P89) で切り換えることができます。

■ 音声を外部に出力する

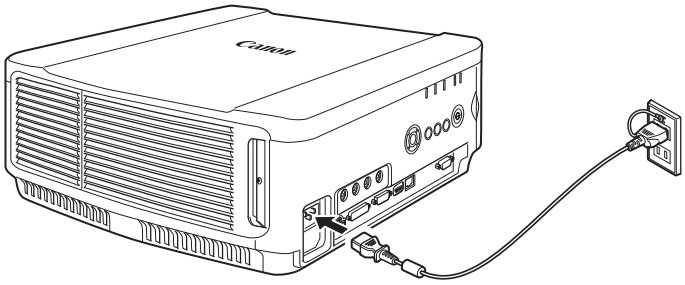
投写中の映像の音声をAV機器やアンプ内蔵スピーカーに出力できます。



音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

電源コードを接続する

プロジェクターに電源コードを接続します。



警告 **電源プラグのアース端子を接続してください。アース端子を接続しないと、感電の原因となります。また、コンピューターの電波障害やテレビ・ラジオの受信障害となることがあります。**

- コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

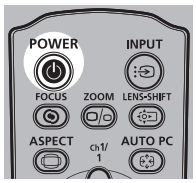
長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。

電源を入れる／切る

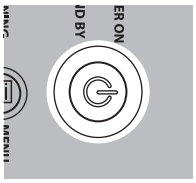
■ 電源を入れる

リモコンまたは本体の【POWER】ボタンを押します。
［POWER ON］インジケーター（緑）が点滅し、点灯に変わります。

リモコン



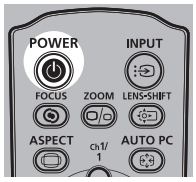
本体



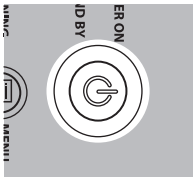
■ 電源を切る

リモコンまたは本体の【POWER】ボタンを２回押します。

リモコン



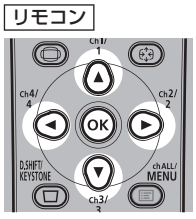
本体



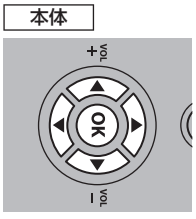
■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。
なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P87)
ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、ピントを調整してください。(P33)

リモコン



本体



オレンジの項目が選ばれます

■ パスワード入力画面が表示されたとき

パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P87)

■「入力信号がありません」と表示されたとき

ノート型コンピューターの場合は、出力切り換えが必要です。(P118)
【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。(P30)

■ ノート型コンピューターの画面が表示できないとき

ノート型コンピューターの画面を、外部モニターに出力できるよう切り換えます。詳しくは、次の「ノート型コンピューターの画面出力を切り換える」を参照してください。

■ 画面を調整するとき

- コンピューター側の表示解像度を最大解像度、または最も近い解像度に設定してください。(P31)
- コンピューターの映像の表示のずれや画面のちらつきは、オートPC で調整してください。(P32)
- 投写画面のサイズは、標準ズームレンズ、長焦点ズームレンズ、超長焦点ズームレンズ、短焦点ズームレンズの場合は光学的なズーム (P33) 、固定短焦点レンズの場合は電子的なズーム (P121) で調整できます。
- 台形ひずみの補正が不十分なときは【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンで調整してください。(P42)
- スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、スクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。(P36～P41)
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード (画質) を選んでください。(P45)

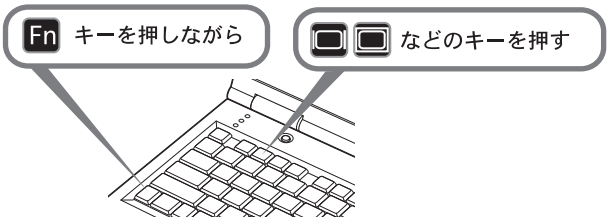
テストパターン（P130）を投写して画面の調整もできます。

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える

ノート型コンピューターを使用する場合は、コンピューター側で画面出力の切り換えが必要です。
デスクトップ型コンピューターではこの操作は不要です。

■ 外部モニター切り換え操作

ノート型コンピューターの画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。
一般的には、［Fn］キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー（［F1］～［F12］）を押すと、外部モニターへ切り換わります。



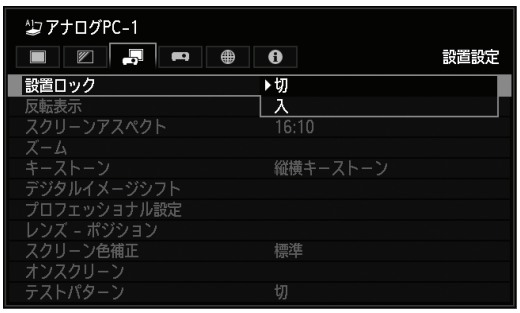
- 機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながら［P］キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。

設置ロック機能を設定する

MENU >[設置設定]>**[設置ロック]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

設置に関連する機能の操作を禁止することができます。



切	設置ロックを使用しません。
入	設置関連の機能の設定変更ができなくなります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時設定は **【切】** です。
- 設置ロックの対象は以下の設定です。
  - 反転表示
  - スクリーンアスペクト
  - ズーム
  - キーストーン
  - デジタルイメージシフト
  - プロフェッショナル設定
  - レンズ - ポジションのポジションセーブとレンズシフトリセット

反転表示を設定する

MENU >[設置設定]>**[反転表示]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

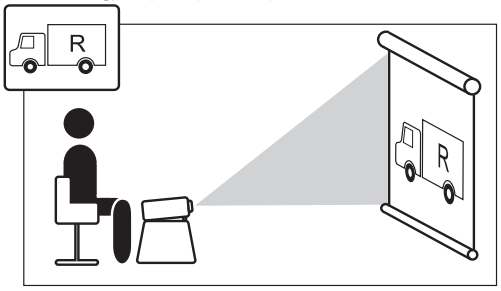
天井から吊り下げて投写するときや、スクリーンの反対側から投写するときに選びます。

なし	通常の投写です。
天吊り	天井から逆さに吊り下げるときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア･天吊り	天井から逆さに吊り下げてリア投写するときに選びます。 上下が反転します。

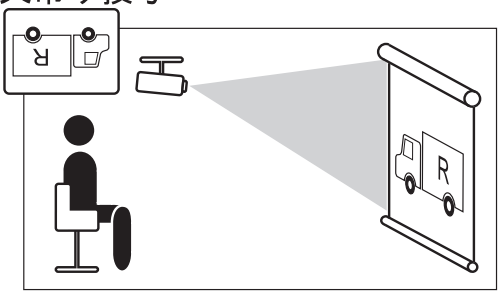
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【なし】** です。

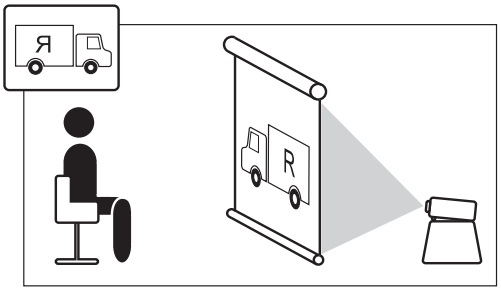
通常の投写（なし）



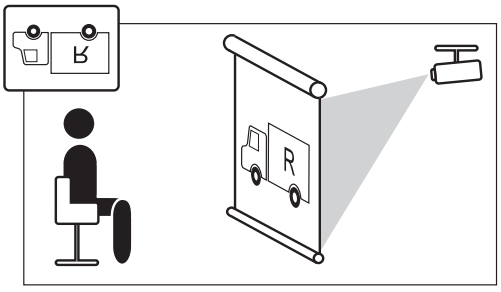
天吊り投写



リア投写



リア天吊り投写



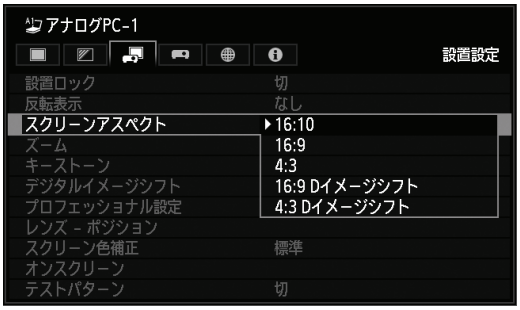
- 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を使用します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 映像の反転操作を行うと、台形ひずみの補正はリセットされるため、改めて補正するようにしてください。

スクリーンアスペクトを設定する

MENU >[設置設定]>[スクリーンアスペクト]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写するスクリーンの縦横比に応じて選びます。(P36)



16：10	スクリーンの縦横比が 16:10 のときに選びます。
16：9	スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。
4：3	スクリーンの縦横比が 4：3 のときに選びます。
16：9 Dイメージシフト	スクリーンの縦横比が 16：9 のときに選びます。 このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。映像の移動方法は 38 ページを参照してください。
4：3 Dイメージシフト	スクリーンの縦横比が 4：3 のときに選びます。 このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。映像の移動方法は 39 ページを参照してください。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

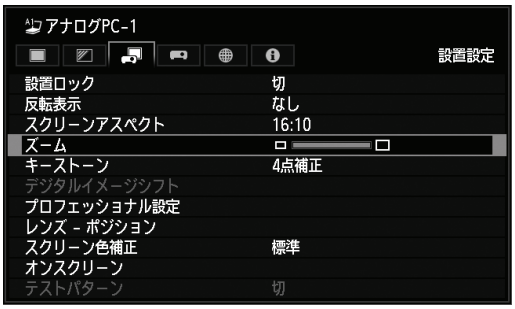
- 工場出荷時は、**【16：10】**です。
- スクリーンアスペクトを変更すると、キーストーン補正とデジタルイメージシフトはリセットされます。
- スクリーンアスペクトの種類によっては、アスペクトが自動的に［オート］に切り換わることがあります。

投写サイズを調整する

MENU >[設置設定]>【ズーム】

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

固定短焦点レンズを装着した場合、投写画面がスクリーンに入りきらない時に、映像を電子的に小さく表示することができます。



リモコンの【◀】ボタンを押すと映像が縮小して投写され、【▶】ボタンを押すと拡大して投写します。100%～ 75%の間で投写することができます。

- 工場出荷時は、**100%**での投写です。キーストーン（P121）を「4点補正」に切り替えてください。

リモコンの D.ZOOM ボタンでは［ズーム］は使用できません。

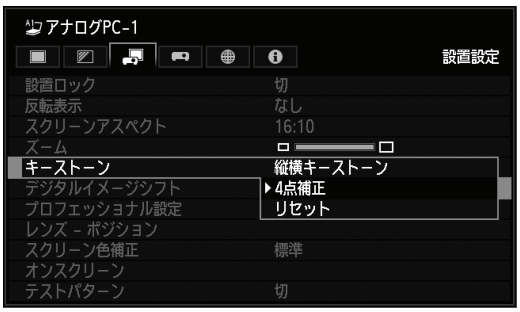
- 以下の操作をしているときは、［ズーム］が使えません。
  - 縦横キーストーン補正時（P42）
  - 2画面表示時（P54）
- 4 点補正 (P43) 後に［ズーム］を使うと 4 点補正値が解除され、［ズーム］の設定値になります。［ズーム］で設定した後に、4点補正で微調整してください。
- ［ズーム］で投写画面がスクリーンに入りきらない時は、4点補正 (P43) を行うと画角の微調整ができ、スクリーン内への投写ができます。
- レンズを固定短焦点レンズ以外に交換すると、設定はリセットされ、100%に戻ります。

キーストーンを設定する

MENU >[設置設定]>【キーストーン】

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

キーストーン補正として、縦横キーストーンと 4 点補正のどちらを使用するかを設定します。また、キーストーン補正のリセットも行えます。キーストーン補正は、【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押すと実行できます。(P42)



縦横キーストーン	【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押したときに縦横キーストーン補正が実行されます。
4点補正	【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押したときに 4 点補正が実行されます。
リセット	設定したキーストーンの値をリセットします。

スクリーンアスペクトが 16:9 D イメージシフト、4:3 D イメージシフトの場合、【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタンを押すとデジタルイメージシフト調整を実行できます。

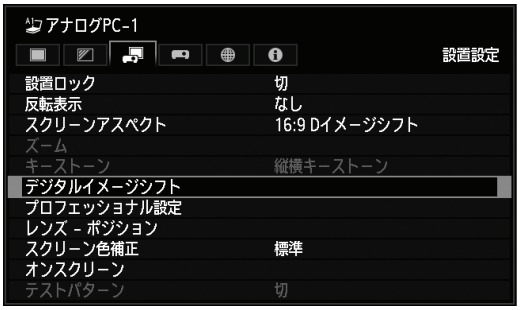
- キーストーンの値をリセットすると、固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）でのズーム機能の設定もリセットされます。

デジタルイメージシフトを設定する

MENU >[設置設定]>**[デジタルイメージシフト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

表示している映像の位置を移動します。



【OK】ボタンか【▶】ボタンを押すと、Dイメージシフト調整画面が表示されます。

16:9 D イメージシフト時は【▲】【▼】ボタン、4:3 D イメージシフト時は【◀】【▶】ボタンで補正します。
補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

- スクリーンアスペクトが 16:9、16:10、4:3 のときは選べません。
- スクリーンアスペクトが 16:9 D イメージシフトのときは垂直方向、4:3 D イメージシフトのときは水平方向の調整ができます。

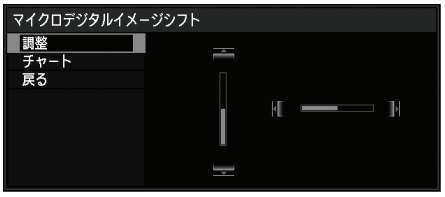
マイクロデジタルイメージシフトを設定する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[マイクロデジタルイメージシフト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

表示画面位置の微調整を行います。

切	マイクロデジタルイメージシフトを行いません。
調整	マイクロデジタルイメージシフト画面を表示します。



調整	表示画面位置を微調整します。 【▲】【▼】ボタンで垂直方向のシフトを行います。 【◀】【▶】ボタンで水平方向のシフトを行います。 調整が終わったら【OK】ボタンを押します。
チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら調整機能で微調整します。
戻る	【OK】で終了し、チャートも消えます。

調整が終わったら、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

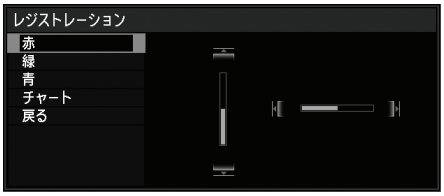
レジストレーションを調整する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[レジストレーション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

色ずれを調整します。赤、緑、青の色ずれを別々に調整できます。

切	レジストレーションを行いません。
調整	レジストレーション画面を表示します。



赤 **緑** **青**	対応する色の色ずれを調整します。 【▲】【▼】ボタンで垂直方向の調整を行います。 【◀】【▶】ボタンで水平方向の調整を行います。 調整が終わったら【OK】ボタンを押します。
チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら調整機能で微調整します。
戻る	【OK】で終了し、チャートも消えます。

調整が終わったら、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

ファンモードを設定する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[ファンモード]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

冷却用のファンの動作を、低地の場合と、海抜2,300mを超える高地の場合とで切り換え、適切に冷却できるようにします。

標準	海抜 2,300m 未満で使用する場合の設定です。
高地	海抜 2,300m 以上で使用する場合の設定です。

設定が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【標準】** です。

⚠ 設定をまちがえると、ランプの寿命や他の部品の寿命が縮まる可能性があります。

直立投写を設定する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[直立投写]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

冷却用のファンの動作を、上向きで使用する場合と、下向きで使用する場合とで切り換え、適切に冷却できるようにします。
注意事項については、98 ページの「正しい方向に設置してください」をご覧ください。

切	ファンの動作を変更しません。
上向き	本機を上向きにして使用する場合の設定です。
下向き	本機を下向きで使用する場合の設定です。

設定が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。

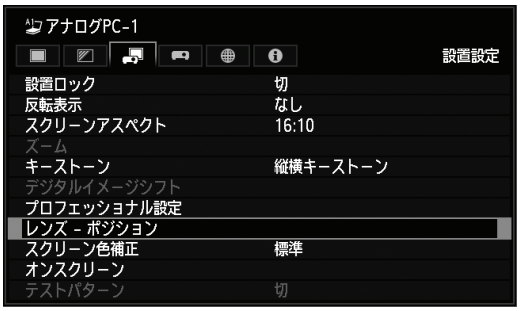
- 直立投写をする場合は、必ずこの設定を行ってください。
- この設定を行っても、水平投写に比較してランプの寿命や他の部品の寿命が縮まります。

レンズポジションを記憶 / 復元する

MENU >[設置設定]>**[レンズ - ポジション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

レンズポジションのメモリ機能により、レンズの位置情報(フォーカス、ズーム、レンズシフトなど)を3つまで記憶しておくことができ、復元もできます。



【OK】ボタンか【▶】ボタンを押すと、レンズ-ポジション画面が表示されます。

【▲】【▼】ボタンで選択します。
レンズ-ポジション画面では、以下のようなことができます。

ポジションロード 1、2、3	ポジションセーブ 1 ～ 3 で記憶したレンズポジションに復元します。
ポジションセーブ 1、2、3	レンズポジションをポジションセーブ 1 ～ 3 に記憶します。
レンズシフトリセット	レンズシフト位置を基準位置に戻します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 記録したポジションをロック（保護）したい場合、設置ロック（P125) を **「入」** にしてください。
- **【ポジションロード】** は一度 **【ポジションセーブ】** を行わないと選択できません。
- レンズの位置情報の他に以下の設定についても設定値が記憶されます。
  - 縦横キーストーン /4 点補正
  - スクリーン色補正
  - スクリーンアスペクト
  - ズーム
  - D イメージシフト
- レンズシフトの基準位置は、装着しているレンズにより異なります。

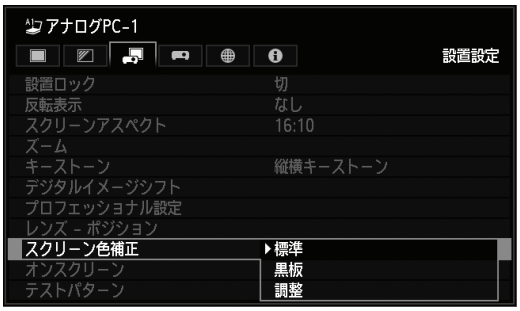
- レンズポジションのメモリ機能を使用しても、投写画面が設定 (ポジションセーブ) した位置から、わずかにずれることがあります。
- 投写画面サイズをスクリーン画面 (投影領域) サイズより少し小さく設定することで、投写画面全体を欠けることなく、複数ポジションの投写画面を切り替えることができます。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト、ズーム、フォーカス機能を使用して微調整して下さい。

スクリーンの色を補正する

MENU >[設置設定]>**[スクリーン色補正]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。



標準	標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。
黒板	黒板 (濃緑色) をスクリーンにするときに選びます。黒板上でも［標準］に近い色味になります。
調整	細かく調整するときに選びます。 下の別画面が表示されます。 【▲】【▼】ボタンで色を選びます。 【▶】選んだ色を濃くします。 【◀】選んだ色を薄くします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【標準】** です。

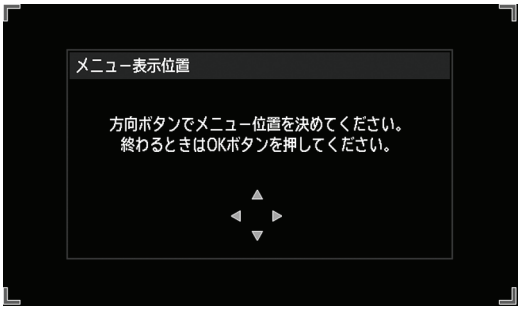
メニューの表示位置を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[メニュー表示位置]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

メニュー表示位置を変えることができます。

【▲】【◀】【▼】【▶】ボタンでメニューの位置を移動します。



位置が決まったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

ガイド画面の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>**[ガイド]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

操作を説明するガイド画面の表示 / 非表示が選べます。

切	ガイド画面を表示しません。
入	ガイド画面を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。
- ガイド画面は次の場合に表示されます。
  - 入力信号が確認できない場合。(P118)
  - [BLANK]、[FREEZE]、[D.ZOOM] 時に無効なボタンが押された場合。 (P50、P51)
  - 設置ロック (P119) が［入］に設定されている場合。
  - 電源が ON の場合に、【POWER】ボタンを押した場合。

入力状態の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[入力状態表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示するかどうかを選べます。

切	入力状態を表示しません。
入	入力状態を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。

高温注意の表示 / 非表示を設定する

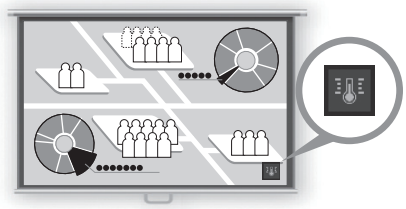
MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[高温注意表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

本機内部の温度が上がって異常温度に近づいたときに、「高温注意」アイコンを表示するかどうかを設定できます。

切	「高温注意」アイコンを表示しません。
入	「高温注意」アイコンを表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。
［入］に設定し、本機の内部の温度が異常になると、以下の「高温注意」アイコンが表示されます。



スクリーン

- 工場出荷時は **【切】** です。

メニューの表示時間を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[メニュー表示時間]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

通常は10秒または30秒のメニュー表示時間を3 分に延長できます。

標準	表示時間は 10 秒または 30 秒です。
延長	表示時間は 3 分です。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【標準】** です。
- 次の表示時間が変わります。

項目	[標準]	[延長]
-MENU 画面	30 秒	3 分
-インプット (P30) -キーストーン調整 (P42) -キーストーンリセット (P44) -フォーカス調整（P33） -ズーム調整（P33） -レンズシフト調整（P34） -レンズシフトリセット（P125） -D イメージシフト調整 (P38、P39) -D イメージシフトリセット (P40) -アスペクト (P41) -イメージモード (P45) -音量の調整 (P50) -ガンマ補正 (P72)	10 秒	3 分

ランプ交換警告の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[ランプ交換警告表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

ランプの使用時間が所定の時間に達した場合に、交換を促す警告を表示させることができます。

切	ランプ準備のメッセージとランプ交換警告を画面に表示しません。
入	ランプ準備のメッセージとランプ交換警告を画面に表示します。

ランプ交換時期に達したときは本体の LAMP インジケータが点滅します。この時はランプ交換（P173）をお勧めします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。

フィルター清掃警告の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[エアフィルター清掃警告表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

エアフィルターの清掃が必要な場合に、清掃を促す警告を表示させることができます。

切	エアフィルター清掃警告を表示しません。
入	エアフィルター清掃警告を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。

エアフィルター清掃警告表示「切」を選択した場合、エアフィルター清掃の警告がでません。エアフィルターカウンタ（P92）で交換時期の確認をお勧めします。エアフィルターカウンターが 300 時間を超えている場合は、エアフィルターの掃除（P170）をおこなってください。

2 画面 ID の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>**[二画面 ID 表示]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

2 画面表示時に、「1」または「2」の数字 (2 画面 ID) を表示するかどうかを設定します。画面IDの表示を[切]にした場合でも、操作権を表す四隅のマーカーは表示されます。

切	画面 ID を表示しません。
入	画面 ID を表示します。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。

テストパターンを表示する

MENU >[設置設定]>**[テストパターン]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像信号入力を接続しなくてもテストパターン (P185) を投写することができます。本機の設置時に解像度や色の確認をすることができます。

切	テストパターンの表示を終了します。
入	テストパターンの表示を行ないます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

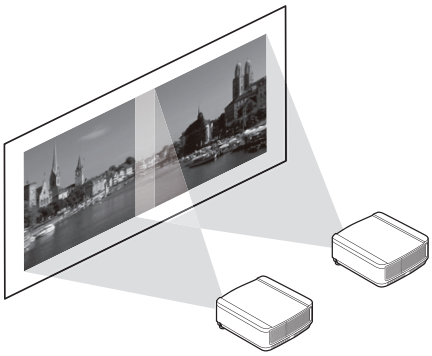
- 工場出荷時は**【切】**です。
- テストパターン・ダイレクトメニュー表示中は、**【▲】【▼】**ボタンで他のテストパターンに切り換えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、**【◀】【▶】**ボタンで設定を変更できます。(P185)

複数台のプロジェクターを並べて投写する（エッジブレンディング）

MENU > [設置設定] > [プロフェッショナル設定] > **[エッジブレンディング]**

○ HDMI　○ コンポーネント　○ LAN
○ デジタル PC　○ アナログ PC　○ USB

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクターから投写される映像の重なった部分の明るさを調整して目立たなくし、投写します。



■ 基本的な使いかた

2台のプロジェクターを左右に並べて投写する場合について説明します。

- 各プロジェクターのレンズシフトの位置、イメージモード（最適なイメージモードは［フォト /sRGB］）をそろえると、調整がしやすくなります。
- 以下の調整を行うと、重なり部分の調整の効果を高めることができます。
  ①明るさ（P71）、コントラスト（P71）、赤 / 緑 / 青ゲイン、赤 / 緑 / 青オフセットによる黒レベル、白レベル、色温度（P73）
  ②6 軸色調整を用いた色調整（P77）
  ③詳細なガンマを用いたガンマ調整（P77）

1 **［設置設定］メニューから［プロフェッショナル設定］、［エッジブレンディング］の順に選びます。**

2 **［調整］を選びます。**

エッジブレンディング画面が表示されます。

ここでは、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用します。

切			重なり部分の調整を行いません。
調整			重なり部分の調整を行うメニューを表示します。
	サイド		
		左、右　幅	開始マーカーから終端マーカーまでの幅を指定します。
		上、下　開始位置	開始マーカーを移動させます。
	ブレンディング色調整	切	ブレンディング色調整を行いません。
		調整	重なっている部分の色つきを調整します。(P133)
	黒レベル調整	切	黒レベル調整を行いません。
		調整	重なっていない部分の黒レベルを調整します。(P134)
	マーカー	切	マーカーを表示しません。
		入	調整する範囲のマーカー（開始（赤線）と終（緑線））を表示します。
	リセット		調整結果をリセットします。

- すでにエッジブレンディングの設定を行っている場合、[調整] を選んだときに機能します。
- 調整を初めから行う場合は、[リセット] を選んでください。

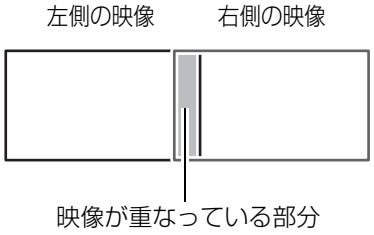
3 ［マーカー］を［入］にします。

映像に赤 (調整の開始位置を示す開始マーカー) と緑 (調整の終端位置を示す終端マーカー) の線 (マーカー) が表示されます。

初期状態では緑と赤のマーカーが重なり、赤の線しか見えません。

4 映像が重なっている位置を選びます。

左側の映像を調整する場合、映像が重なっている部分は右側となります。エッジブレンディング画面の［サイド］の［右］を選びます。



5 リモコンの【▶】ボタンで［開始位置］を選び、【▲】【▼】ボタンで映像が重なっている右側にマーカーを移動します。

6 **リモコンの【◀】ボタンで［幅］を選び、【▲】【▼】ボタンで映像が重なっている部分にマーカーを移します。**

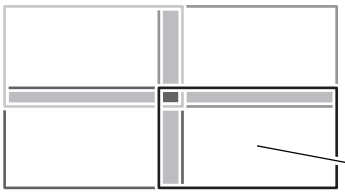
開始マーカーと終端マーカーの間をブレンディング領域と呼びます。この領域が他の部分と自動的に同じ明るさに調整されます。左側の映像の設定が終わったら、右側の映像も同様に映像の左側にブレンディング領域を設定してください。その際、左右の映像のブレンディング領域が同じになるよう調整してください。

⚠ 重なり部分を大きく設定すると、入力信号選択ダイアログや入力状態表示ダイアログなどが隠れてしまう場合があります。このような場合は、一時的にエッジブレンディングを［調整］から［切］に設定して表示を確認後、再度［調整］へ戻してください。

📝 開始マーカーは通常、映像の端部に合わせますが、内側に動かすこともできます。そのとき、開始マーカーの外側は黒映像と同じになります。

7 **［マーカー］を［切］にします。**

4台のプロジェクターの映像をつなげて投写する場合



左図のように 4 台のプロジェクターで投写した映像をつなげることもできます。
それぞれの映像で重なっている部分をブレンディング領域に設定してください。

例）右下の映像にブレンディング領域を設定する場合、映像が重なる「上」と「左」にブレンディング領域を設定します。
同様に他の 3 つの映像も設定してください。

■ 高度な使いかた（色を調整する）

映像を重ねて投写すると、重なった部分の色つき、色ずれが目立つことがあります。ブレンディング色調整を設定することにより、映像の重なり部分を目立たなくすることができます。

1 **「基本的な使いかた」（P131）の手順2のエッジブレンディング画面で、［ブレンディング色調整］、［調整］の順に選びます。**

ブレンディング色調整画面が表示されます。

ここでは、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用します。

ブレンディング色調整			重なっている部分の色つきを調整します。
	切		
	調整		
		白	白レベルを調整します。
		赤	赤レベルを調整します。
		緑	緑レベルを調整します。
		青	青レベルを調整します。

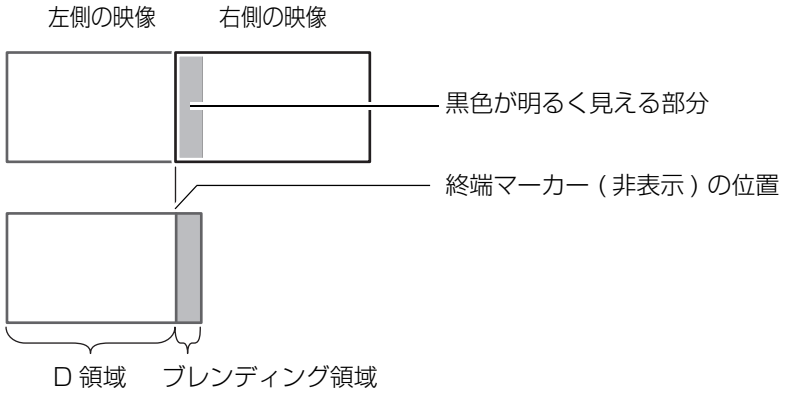
2 **［白］を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンで白の値を調整します。**

投写映像を見ながら、重なり部分の色つきが残らないように調整します。
まず［白］で赤・緑・青を同時調整し、さらに［赤］、［緑］、［青］でそれぞれの色味を個別に調整します。

3 **すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。**

■ 高度な使いかた（黒レベルを合わせる）

映像を重ねて投写すると、重なった部分の黒色が他の部分よりも明るく投写されます。そのため、暗い映像を投写したときなどは、目立つことがあります。重なっていない部分の黒レベルを調整することで、重なり部分を目立たなくすることができます。



映像の重なっていない終端マーカーの内側部分をD領域と呼び、調整します。
本来は終端マーカーから順にA、B、Cの領域があります。
ここでは、A、B、Cの幅を初期値の0にしたまま、D領域のみを調整する場合について説明します。

- 調整を行う前に［無信号時画面］を［黒］に設定し、入力信号のない映像を投写した状態で照明を消すなどして、黒色の画像が確認できるようにしてください。（P81）

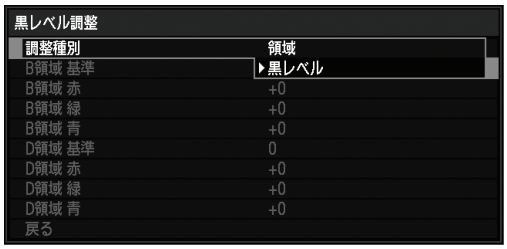
1 **「基本的な使いかた」（P131）の手順2のエッジブレンディング画面で、[黒レベル調整]、[調整] の順に選びます。**

黒レベル調整画面が表示されます。

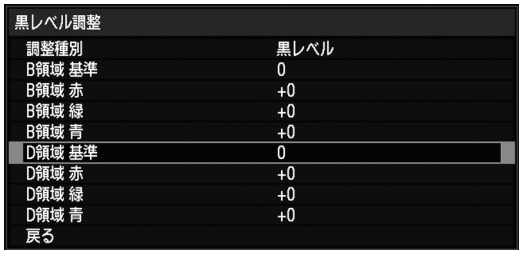
ここでは、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用します。

黒レベル調整			映像が重なっていない部分の黒色の調整をします。
	切		
	調整		
		調整種別　黒レベル	
			D 領域基準　D 領域の黒レベルを調整します。
			D 領域赤　D 領域の黒レベル (赤) を調整します。
			D 領域緑　D 領域の黒レベル (緑) を調整します。
			D 領域青　D 領域の黒レベル (青) を調整します。

2 **[調整種別]、[黒レベル] の順に選びます。**



3 **[D 領域 基準] を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンでD領域の値を調整します。**

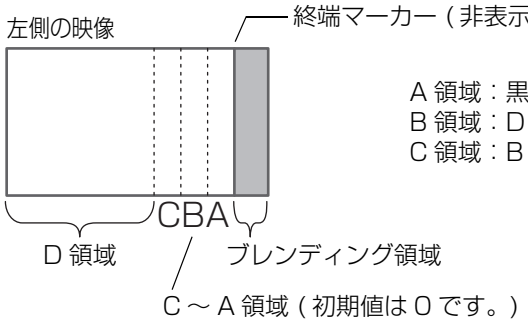


投写映像を見ながらブレンディング領域と D 領域の明るさと色が同じになるように調整します。[D 領域 基準] で黒レベルの明るさ、[赤]、[緑]、[青] で黒レベルの色味を調整します。

4 **すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。**

■ 高度な使いかた（つなぎ目をよりなめらかにする）

A、B、Cの領域を調整することでD領域の右端（ブレンディング領域に接する部分）の黒レベルが周囲と違って見えることがあります。
各領域では、以下のような調整をします。

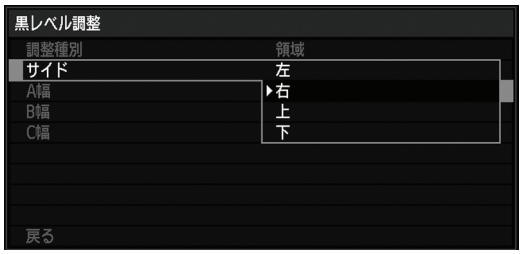


A 領域：黒レベルの調整はできません。
B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。
C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。

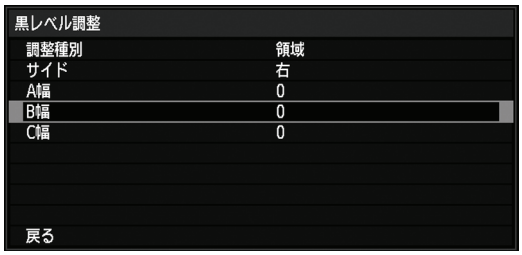
黒レベル調整				投写が重なっていない部分の黒色の調整をします。
	切			
	調整			
		調整種別		
			領域	
			サイド	調整の対象となる画面位置（左右上下）を選びます。
			A 幅	A 領域の幅を調整します。
			B 幅	B 領域の幅を調整します。
			C 幅	C 領域の幅を調整します。

ブレンディング領域が投写映像に対して複数（上下左右方向）表示される場合、A、B、Cの領域の幅をそれぞれに設定する必要があります。
ここでは、B領域を調整する方法を説明します。

1 **「高度な使いかた（黒レベルを合わせる）」（P134）の手順2の画面で、［調整種別］の［領域］を選び、［サイド］、［右］の順に選びます。**



2 **[B 幅] を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンで B 領域の幅を設定します。**
D 領域の幅が狭くなります。



3 **B領域の幅を黒レベルが違って見える部分に大まかにあわせ、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用してB領域の幅の黒レベルを調整します。**
B 領域の黒レベルの調整方法は D 領域の調整方法と同じです。

黒レベル		
	B 領域基準	B 領域の黒レベルを調整します。
	B 領域赤	B 領域の黒レベル (赤) を調整します。
	B 領域緑	B 領域の黒レベル (緑) を調整します。
	B 領域青	B 領域の黒レベル (青) を調整します。

調整の方法については、「高度な使いかた (黒レベルを合わせる)」(P134) の手順 3 をご覧ください。

B 領域の黒レベル調整の結果は上下左右、すべてのサイドに反映されます。

4 **B領域の位置と幅を微調整します。**

5 **A、B、Cの領域の幅を映像を見ながら調整してください。**

6 **必要に応じてB領域の黒レベルを再調整します。**

7 **調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。**

- 工場出荷時は **【切】** です。
- 想定される投写画像で主要となる階調をターゲットとして「ブレンディング色調整」を行うことで、重なった部分の色つき、色ずれを軽減できる場合があります。

「ブレンディング色調整」などの調整を行っても、画像の重なり部分に色つきや輝度差が残る場合があります。

ネットワークに接続して使用する

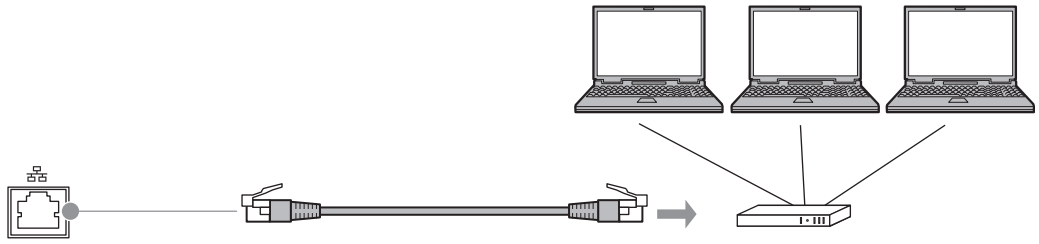
目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

ネットワーク接続の概要

本機 (プロジェクター) をネットワークに接続することで、プロジェクターのエラー通知メールをコンピューターで受信したり、コンピューターからプロジェクターを制御したりすることができます。ネットワーク接続に関する設定は、プロジェクター側 (P141) とコンピューター側 (P148) のどちらからでも行えます。
ネットワークへの接続方法により、コンピューター側で準備が必要になる場合があります。以下では、コンピューター側の準備について説明します。

接続方法について

LANを経由して、プロジェクターとコンピューターを接続します。



- プロジェクターの[ネットワーク機能]の設定が[切] (ネットワーク接続が無効) になっている場合は、[入]に変更して有効にしてください。(P143)
- 「情報を確認する (インフォメーション)」(P94) を参照して、プロジェクターのIPアドレスが、LAN上にある他のコンピューターなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターのIPアドレスを設定する場合は、「コンピューターでの設定」(P148) の手順に従ってウェブ画面で行うか、プロジェクターのTCP / IP設定機能 (P145) を使用して行います。
- 新しくネットワークにコンピューターを接続する場合は、コンピューターの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続するネットワーク環境で DHCP サーバーが稼動している場合は、プロジェクターの [DHCP] 画面で [入] を選択し、DHCP 機能を有効にして接続することができます。(P144)

プロジェクターでの設定

プロジェクターのメニュー画面の［ネットワーク設定］タブでネットワークの設定を行うことができます。メニューの操作については「メニューの使いかた」(P58) を参照してください。

ネットワーク設定変更のロック/ロック解除を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク設定変更]**

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。

ロック解除	ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。 ［ロック解除］を選択すると、次の画面が表示されるので、【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを使い、4桁のネットワークパスワードを入力します。

ロック	ロックします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押して画面を閉じると、再びロックされます。ネットワーク設定を行う場合は、画面を閉じずに操作を続けてください。

- 「ネットワークパスワード設定」を**【切】**に設定すると、常にロックが解除された状態となります。

ネットワークのロックを強制解除するには

「ネットワークパスワード入力」画面で【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは【▲】【▲】【▲】【▲】に初期化されます。

ネットワークパスワードを設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード設定]**

プロジェクターのネットワーク設定を変更する際にパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。

切	ネットワークパスワードを使用しません。
入	ネットワークパスワードを使用します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

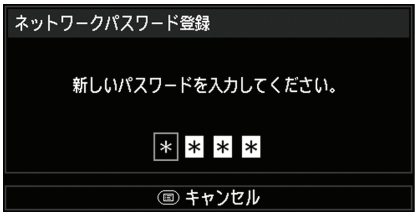
- 工場出荷時は**【入】**です。

ネットワークパスワードを登録する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード登録]**

プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。

選択すると、次の画面が表示されます。
パスワードは４桁で入力します。
リモコンの【▼】【▲】【◀】【▶】ボタンの組み合わせで設定します。



【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- パスワードを忘れた場合は、【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】を押すとパスワードを工場出荷時の設定に戻すことができます。
- 工場出荷時は【▲】【▲】【▲】【▲】です。

待機時の電力を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク待機設定]**

スタンバイ時のネットワーク機能の動作状態を設定します。

通常	スタンバイ時も、ウェブ設定、LAN経由の操作、PJLink などすべてのネットワーク機能が動作します。
省電力	スタンバイ時も、すべてのネットワーク機能が動作します。 ただし、機能によっては、最初に使用したときの反応時間が、通常と比べて長くなるものがあります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【省電力】**です。
- ［省電力］を選んだ場合、機能によってはネットワークでのアクセスに時間がかかるものがあります。アクセスを速くしたい場合は、［通常］を選択してください。
- ネットワーク機能［入］を選んだ場合、ネットワーク待機設定の通常 / 省電力で消費電力が変わります。

ネットワーク機能を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク機能]**

プロジェクターのネットワーク機能の入 / 切を切り換えます。[切]にすると、消費電力を抑えることができます。

切	ネットワーク機能を無効にします。
入	ネットワーク機能を有効にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。

IP アドレス / ゲートウェイアドレス / MAC アドレスを表示する

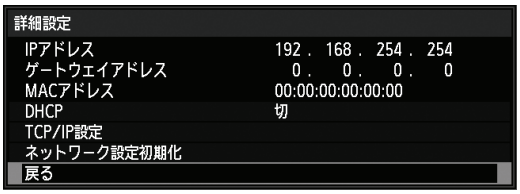
MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定]>**[IP アドレス]**

本機の IP アドレスを表示します。
表示のみ可能で、設定の変更はできません。
設定の変更はDHCPもしくはTCP/IP設定から行います。

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定]>**[ゲートウェイアドレス]**

本機のゲートウェイアドレスを表示します。
表示のみ可能で、設定の変更はできません。

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定]>**[MAC アドレス]**



DHCP を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定]>**[DHCP]**

プロジェクターの DHCP 機能の無効、有効を切り換えます。

切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の設定が可能になります。
入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP 設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力は不要になります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

TCP / IP を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定]>
[TCP/IP 設定]

プロジェクターの TCP/IP の設定を行います。

選択すると、次の画面が表示されるので、【▲】【▼】ボタンで IP アドレスを選択し、【OK】ボタンを押します。次に【◀】【▶】ボタンで桁を選択し、【▲】【▼】ボタンで値を変更してください。
【OK】ボタンを押し、同様にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を変更します。最後に［確定］を選択します。

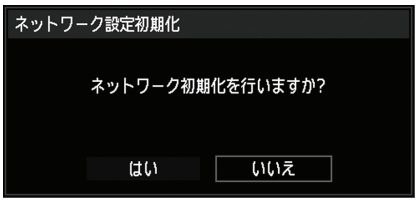
- 工場出荷時は以下の通りです。
  IP アドレス　192.168.254.254
  サブネットマスク　255.255.255.0
  ゲートウェイアドレス 0.0.0.0
- ［DHCP］(P144) が［入］の場合は設定できません。
- 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。

ネットワーク設定を初期化する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定]>
[ネットワーク設定初期化]

プロジェクターのネットワーク設定を初期化します。

選択すると、次の画面が表示されるので、［はい］を選択し、【OK】ボタンを押します。



- 初期化されるのは以下の項目です。
  - ウェブログイン時のネットワーク設定画面のユーザー名、パスワードを含む各種設定
  - ネットワークパスワード設定
  - ネットワーク機能
  - ネットワーク待機設定
  - ネットワークパスワード登録
  - PJLink
  - DHCP
  - IP アドレス
  - サブネットマスク
  - ゲートウェイアドレス
  - メール送信元アドレス
  - メール送信先アドレス
  - プロジェクター名
  - コメント
  - AMX Device Discovery 設定
  - Crestron RoomView 設定

PJLink を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[PJLink]**

プロジェクターのPJLink機能の無効、有効を切り換えます。[入]にすると、LAN経由でPJLink 規格にそったコマンドによる制御が行えます。

切	PJLink 機能を無効にします。
入	PJLink 機能を有効にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。
- このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。
- PJLink の利用については「PJLink を設定する」(P162) を参照してください。

PJLink とは

2003 年 9 月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。
PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。
メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど
プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink サイトURL
http://pjlink.jbmia.or.jp

PJLink™
PJLink はJBMIA の登録商標です。

AMX Device Discoveryを設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[AMX Device Discovery]**

ネットワーク環境で、AMX 社の AMX Device Discovery による検出をするときに設定します。ネットワーク環境に AMX Device Discovery がないときは、[切]を選びます。

切	AMX Device Discovery を無効にします。
入	AMX Device Discovery を有効にします。ネットワーク経由で定期的に AMX ビーコンパケットがプロジェクターから発行されます。

- 工場出荷時は **【切】** です。

AMX Device Discovery の詳細については AMX 社の Web ページを参照してください。
http://www.amx.com/

Crestron RoomViewを設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[Crestron RoomView]**

Crestron RoomViewとは、ネットワークに接続している複数のプロジェクターを遠隔から操作してシステムの診断や、ランプ寿命の把握、電源ON / OFFなどを、一括に管理できるシステムです。Crestron RoomView を使用するかどうかを設定します。

切	Crestron RoomView を使用しません。
入	Crestron RoomView を使用します。RoomView 用ポートが開き、CIP パケット応答を行います。これにより RoomView Express/Server アプリケーション、または Crestron Controller 経由での通信が可能になります。(P162)

- 工場出荷時は **【切】** です。

Crestron RoomView の詳細については Crestron® 社の Web ページを参照してください。
http://www.crestron.com/

IP アドレスを設定する

コンピューターのIPアドレスを設定する方法をOSごとに説明します。

■ Windows 8 の場合

1 **スタート画面の背景部分で右クリックし、画面右下の［すべてのアプリ］をクリックします。**

- Windows 8.1 をご利用の場合

  スタート画面左下の下向き矢印をクリックします。

2 **［コントロールパネル］をクリックします。**

- デスクトップ画面から操作する場合

  キーボードの［Windows ロゴ］キー と［X］キーを同時に押します。

  画面左下に表示されるショートカットメニューから［コントロールパネル］クリックします。

3 **［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。**

- アイコン表示の場合

  ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

4 **［アダプターの設定の変更］をクリックします。**

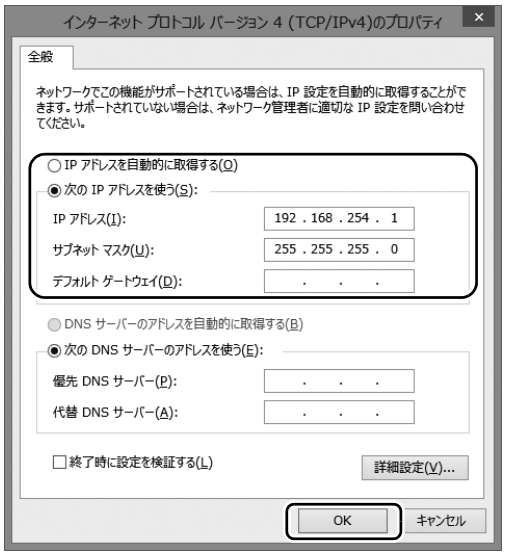
5 **［イーサネット］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

6 **「この接続は次の項目を使用します」の一覧から［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4)］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等）をメモしておきます。**

7 **［次の IP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。**

プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

＜例＞
IP アドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



8 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［イーサネットのプロパティ］画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows 7 の場合

1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

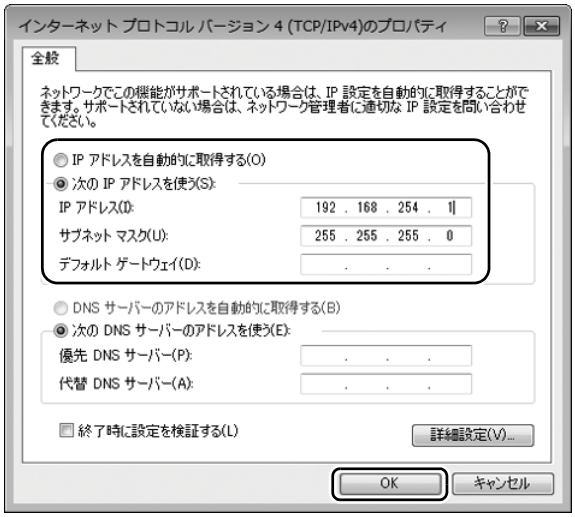
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 ウィンドウの左側のメニューにある［アダプターの設定の変更］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

5 ［インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) ］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。

6 ［次のIP アドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
＜例＞
IPアドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



7 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows Vista の場合

1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

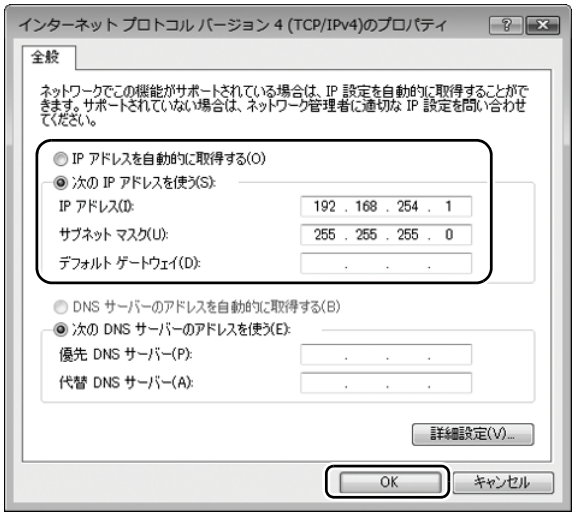
2 ［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 ウィンドウの左側のメニューにある［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

5 ［インターネット プロトコル バージョン　4 (TCP/IPv4) ］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。

6 ［次のIPアドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
＜例＞
IPアドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



7 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Mac OS X の場合

1 アップルメニューを開き、［システム環境設定］を選びます。

2 システム環境設定ウィンドウの［ネットワーク］をクリックし、ネットワーク画面を表示します。

3 ［内蔵 Ethernet］を選び、［TCP/IP］タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、ルーター、DNS サーバーなど) をメモします。

4 新しいネットワーク環境を作成し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
＜例＞
IP アドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0

5 ［適用］をクリックして、ネットワーク画面を閉じます。

■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容に従って変更前の値を設定してください。

ネットワークを設定する

■ ネットワーク設定画面の表示

1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。

プロジェクターの電源を入れた後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。

2 ウェブブラウザを起動し、アドレスに「http:// (プロジェクターのIPアドレス) 」を入力して［Enter］キーを押します。

プロジェクターのウェブ画面が表示されます。

表示される情報は次の通りです。

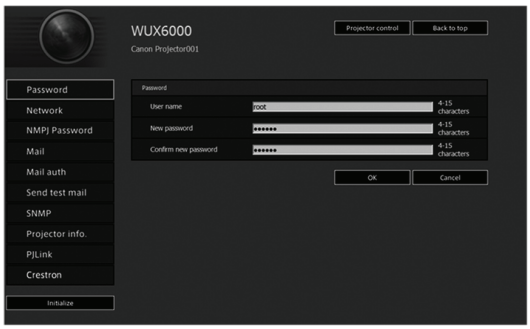
Network Multiple Projection Download	ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ) のアプリケーションをダウンロードします。*
Projector control	Projector control 画面を表示します。
Settings	セッティング画面を表示します。
Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメント
MAC address	プロジェクターの MAC アドレス
IP address	プロジェクターの IP アドレス
PowerStatus	プロジェクターの電源の状態
LampModeFullPower	ランプモード［フルパワー］でのランプの使用時間
LampModePowerSaver	ランプモード［エコ］でのランプの使用時間
LampTimeConverted	ランプの使用時間 (換算値)
FilterTime	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ (エラーが発生した場合) Temperature abnormality：温度エラー Faulty lamp：ランプエラー Faulty cooling fan：ファンエラー Faulty air filter unit：エアフィルターエラー Faulty power supply：電源エラー Faulty lens connector：レンズ未実装エラー Unknown error：Unknown エラー

* ネットワーク・マルチ・プロジェクション（NMPJ）のダウンロードについて詳しくは別冊の使用説明書をご覧ください。

工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。(P94)

3 **ウェブ画面の [Settings] をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

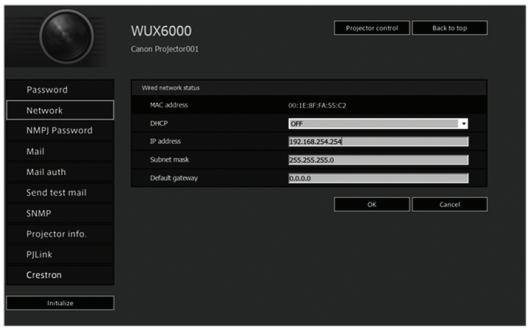
4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワードは「system」です。
ウェブブラウザにプロジェクターの設定画面が表示されます。



コンピューターからプロジェクターを操作する場合は［Projector control］をクリックします。(P167)

■ ネットワークの設定

1 「ネットワーク設定画面の表示」の手順３のウェブ画面で［Settings］ をクリックし、セッティング画面を表示します。

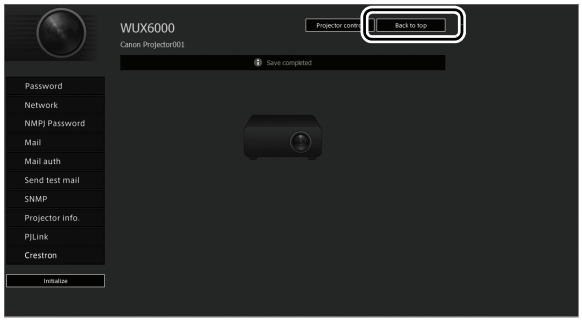


2 メニューから設定したい機能を選択し（①）、表示された各欄に設定内容を入力し（②）、［OK］をクリックします（③）。

3 確認画面が表示されるので内容を確認し、問題がなければ［Apply］をクリックします。

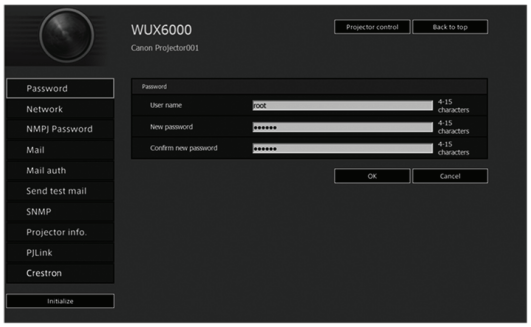
設定内容がプロジェクターに反映されます。
メニューで「Network」や「Password」を選択していた場合、「Save completed. Please change setting and reconnect.」と表示されます。

それ以外の機能を選択している場合は、「Save completed」と表示されます。[Back to top] をクリックし、ウェブ画面のトップ画面に戻ります。



パスワードの設定［Password］

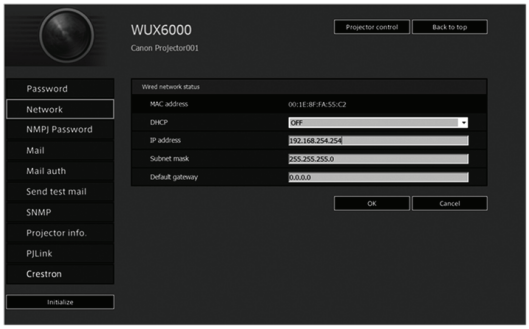
セッティング画面の［Password］では、ウェブ画面にログインする際のユーザー名やパスワードの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
User name	ウェブ画面にログインする際のユーザー名を半角の英数字・記号 (4 ～ 15 文字) で入力します。	root
New password	ウェブ画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号 (4 ～ 15 文字) で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、[New password] と同じパスワードを入力します。	system

基本情報の設定［Network］

セッティング画面の［Network］では、ウェブ画面へのログインとネットワークの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。

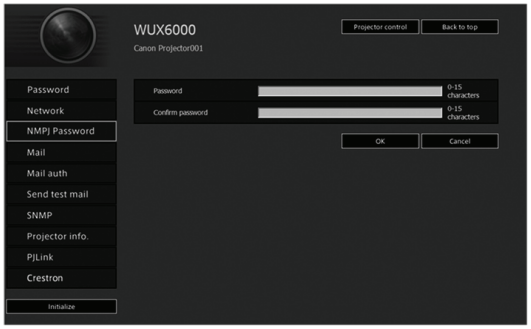


項目	説明	工場出荷時の設定
MAC address	プロジェクターの MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの MAC アドレス
DHCP	DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスはサーバーから取得されるため、［IP address］、［Subnet mask］、［Default gateway］は入力できなくなります。	OFF
IP address	プロジェクターの IP アドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254
Subnet mask	サブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
Default gateway	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続しなおす必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で［Subnet mask］を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

ネットワーク・マルチ・プロジェクションの設定［NMPJ Password］

セッティング画面の［NMPJ Password］では、ネットワーク・マルチ・プロジェクションの認証に必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。

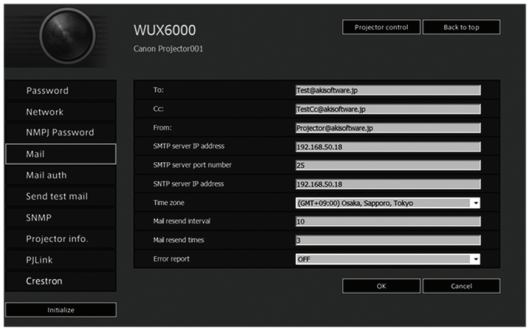


項目	説明	工場出荷時の設定
Password	ネットワーク･マルチ・プロジェクションの接続時に必要なパスワードを半角の英数字 (0 ～ 15 文字) で設定します。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

ネットワーク・マルチ・プロジェクション（NMPJ）について詳しくは別冊の使用説明書をご覧ください。

メールを設定する［Mail］

セッティング画面の［Mail］では、エラーメール送信およびテストメール送信を行うために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。

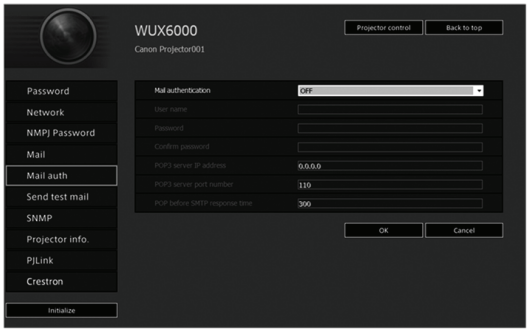


項目	説明	工場出荷時の設定
To:	エラーメールの送信先メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	MailUserAccount
Cc:	エラーメールの Cc 送信先メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	＜空欄＞
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	Projector@canon.co.jp
SMTP server IP address	SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
SMTP server port number	SMTP サーバーのポート番号を半角数字 (1 ～ 65535) で入力します。	25
SNTP server IP address	SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
Time zone	プロジェクターを使用する場所のタイムゾーンを選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
Mail resend interval*	エラーメール再送間隔 (秒単位) を 0 ～ 59 秒の範囲で半角の数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0 ～ 255 回の範囲で半角の数字で入力します。	3
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF を選択します。	OFF

* 0 秒を設定した場合、待機時間なしで再送を繰り返します。

メール認証を設定する［Mail auth］

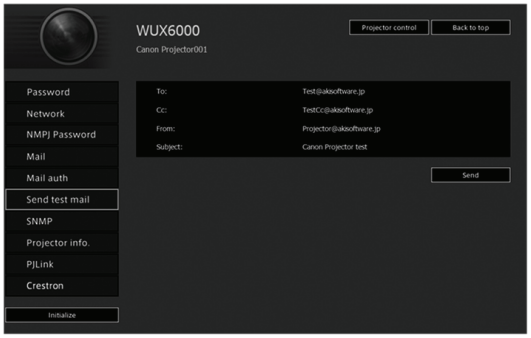
セッティング画面の［Mail auth］では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFF の場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	＜空欄＞
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞
POP3 server IP address	POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
POP3 server port number	POP3 サーバーのポート番号を半角数字 (1 ～ 65535) で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証終了から SMTP 認証までの待機時間 (ミリ秒単位) を半角数値 (0 ～ 9999 ミリ秒) で入力します。	300

テストメールを送信する［Send test mail］

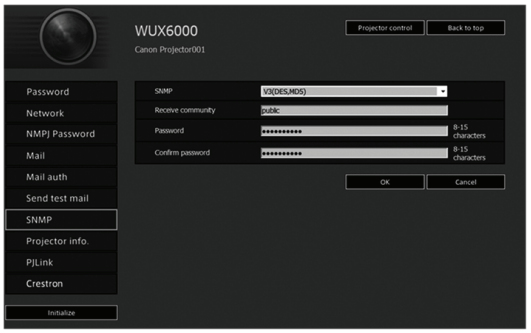
セッティング画面の［Send test mail］では、［Mail］で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。この画面では各項目の内容を変更することはできません。



項目	説明
To:	セッティング画面の［Mail］(P158) で設定した送信先メールアドレスが表示されます。
Cc:	セッティング画面の［Mail］(P158) で設定した Cc 送信先メールアドレスが表示されます。
From:	セッティング画面の［Mail］(P158) で設定した送信元メールアドレスが表示されます。
Subject:	固定のメールタイトル「Canon Projector test」が表示されます。

SNMPを設定する［SNMP］

セッティング画面の［SNMP］では、SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。

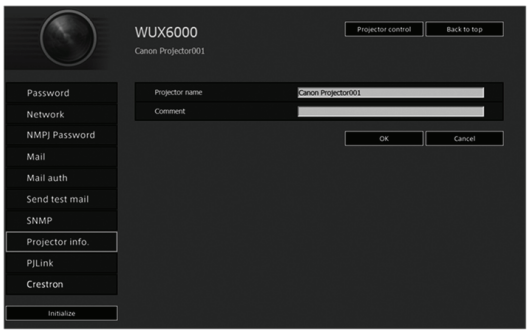


項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、SNMP 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号 (1 ～ 15 文字) で入力します。	＜空欄＞

項目	説明	工場出荷時の設定
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号 (8 ～ 15 文字) で入力します。SNMP のバージョンが V3 の場合のみ設定できます。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

プロジェクター情報を設定する［Projector info.］

セッティング画面の［Projector info.］では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と設置場所などのコメントを設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154) を参照してください。

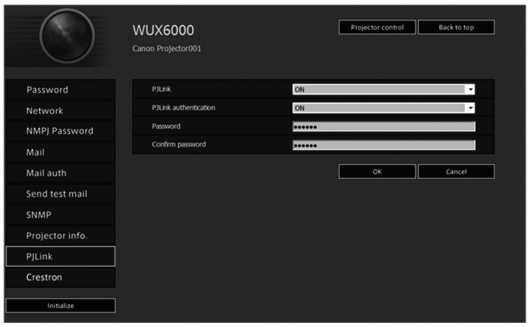


項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	Canon Projector001
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを設定します。	＜空欄＞

［Projector name］と［Comment］には，＃など使用できない文字があります。

PJLinkを設定する［PJLink］

セッティング画面の［PJLink］では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格であるPJLink機能について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P154)を参照してください。また、PJLinkについては「PJLinkとは」(P146) を参照してください。



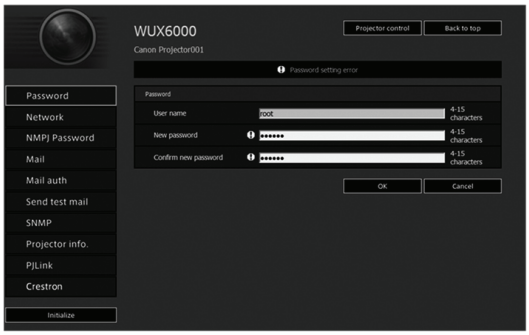
項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink 機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、PJLink 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、［Password］と［Confirm password］は変更できません。	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字 (1 ～ 32 文字) で入力します。	system
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	system

クレストロン社製のコントローラーの設定をする［Crestron Controller］

「Crestron e-Control 画面が開きます。詳しくはクレストロン社の Web ページをご覧ください。http://www.crestron.com」

設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因となっている入力欄に「！」マークが表示されます。



エラーの意味は以下の通りです。

エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時に SMTP サーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時に POP3 サーバーとの接続に失敗した。
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証が失敗した。
The system failed to send the test mail.	SMTP サーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信が失敗した。
Unknown error	原因不明のエラー。

ネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻す

1 「ネットワーク設定画面の表示」(P152) の手順１～３を行い、セッティング画面を表示します。

2 [Initialize] をクリックします。

3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

■ エラー通知メール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

エラー表

温度に関するエラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the specified one. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operated normally, turn off the projector to cool its inside, and retry projection. If the same warning occurs again, the projector may be defective. Contact your dealer.
	内容	プロジェクター内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。プロジェクター側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じワーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ランプに関するエラー	件名	Faulty lamp
	本文	The lamp has burnt out. Replace the lamp with a new one. If the same warning occurs again, the lamp drive circuit may be defective. Contact your dealer.
	内容	ランプが切れました。新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じワーニングが表示される場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	The cooling fan or another component may be defective. Contact your dealer.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter unit is not installed properly. Check whether the air filter unit is installed properly. If it is installed properly, the air filter unit detection switch may be defective. Contact your dealer.
	内容	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し電源を入れなおしてください。再度、同じワーニングが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	The voltage of part of the power supply is abnormally high or any other problem has occurred in the power supply. Contact your dealer.
	内容	電源異常です。電源ユニットの電圧異常か、MAIN 基板・RGB 基板の起動エラーが考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

レンズコネクタに関するエラー	件名	Faulty lens connector
	本文	The lens cable is not connected to the lens unit. Check whether the lens cable is connected to the lens unit properly. If it is connected properly, the lens connector or cable may be defective. Contact your dealer.
	内容	レンズユニットとレンズケーブルが正しく接続されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットとレンズケーブルを正しく接続してください。再度電源プラグをコンセントに接続してください。レンズコネクタの異常がふたたび発生する場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ウェブ画面による操作

本機をネットワークに接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

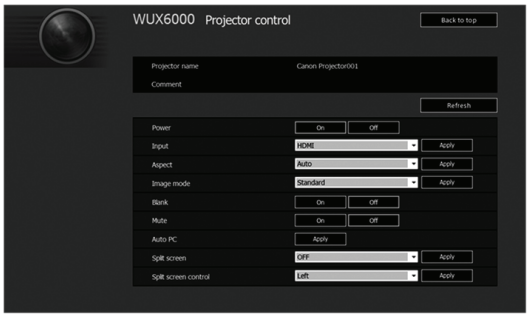
1 **コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**

2 **ウェブブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターのIPアドレス）」を入力して［Enter］キーを押します。**
プロジェクターのウェブ画面が表示されます。

工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。

3 **ウェブ画面の [Projector control] をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。
Projector control 画面が表示されます。



プロジェクター制御画面が表示されます。この画面でプロジェクターの制御を行います。

項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P161)
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを表示します。(P161)
Refresh	表示内容を最新の情報に更新します。
Power	プロジェクターの電源をオン / オフします。
Input	入力信号を選択し、[Apply] をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P29)
Aspect	アスペクトを選択し、[Apply] をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P40)
Image mode	イメージモードを選択し、[Apply] をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P45)
Blank	ブランク設定のオン / オフを切り換えます。(P50)
Mute	ミュート設定のオン / オフを切り換えます。(P51)
Auto PC	[Apply] をクリックすると、オート PC が実行されます。(P32)
Split screen	2 画面機能の設定を選び、[Apply] をクリックすると、2 画面表示に切り換わります。
Split screen control	2 画面の操作権設定を選び、[Apply] をクリックすると、操作権の対象が切り換わります。
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

5 **作業が終わったら、[Back to top] をクリックし、最初のウェブ画面に戻ります。**

メンテナンス

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

本体・エアフィルターを清掃する

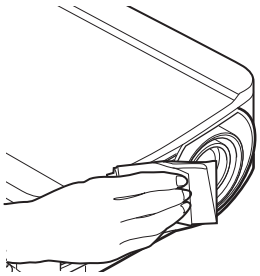
本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。

⚠注意

本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

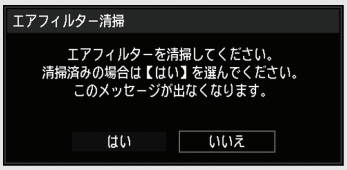
本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

- ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きをよくお読みください。
- レンズの清掃は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナーを使用してください。レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。



エアフィルターの清掃

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると、空気の流れが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。エアフィルターの清掃が必要な時間（約300時間）になると、本機の電源を入れたときに次の画面が表示されますので、エアフィルターを清掃してください。



- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】ボタンのみ反応します。(【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。)
- 10 秒後にこの画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。

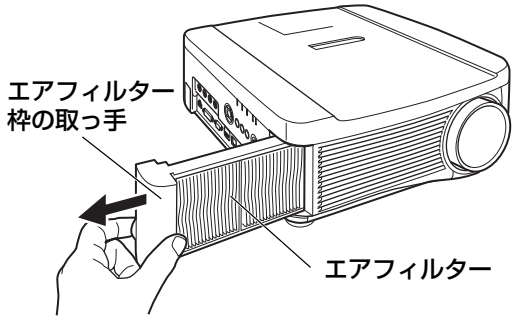
- 本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- エアフィルターは、本体側面のエアフィルターの取っ手に指をかけてエアフィルターを取り外してください。
- エアフィルターの清掃後、本機の電源を入れたときにフィルター交換の画面が表示されたら「はい」を選んで【OK】を押してください。エアフィルターカウンタがリセットされ、フィルタ交換の画面が表示されなくなります。
- [エアフィルター清掃警告表示] を [切] に設定した場合は、この画面は表示されません。(P129) 手動でエアフィルターカウンタをリセットを行ってください（P92）

エアフィルターを交換する

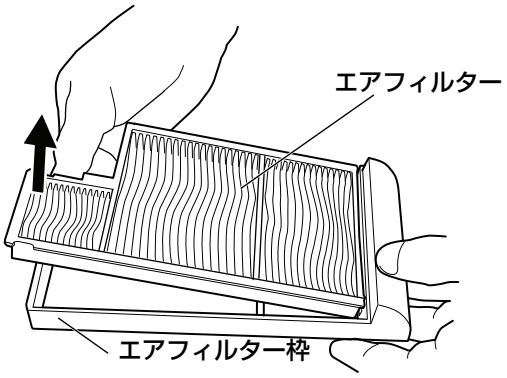
エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

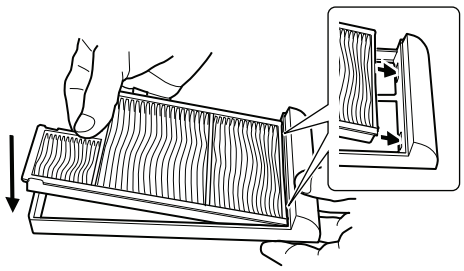
2 本体側面のエアフィルター枠の取っ手に指をかけてエアフィルターを引き出し、取り外します。



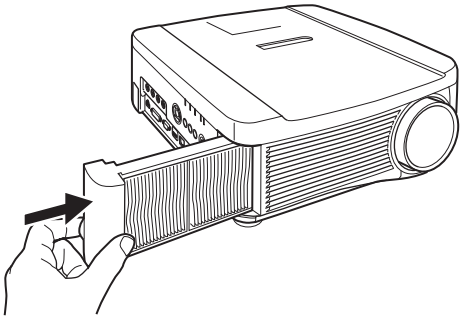
3 エアフィルター枠からエアフィルターを取り外します。先に奥側にあるツメのかみ合わせを外してから、エアフィルター全体を枠から外してください。



4 新しいエアフィルターを枠に取り付けます。エアフィルターのツメを枠の取っ手側の溝にはめてから、エアフィルターの奥側を押し込んでください。



5 エアフィルターを取り付けた枠を本機に奥までしっかり取り付けます。

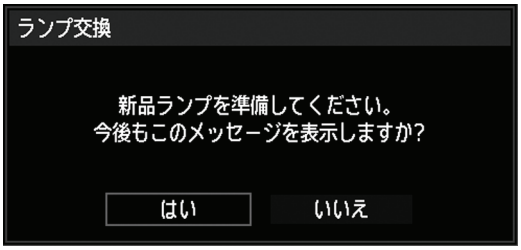


- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- ランプの交換時にエアフィルター交換をお薦めします。
- エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 交換エアフィルター　品番：RS-FL01
- キヤノンのホームページ (http://store.canon.jp/user/ListProducts/list?svid=2&sc=LMPPR&jsp=/jsp/search/search_item_acc.jsp) からも購入できます。

ランプを交換する

ランプの使用時間が一定の時間を越えると、本機の電源を入れるたびに、次の画面（2 種類）が 10 秒間表示されます。

2,700時間以上3,000時間未満



この画面が表示されたら、交換ランプを用意してください。

- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- 「今後もこのメッセージを表示しますか？」で［いいえ］を選ぶと、この画面は表示されなくなります。

3,000時間以上

ランプ交換画面が表示されたら、「ランプ交換手順」（P173、174）を参照してください。

- この画面の表示中は、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- ランプの使用時間はシステム設定メニューの［ランプカウンター］で確認してください。(P91)
- ［ランプ交換警告表示］を［切］に設定した場合は、これらの画面は表示されません。(P129)

交換用のランプについて

本機では、次のランプを使用しています。
ランプの品番：RS-LP09
ご購入の際は、販売店にご相談ください。

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

⚠警告

電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。また、本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。万一、ランプが破裂し破片などを吸い込んだり目や口に入ったときは、すみやかに医師にご相談ください。

⚠注意

ランプを交換するときは、本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

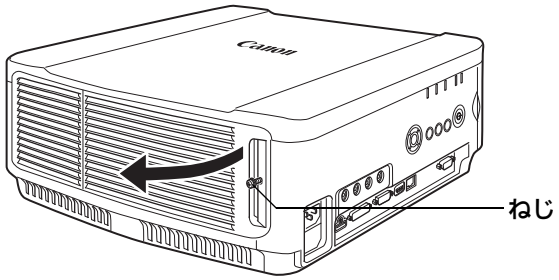
注 意

- **ランプは、必ず指定のものを使用してください。**
- **ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キヤノンのホームページ ('http://store.canon.jp/user/ListProducts/list?svid=2&sc=LMPPR&jsp=/jsp/search/search_item_acc.jsp) からも購入できます。**
- **ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。**
- **ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破裂した場合は、販売店に連絡し、「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」(P12) の指示に従ってください。**
- **ランプを交換の際は、指定のねじ以外ははずさないでください。**

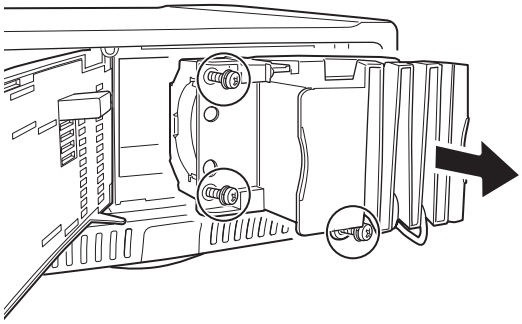
ランプ交換手順

1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

2 ねじを 1 か所ゆるめ、ランプカバーを矢印の方向に開きます。
ランプカバーのねじはランプカバーに取りついて、外れないようになっています。



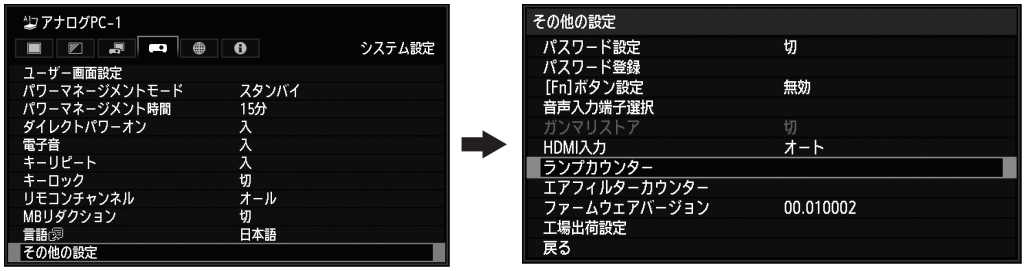
3 ランプユニットの奥にあるねじ３か所をゆるめ、ランプユニットを矢印の方向にゆっくり引き出します。
ねじをゆるめても、ねじはランプユニットから外れません。



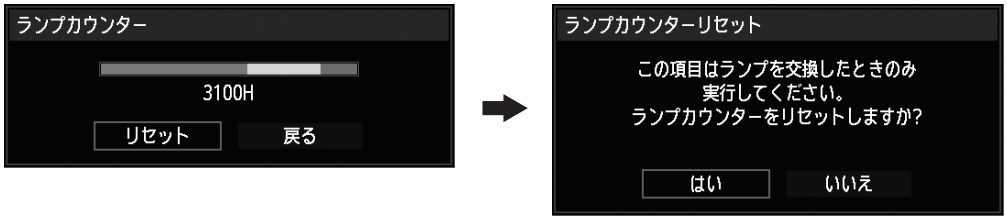
4 新しいランプユニットを奥までしっかり押し込み、ねじ３本で固定します。

5 ランプカバーを閉め、ねじをしめます。

6 電源を入れ、メニューを表示し、［システム設定］-［その他の設定］の［ランプカウンター］を選びます。



7 ［リセット］を選び、［はい］を選んで、ランプカウンターをリセットします。



- ランプの交換時にエアフィルターの交換をお薦めします。
- エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 交換エアフィルター　品番：RS-FL01

付録

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
付録
その他の情報
索引

LED インジケーターの見かた

本機に異常が発生すると、電源が切れた後、本体側面部のLEDインジケーターが点灯または点滅し続けます。

- 本機の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGとTEMPが点灯	温度の異常	本機内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本機側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本機の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、清掃または交換を行ってください。(P170、P171)再度、同じワーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGとLAMPが点灯	ランプの異常	ランプが点灯しません。電源を入れ直して、ランプが点灯するか確認してください。また、吸気口や排気口がふさがれていないか、エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。空気の流れが悪くなり、本機内部の温度が上昇すると、表示されることがあります。エアフィルターが目詰まりしている場合は、清掃または交換を行ってください。(P171、P172) それでもランプが点灯しない場合は、新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じワーニングが出る場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGが3回点滅を繰り返し、LAMPが点灯	ランプカバーの異常	ランプカバーが開いています。電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。 ランプカバーに問題がない場合は、ランプカバー検出スイッチなどの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGのみが４回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが５回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが３回点滅を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターが取り付けられていません。エアフィルターが正しく取り付けられているか確認してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが６回点滅を繰り返す	レンズコネクタの異常	レンズユニットとレンズケーブルが正しく接続されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットとレンズケーブルを正しく接続してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■ 電源が入らない

原　因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。(P116)
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続し、1 秒以上経過してから【POWER】ボタンを押してください。接続直後は電源を入れることができません。(P28)
ランプカバーが開いている	電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。
吸気口または排気口がふさがれて本機内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても [POWER ON] インジケーターは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでるものを取り除き、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

レンズコネクタが正しく取り付けられていない	レンズユニットとレンズケーブルが正しく接続されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットとレンズケーブルを正しく接続してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターが正しく取り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。(P171)
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック (P85) が設定されているか確認してください。

■ 映像が投写されない

原　因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやAV機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。(P111、P114)
電源を入れて 20 秒経過していない	電源を入れると、約20秒間オープニング画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。(P28)
AV 機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVD 等で、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本機の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。(P110)
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく［INPUT］メニューから選ばれていることを確認してください。(P30)
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P62、P186)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P50)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れなおしてください。
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの［Fn］を押しながら、［LCD］や［VGA］または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながらP キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。(P118) なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書などを確認してください。

原　因	対処のしかた
コンピューターの画面と同じ映像が表示されない	コンピューターの画面設定が2画面 (マルチディスプレイ) モードになっていないかを確認してください。2 画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を複製表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。
USB メモリ内の画面が投写できない	投写できるのは、最大画素数が 10912 × 8640 ドット、半角英数字のファイル名、FAT フォーマットのJPEGファイルです。
LAN ケーブル (シールドタイプ) が正しく接続されていない	プロジェクターにLANケーブル (シールドタイプ) が正しく接続されていることを確認してください。(P140)
ネットワークに接続できない	電源を入れて、約40秒間はネットワークに接続できません。(P152)

■ 音声が出ない

原　因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。(P110)
【MUTE】になっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P51)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P50)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
音声入力端子の選択が [切] になっている	適切な音声入力端子の設定に変更してください。(P89)

■ 映像が鮮明でない

原　因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P33)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。(P99)
本機がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、台形ひずみの補正機能で補正できます。(P42)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P170)

原　因	対処のしかた
トラッキングが合っていない	[オートPC]または[トラッキング]でトラッキングを調整してください。(P32、P63)
動画がぼけて投写される	MBリダクションを設定してください。(P86)
MB リダクションが設定できない	USB メモリやネットワーク・マルチ・プロジェクションで投写している映像には、MBリダクションが設定できません。
シャープネスが設定できない	2画面投写時は、シャープネスの調整ができません。

■ 映像が正しく表示されない

原　因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。表示設定メニューで［反転表示］の設定内容を確認してください。(P119)
BNCケーブル使用時に、ドットクロックが 162MHz を越える信号を入力している	コンピューター側で、信号のドットクロックを 162MHz 以下に設定してください。
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	全てのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

■ 電源が切れてしまう

原　因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本機内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。(［WARNING］インジケーターと[TEMP]インジケーターが点灯します。) 本機の温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。(P21、P28)
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。 目詰まりしている場合はエアフィルターの清掃または交換を行ってください。(P171)
ランプが破裂している（またはランプの異常）	ランプが破裂している場合は「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」(P12) にしたがって対応してください。

原　因	対処のしかた
使用環境が適正でない	使用環境が 0 ℃～ 40 ℃であることを確認してください。(P15) 海抜2,300m以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設置設定メニューの［プロフェッショナル設定］の［ファンモード］を［高地］にしてください。(P123)

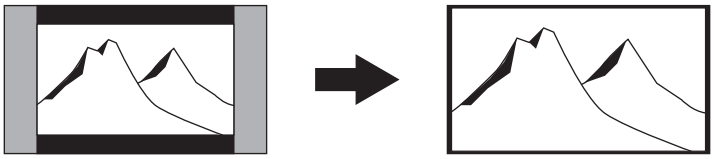
■ リモコンの操作ができない

原　因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。(P19)
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。(P20)
リモコンと本機の間に障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。(P20)
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで「リモコンチャンネル」の設定を確認できます。(P85)
キーロックでリモコンの操作を禁止している	「キーロック」でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで「キーロック」を［切］に設定してください。(P85)

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

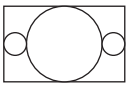
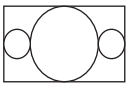
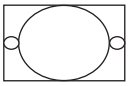
スクリーンアスペクト (P36) とアスペクト (P40) の関係を説明します。
スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

- 16 : 9 の映像ソフトが［オート］で正常に投写されない場合は、アスペクトを［16 : 9］に設定してください。
- 地上波の映画放送などで、16 : 9の映像の上下に黒枠があるときは、アスペクトで［ズーム］を選ぶことで、16 : 9の領域を16 : 9スクリーンいっぱいに投写することができます。

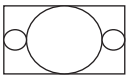
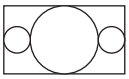
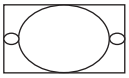


なお［ズーム］は、入力信号や解像度により選択できない場合があります。
- 台形ひずみの補正 (P42) を行うときは、スクリーンアスペクトを［4:3 Dイメージシフト］と［16:9 Dイメージシフト］以外に設定してください。

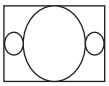
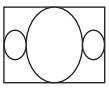
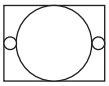
■ 16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P36)	アスペクトの設定 (P40)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	［16 : 10］	［16 : 10］ ［オート］	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		［16 : 10］	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		［16 : 10］	

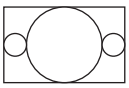
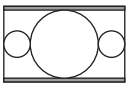
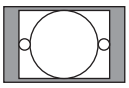
■ 16 : 9 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P36)	アスペクトの設定 (P40)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	［16 : 9］ ［16 : 9 Dイメージシフト］	［16 : 9］	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		［16 : 9］ ［オート］	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		［16 : 9］	

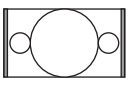
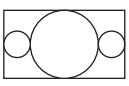
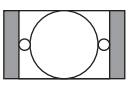
■ 4：3のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P36)	アスペクトの設定 (P40)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4：3] [4：3 Dイメージシフト]	[4：3]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[4：3]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

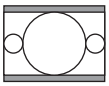
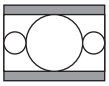
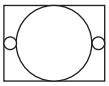
■ 16：10のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P36)	アスペクトの設定 (P40)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16：10]	[16：10] [オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

■ 16：9のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

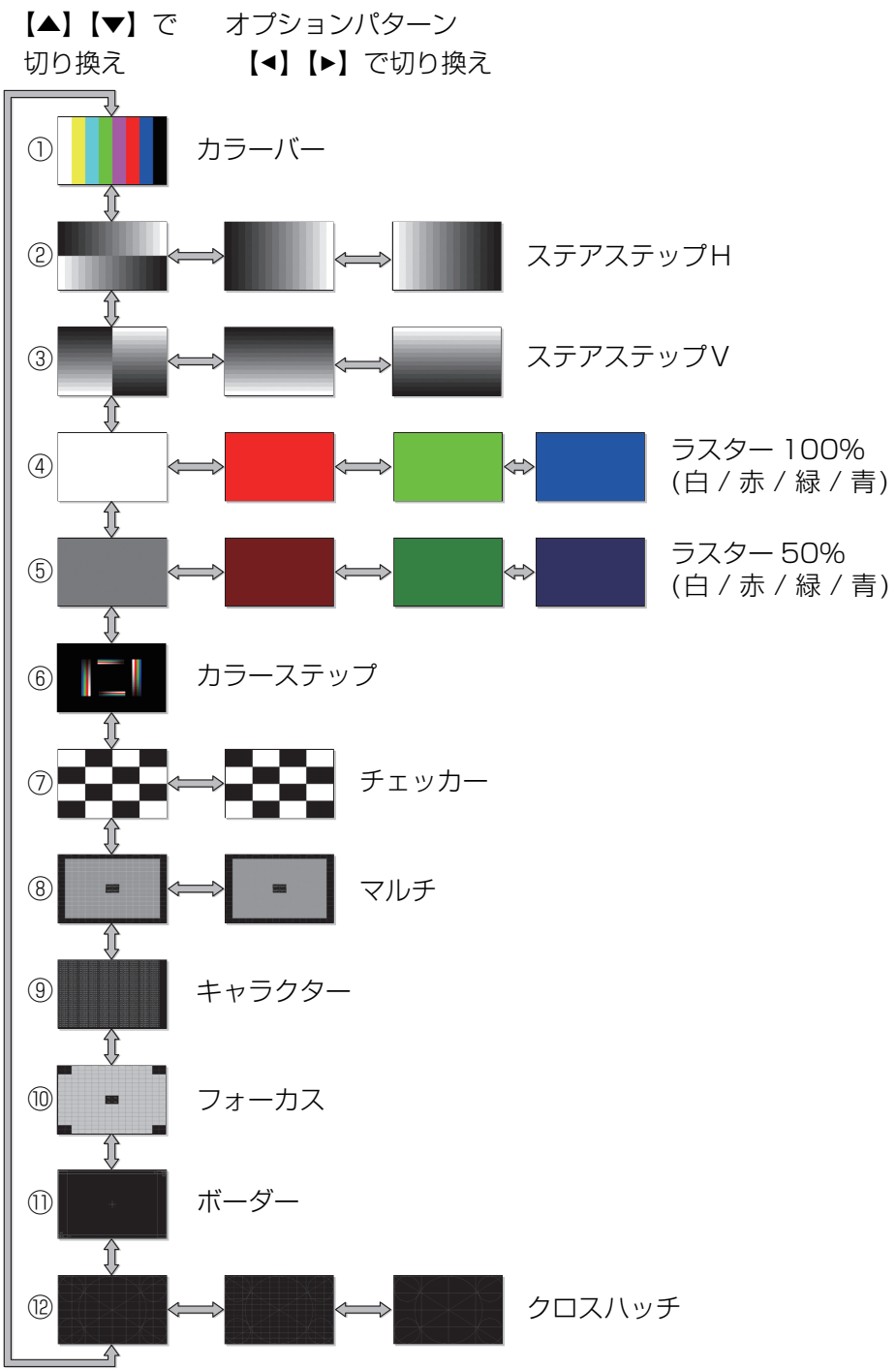
接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P36)	アスペクトの設定 (P40)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16：9] [16：9 Dイメージシフト]	[オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

■ 4:3のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P36)	アスペクトの設定 (P40)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4：3] [4：3 Dイメージシフト]	[オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

表示できるテストパターンについて

［設置設定］メニューの［テストパターン］で［入］を選ぶと、テストパターン・ダイレクトメニューが表示されます。
テストパターン・ダイレクトメニューの表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り換えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り換えることができます。テストパターンが表示されると、表示中のテストパターン名の略称と操作ガイドのダイアログが表示されます。
表示できるテストパターンは、以下のとおりです。



対応信号

本機には、次の信号形式が用意されています。
コンピューターまたはAV機器が下の表のいずれかに対応していれば、オートPC機能などにより入力信号が自動的に判断され、正しい映像を投写することができます。

アナログPC

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	VGA	31.469	59.940
720 × 480	—	31.469	59.940
720 × 576	—	31.250	50.000
800 × 600	SVGA	37.879	60.317
848 × 480	—	31.020	60.000
1024 × 768	XGA	48.363	60.004
1280 × 768	WXGA	47.776	59.870
		47.396	59.995
1280 × 800		49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 960	—	60.000	60.000
1280 × 1024	SXGA	63.981	60.020
1366 × 768	—	47.712	59.790
1400 × 1050	SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440 × 900	WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600 × 900	—	60.000	60.000
1600 × 1200	UXGA	75.000	60.000
1680 × 1050	WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920 × 1080	—	56.250	50.000
		67.500	60.000
1920 × 1200	WUXGA	74.038	59.950

デジタルPC

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	D-VGA	31.469	59.940
720 × 480	—	31.469	59.940
720 × 576	—	31.250	50.000
800 × 600	D-SVGA	37.879	60.317
1024 × 768	D-XGA	48.363	60.004
1280 × 720	—	37.500	50.000
		45.000	60.000
1280 × 800	D-WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 1024	D-SXGA	63.981	60.020
1366 × 768	—	47.712	59.790
1400 × 1050	D-SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440 × 900	D-WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600 × 900	—	60.000	60.000
1600 × 1200	D-UXGA	75.000	60.000
1680 × 1050	D-WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920 × 1080	—	27.000	24.000
		56.250	50.000
		67.500	60.000
1080PsF (1920 × 1080i)	—	27.000	24.000
		28.125	25.000
		33.750	30.000

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
1920 × 1200	D-WUXGA	74.038	59.950

HDMI

コンピューターと接続時

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	VGA	31.469	59.940
800 × 600	SVGA	37.879	60.317
1024 × 768	XGA	48.363	60.004
1280 × 800	WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 1024	SXGA	63.981	60.020
1366 × 768	—	47.712	59.790
1400 × 1050	SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440 × 900	WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600 × 900	—	60.000	60.000
1600 × 1200	UXGA	75.000	60.000
1680 × 1050	WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920 × 1200	WUXGA	74.038	59.950

AV機器と接続時

信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
480p	31.469	59.940
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	27.000	24.000
	56.250	50.000
	67.500	60.000

コンポーネント

信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.734	59.940
480p	31.469	59.940
576i	15.625	50.000
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	56.250	50.000
	67.500	60.000
1080PsF	27.000	24.000
	28.125	25.000
	33.750	30.000

※ 表中の仕様は予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが162MHzを越えるコンピューター出力には対応しておりません。
※ コンピューターケーブルは全てのピンが結線された (全結線) タイプを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。

製品の仕様

■ 本体

型名		WUX6000
表示方式		3 原色液晶方式
光学方式		ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式
表示素子	形式	反射型液晶パネル
	サイズ / アスペクト比	0.71 型 X3 / 16:10
	駆動方式	アクティブマトリックス方式
	画素数 / 総画素数	2,304,000（1920 × 1200）× 3 枚 / 6,912,000
投写レンズ(*1)	ズーム比 / 焦点距離 / F 値	1.5 倍 / f =23.0 ～ 34.5mm / F1.89 ～ F2.65
	ズーム / フォーカス方式	電動 / 電動
	レンズシフト（*1）	V：-15% ～ +55%、H：± 10% 電動
光源（ランプモード　フルパワー / エコ）		340-NSHA 340W / 264W
画面サイズ（投写距離）（*1）		40 ～ 600 型（1.3 ～ 29.0m）
再現色数		1,677 万色（フルカラー）
明るさ（*1）(*2)（*3）		6,000 ルーメン（プレゼンテーションモード）
コントラスト比 (*3)		2000：1（全白：全黒、プレゼンテーションモード、ランプ制御「入」）
周辺照度比（*1）(*3)		88%
スピーカー		5W・モノラル× 1
最大入力解像度		1920 × 1200 ドット
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA、UXGA、WSXGA+、SXGA+、WXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA （走査周波数：水平：15 ～ 75KHz、垂直 50 ～ 85Hz）
	デジタル PC 入力	WUXGA、UXGA、WSXGA+、SXGA+、WXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA
	コンポーネントビデオ入力	1080p、1080i、720p、576i、576p、480i、480p
	デジタルビデオ入力	1080p、1080i、720p、576p、480p
入力端子	DVI-I IN 端子	アナログ PC、デジタル PC 入力 (DVI コネクター 29 ピン)
	HDMI IN 端子	HDMI（ディープカラー）
	アナログ PC / COMPONENT IN 端子	アナログ PC、コンポーネント（ミニ D-sub15 ピン）
	CONTROL 端子	RS-232C（D-sub 9 ピン）
	音声入力端子	音声信号（3.5φ ステレオミニジャック× 2）
音声出力端子		音声信号（3.5φ ステレオミニジャック）
USB 端子		JPEG 画像（マスストレージクラス）
REMOTE 端子		ワイヤードリモコン（3.5φ ステレオミニジャック）
LAN 端子		ネットワーク・マルチ・プロジェクション（RJ-45）
CONTROL 端子		RS-232C（D-sub 9 ピン）
入力信号	デジタル PC	TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 G 信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75Ω
	コンポーネントビデオ	コンポーネント：セパレート Y Cb / Pb Cr / Pr 信号 Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb / Pb；0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr / Pr；0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω
	音声	インピーダンス 47KΩ 以上
騒音（ランプモード　フルパワー / エコ）		40dB / 36dB
使用温度範囲		0 ℃～ 40 ℃

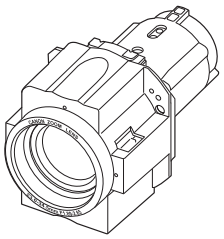
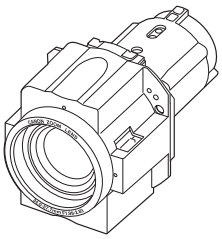
型名	WUX6000
電源	AC100V～240V　50 / 60Hz
消費電力（フルパワー / エコ / 待機 LAN 省電力 / 待機 LAN OFF）	455W / 360W / 0.7W / 0.3W
本体寸法	幅 380mm ×高さ 170mm ×奥行 430mm（突起部は含む）
質量	8.5kg（レンズユニットを除く）
付属品	リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、コンピューターケーブル、使用説明書（本書）、使用説明書（CD-ROM）、使用説明書（別冊）、保証書

*1 標準ズームレンズ（RS-IL01ST）使用時。レンズユニットの種類により異なります。
*2 ランプモード フルパワー の場合
*3 出荷時における本プロジェクターの値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書2に基づいています。
※ 液晶パネルの有効画素は99.99%以上です。投写中0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。
※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
※ 本機はJIS C 61000-3-2適合品です。

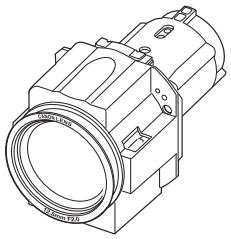
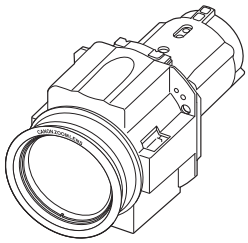
■ リモコン

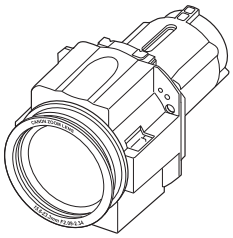
型番	RS-RC04	RS-RC05（別売品）
電源	DC3.0V　単 4 形乾電池 2 本使用	DC3.0V　単 3 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 8m 縦横± 25°（受光部正面）	
本体寸法	幅 43mm ×高さ 23mm × 奥行 135mm	幅 51mm ×高さ 28mm × 奥行 176mm
質量	56g	100g

■ 各レンズユニットの仕様（別売品）

名称	標準ズームレンズ	長焦点ズームレンズ
型番	RS-IL01ST	RS-IL02LZ
外観		
焦点距離	23.0～34.5mm	34.0～57.7mm
F ナンバー	1.89 — 2.65	1.99 — 2.83
幅	97.4mm	97.4mm
高さ	106.5mm	106.5mm
長さ	173.4mm	173.4mm
質量	550g	755g
ズーム比	1.5 ×	1.7 ×
投写距離	1.3～29.0m	1.9～48.5m
100 型投写距離	3.2～4.8m	4.7～8.0m

各レンズのレンズシフト量は「■レンズシフト機能について」を参照してください。（P108）

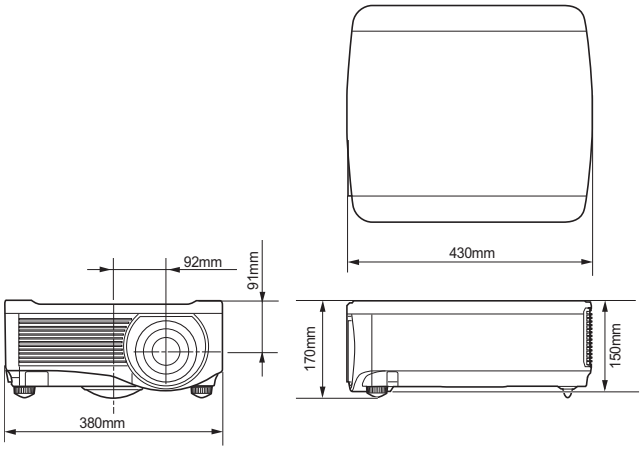
名称	固定短焦点レンズ	超長焦点ズームレンズ
型番	RS-IL03WF	RS-IL04UL
外観		
焦点距離	12.8mm	53.6 ～ 105.6mm
F ナンバー	2.0	2.34 ～ 2.81
幅	97.4mm	97.4mm
高さ	106.5mm	106.5mm
長さ	175.2mm	184.2mm
質量	910g	940g
ズーム比	–	1.95 ×
投写距離	0.7 ～ 5.2m	4.6 ～ 89.0m
100 型投写距離	1.7m	7.6 ～ 14.9m

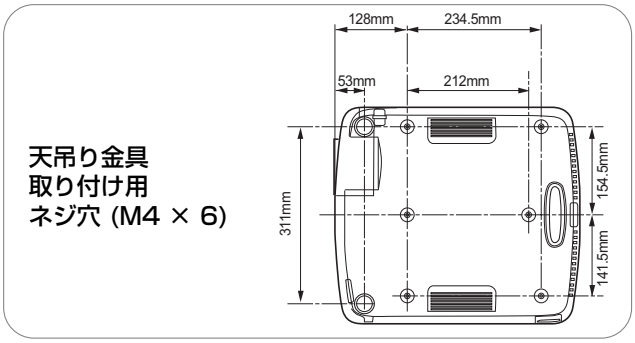
名称	短焦点ズームレンズ
型番	RS-IL05WZ
外観	
焦点距離	15.6 ～ 23.3mm
F ナンバー	2.09 ～ 2.34
幅	97.4mm
高さ	106.5mm
長さ	180.3mm
質量	905g
ズーム比	1.5 ×
投写距離	0.9 ～ 19.5 m
100 型投写距離	2.2 ～ 3.2 m

各レンズのレンズシフト量は「■レンズシフト機能について」を参照してください。（P108）

■ 外観図

WUX6000

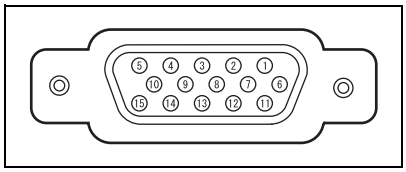

430mm
92mm
91mm
380mm
170mm
150mm


天吊り金具
取り付け用
ネジ穴 (M4 × 6)
128mm
234.5mm
53mm
212mm
311mm
154.5mm
141.5mm

■ アナログ PC-2 / COMPONENT 端子

コンピューターのアナログ PC 入力、コンポーネント入力端子として動作します。接続にはD-sub用コンピューターケーブルを使用してください。
端子仕様は、アナログPC入力、コンポーネント入力とも同一です。

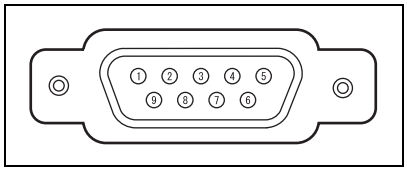
ミニD-sub15ピン



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	R	9	+ 5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	接地
4	OPEN	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

■ サービス用端子 (CONTROL)

ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	内部プルアップ
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式　　: RS-232C 調歩同期 半２重通信
通信速度　　: 19200bps
キャラクタ長　: 8ビット
ストップビット: 2ビット
パリティ　　: なし
フロー制御　　: なし

制御コマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	HDMI	INPUT=HDMI<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 0Dh
	デジタル PC	INPUT=D-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	アナログ PC-1	INPUT=A-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	アナログ PC-2	INPUT=A-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	コンポーネント	INPUT=COMP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Dh 50h 0Dh
	LAN	INPUT=LAN<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Eh 0Dh
	USB	INPUT=USB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 55h 53h 42h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	ビビッド・フォト	IMAGE=VIVID_PHOTO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 56h 49h 44h 5Fh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 0Dh
	フォト /sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	シネマ	IMAGE=CINEMA<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 43h 49h 4Eh 45h 4Dh 41h 0Dh
	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
	ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh
	ユーザー 4	IMAGE=USER_4<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 34h 0Dh
	ユーザー 5	IMAGE=USER_5<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 35h 0Dh
イメージモード取得		GET=IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ設定	BRI=<数値><CR>	42h 52h 49h 3Dh <数字コード> 0Dh
明るさ取得		GET=BRI<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 52h 49h 0Dh

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
シャープネス	シャープネス設定	SHARP=＜数値＞<CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
シャープネス取得		GET=SHARP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	コントラスト設定	CONT=＜数値＞<CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
コントラスト取得		GET=CONT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	4:3	ASPECT=4:3<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 34h 3Ah 33h 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	16:10	ASPECT=16:10<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 31h 30h 0Dh
	ズーム	ASPECT=ZOOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 5Ah 4Fh 4Fh 4Dh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ランプモード	フルパワー	LAMP=FULL<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 46h 55h 4Ch 4Ch 0Dh
	エコ	LAMP=ECO<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 45h 43h 4Fh 0Dh
ランプモード取得		GET=LAMP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Dh 50h 0Dh
ブランク	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

索引

英数字

2 画面表示 54
4 点補正 121
6 軸色調整 77
ASPECT 41
AUTO PC 32
BLANK 50
BLANK 時画面 81
D. ZOOM 51
DHCP 144
DVI 29, 112
DVI-I 111, 112
DVI-I 入力端子 26
FREEZE 50
HDMI 29, 113, 114
HDMI オーバースキャン 66
HDMI カラーフォーマット 65
HDMI 入力端子 26, 113, 114
HDMI 入力レベル 65
IMAGE 45
INPUT 30
KEYSTONE 42
LAN 接続端子 26
LED インジケーター 25, 176
MB リダクション 86
MENU 58
MUTE 51
OK 23
PJLink 146
POWER 28, 47
TCP / IP 設定 145
USB 52
USB 端子 26
VOL 50
WARNING インジケーター 24, 176

あ

明るさ 71
アスペクト 40, 182
アナログ PC 29, 111, 112
アナログ PC-1 111
アナログ PC-1 / DVI-I 入力端子 29, 111, 112
アナログ PC-2 ..... 111, 112
アナログ PC-2 / コンポーネント端子 29, 111, 112
アンビエントライト 74

い

イメージ調整 58
イメージモード (画質) 45
インフォメーション 58, 94

え

エアフィルター 171
映像の拡大 51
エコ設定 46
エッジブレンディング 131

お

オート PC 32
オート (アスペクト) 40
音声出力端子 26, 113, 115
音声入力端子 26, 89, 111, 112, 115
音量調整 50

か

ガイド 127
外部モニター切り換え (ノート型コンピューターの準備) 118
ガンマ補正 72

き

キーストーン 42
キーロック 85
記憶色補正 76
起動時画面 82

け

言語 87

こ

光学的なズーム 33
工場出荷設定 93
コントラスト 71
コンピューターとの接続 111
コンポーネント 29, 115

し

システム設定 58

シャープネス 72
省電力 46
信号形式 186

す
垂直位置 64
垂直表示ドット数 64
水平位置 64
水平表示ドット数 64
スクリーンアスペクト 36, 120, 182
スクリーン色補正 126
スライドショー 67

せ
接続端子 26
　AV 機器との接続 114
　コンピューターとの接続 111
設置ロック 119

そ
総ドット数 63

た
台形ひずみ調整 42
ダイナミックガンマ 76
ダイレクトパワーオン 83
縦横キーストーン 121

て
デジタル PC 29, 112
デジタルイメージシフト 38
デジタルズーム 23
テストパターン 130, 185
電子音 84
電子的なズーム 121
天吊り 100, 119

と
動作を設定する 80
トラッキング 63

に
入力信号選択 29

ね
ネットワーク機能 143
ネットワーク設定 58
ネットワーク設定初期化 145
ネットワーク設定変更 141
ネットワークパスワード設定 142
ネットワークパスワード登録 142

は
パスワード設定 87
パスワード登録 88
反転表示 (天吊り / リア投写) 119

ひ
表示解像度 (コンピューターの準備) 31
表示言語の選択 87, 117
表示状態を設定する 61

ふ
プログレッシブ 66

ほ
本体操作部 24

み
ミュート 51

め
メニュー 58
メニュー表示位置 126
メニュー表示時間 128

ら
ランプカウンター 91
ランプ交換 91, 129, 172, 173
ランプモード 78

り
リア投写 119
リアル (アスペクト) 41
リセット 79, 93
リモコン 19, 22, 85

れ
レジストーション 123
レンズポジション 125

ろ
ロゴを表示 82

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。
なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
（ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。）

■修理を依頼される前に

P176～P181の「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。
※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- **お客様のお名前**
- **ご住所、お電話番号**
- **商品の機種名およびシリアルナンバー**
- **故障の内容（できるだけ詳しく）**

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

別売品

- **交換ランプ　品番：RS-LP09**
- **交換エアフィルター　品番：RS-FL01**
- **天吊り金具　品番：RS-CL11**
- **リモコン　品番：RS-RC04**
- **天吊りパイプ (400-600mm) 品番：RS-CL08***
- **リモコン　品番：RS-RC05**
- **天吊りパイプ (600-1000mm) 品番：RS-CL09***

* 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。詳しくは天吊り金具RS-CL11の組立・設置説明書を参照してください。

メニューの構成

映像設定メニュー

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

- アスペクト
  - デジタル PC / アナログ PC-1,2/ HDMI ([HDMI 入力] が [PC]) P61
    - オート※
    - 16:10
    - 16:9
    - 4:3
    - リアル
  - HDMI ([HDMI 入力] が [オート]) / コンポーネント
    - オート※
    - 16:9
    - 4:3
    - ズーム
    - リアル
  - USB / LAN
    - オート
- オート PC
  - アナログ PC-1,2 P62
- 入力信号選択
  - アナログ PC-1,2 P62
    - 640 × 480
    - :
    - 1920 × 1200
- 入力信号設定
  - アナログ PC-1,2
    - 総ドット数 P63
    - トラッキング P63
    - 水平位置 P64
    - 垂直位置 P64
    - 水平表示ドット数 P64
    - 垂直表示ドット数 P64
- HDMI 入力レベル
  - HDMI P65
    - オート※
    - 標準
    - 拡張
- HDMI カラーフォーマット
  - HDMI P65
    - オート※
    - RGB
    - YCbCr
- HDMI オーバースキャン
  - HDMI P66
    - 切※
    - 入
- プログレッシブ
  - コンポーネント / HDMI P66
    - 切
    - フィルム / オート※
    - ビデオ 1
    - ビデオ 2
    - 25p/30p(PsF)

- スライドショー間隔
  - USB P67
    - [--:--]
    - :
    - [60:00]
- 二画面
  - デジタル PC / アナログ PC-1,2 / HDMI / コンポーネント / LAN / USB P67
    - 切※
    - 入
    - 設定
      - 二画面
        - 切
        - 入
      - 操作権
        - 左画面
        - 右画面
      - 左右入れ替え
      - レイアウト
        - モード 3-7
        - モード 5-5
        - モード 7-3

イメージ調整メニュー

- イメージ優先(2画面表示時) P68
  - プライマリ
  - セカンダリ
- イメージモード
  - **共通** P69
    - スタンダード※
    - フォト/sRGB
    - ユーザー1～5(ユーザーメモリ作成時)
  - **デジタルPC / アナログPC-1,2 / HDMI ([HDMI 入力]が[PC]) / LAN / USB** P69
    - プレゼンテーション
    - ビビッド･フォト
  - **コンポーネント / HDMI ([HDMI入力]が[オート])** P69
    - ダイナミック
    - ビデオ
    - シネマ
- ユーザーメモリ作成 P70
- ユーザーメモリ保存(ユーザーメモリ選択時) P70
- 基準イメージモード(ユーザーメモリ選択時) P70
- 明るさ P71
- コントラスト P71
- シャープネス P72
- ガンマ P72
- 色調整 P73
  - 色の濃さ
  - 色合い
  - 色温度
  - 赤ゲイン
  - 緑ゲイン
  - 青ゲイン
  - 赤オフセット
  - 緑オフセット
  - 青オフセット
- 高度な調整
  - アンビエントライト(フォト/sRGB選択時) P74
    - 切※
    - 調整
      - 種類
        - 電球
        - 蛍光灯
      - レベル
        - 弱
        - 強
- ランダムノイズリダクション P74
  - **デジタルPC / アナログPC-1,2 / HDMI / コンポーネント**
  - 切※
  - 弱
  - 中
  - 強
- MPEG ノイズリダクション P75
  - **デジタルPC / アナログPC-1,2 / HDMI / コンポーネント**
  - 切※
  - 弱
  - 中
  - 強
- モスキートノイズリダクション P75
  - **USB/ LAN**
  - 切※
  - 弱
  - 中
  - 強
- ダイナミックガンマ※1 P76
  - 切
  - 弱
  - 中
  - 強
- 記憶色補正※2 P76
  - 肌色
  - 空色
  - 緑色
    - 切
    - 弱
    - 中
    - 強
- 6軸色調整 P77
  - 切※
  - 調整
    - 色相 / 彩度 / 明度
  - リセット
- ガンマ詳細調整 P77
- ランプ制御 P78
  - 切※
  - 入
- ランプモード P78
  - フルパワー※
  - エコ
- リセット P79
  - はい / いいえ

※1、※2は以下の条件で工場出荷時の設定が決まっています。

※1・HDMI ([HDMI 入力] が[PC])、デジタルPC、アナログPC-1,2、USB,LANの場合は[切]
・HDMI ([HDMI 入力] が[オート]のとき)、コンポーネントの場合は[弱]

※2・HDMI ([HDMI 入力]が[PC])、デジタルPC、アナログPC-1,2、USB、LAN の場合、イメージモードが[ビビッド･フォト]を除いて[切]。イメージモードが[ビビッド･フォト]の場合、[中]。
・HDMI ([HDMI 入力]が[オート])、コンポーネントの場合、イメージモードによらず[弱]。
※は工場出荷時(リセット後)の設定です。

設置設定メニュー

- 設置ロック
  - 切※
  - 入
  - P119
- 反転表示
  - なし※
  - 天吊り
  - リア
  - リア・天吊り
  - P119
- スクリーンアスペクト
  - 16:10※
  - 16:9
  - 4:3
  - 16:9 Dイメージシフト
  - 4:3 Dイメージシフト
  - P120
- ズーム (固定短焦点レンズ)
  - P121
- キーストーン
  - 縦横キーストーン※
  - 4点補正
  - リセット
  - P121
- デジタルイメージシフト
  - Dイメージシフト調整
  - P122
- プロフェッショナル設定
  - マイクロデジタルイメージシフト
    - 切※
    - 調整
    - P122
  - レジストレーション
    - 切※
    - 調整
    - P123
  - ファンモード
    - 標準※
    - 高地
    - P123
  - 直立投写
    - 切※
    - 上向き
    - 下向き
    - P124
  - エッジブレンディング
    - OFF
    - Adjust
    - P131
    - Side
      - Left
      - Right
      - Top
      - Bottom
    - Color blending adjustment
    - Black level adjustment
    - Marker
  - レンズ-ポジション
    - ポジションロード 1～3
    - ポジションセーブ 1～3
    - レンズシフトリセット
    - P125
  - スクリーン色補正
    - 標準※
    - 黒板
    - 調整
    - P126
  - オンスクリーン
    - メニュー表示位置
      - P126
    - ガイド
      - 切
      - 入※
      - P127
    - 入力状態表示
      - 切
      - 入※
      - P127
    - 高温注意表示
      - 切※
      - 入
      - P128
    - メニュー表示時間
      - 標準※
      - 延長
      - P128
    - ランプ交換警告表示
      - 切
      - 入※
      - P129
    - エアフィルター清掃警告表示
      - 切
      - 入※
      - P129
    - 二画面ID表示
      - 切
      - 入※
      - P130
  - テストパターン
    - 切※
    - 入
    - P130

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

システム設定メニュー

ユーザー画像設定		
ユーザー画面登録	はい	P80
	いいえ※	
ユーザー画像位置	左上	P80
	右上	
	中央※	
	左下	
	右下	
無信号時画面	黒	P81
	青※	
	ユーザー画像	
BLANK時画面	黒※	P81
	青	
	ユーザー画像	
起動時画面	表示しない	P82
	Canonロゴ※	
	ユーザー画像	
パワーマネージメントモード	無効	P82
	ランプオフ	
	スタンバイ※	
パワーマネージメント時間	5分	P83
	10分	
	15分※	
	20分	
	30分	
	60分	
ダイレクトパワーオン	切※	P83
	入	
電子音	切	P84
	入※	
キーリピート	切	P84
	入※	
キーロック	切※	P85
	本体	
	リモコン(ワイヤレス)	
リモコンチャンネル	Ch1	P85
	Ch2	
	Ch3	
	Ch4	
	オール※	
MBリダクション	切※	P86
	入	

言語	英語	トルコ語 P87
	ドイツ語	ポーランド語
	フランス語	ハンガリー語
	イタリア語	チェコ語
	スペイン語	デンマーク語
	ポルトガル語	アラビア語
	スウェーデン語	中国語(簡体)
	ロシア語	中国語(繁体)
	オランダ語	韓国語
	フィンランド語	日本語
	ノルウェー語	
その他の設定		
パスワード設定	切※	P87
	入	
パスワード登録	パスワード入力	P88
[Fn] ボタン設定	無効	P89
	二画面	
音声入力端子選択		
HDMI	切	P89
	オーディオ イン1	
	オーディオ イン2	
	HDMI※	
デジタルPC	切	P89
	オーディオ イン1※	
	オーディオ イン2	
アナログPC-1	切	P89
	オーディオ イン1※	
	オーディオ イン2	
アナログPC-2	切	P89
	オーディオ イン1	
	オーディオ イン2※	
コンポーネント	切	P89
	オーディオ イン1	
	オーディオ イン2※	
LAN	切	P89
	オーディオ イン1	
	オーディオ イン2	
	LAN※	
USB	切	P89
	オーディオ イン1※	
	オーディオ イン2	
ガンマリストア	切※	P90
	調整	

※は工場出荷時(リセット後)の設定です。

HDMI入力	オート※	P90
	PC	
ランプカウンター	戻る	P91
	リセット (はい / いいえ)	
エアフィルターカウンター	戻る	P92
	リセット (はい / いいえ)	
ファームウェアバージョン		P92
工場出荷設定	はい / いいえ	P93

インフォメーション

モデル名	P94
入力信号	
ファームウェアバージョン	
シリアルNo.	
IPアドレス	
メール送信元アドレス	
メール送信先アドレス	
プロジェクター名	
コメント	
システム情報ID	

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定変更	ロック解除	P141
	ロック※	
ネットワークパスワード設定	切	P142
	入※	
ネットワークパスワード登録	パスワード入力	P142
ネットワーク待機設定	通常	P143
	省電力※	
ネットワーク機能	切※	P143
	入	
詳細設定		
IPアドレス		P144
ゲートウェイアドレス		P144
MACアドレス		P144
DHCP	切※	P144
	入	
TCP/IP設定	IPアドレス	P145
	サブネットマスク	
	ゲートウェイアドレス	
	確定	
ネットワーク設定初期化	はい / いいえ	P145
PJLink	切	P146
	入※	
AMX Device Discovery	切※	P147
	入	
Crestron RoomView	切※	P147
	入	

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	→	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

［受付時間］〈平日〉9:00～12:00 / 13:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YT15395002

YT1-5395-002
0515N0.1
© CANON INC. 2014